



あなたは **愛** です
「愛」「反転」の体験文集

第1回 2013年7月27日～7月29日
第2回 2013年8月31日～9月 2日

於 檜原ロイヤルホテル

はしがき

二〇一二年末、「愛　あなたは愛です」（塩川香世著）が出版されますが、それに先立ち、「愛」カードの利用や「反転」の実践について体験談の原稿を募集しました。結果、二〇〇名におよぶ応募をいただき、田池留吉先生、塩川香世さんに選考をお願いし、四十二名に絞り込んだうえで、海外からの参加者十六名を交え、今夏、橿原ロイヤルホテル（奈良県橿原市）で、二回のセミナーを開催しました。

本冊子は、このセミナー修了後、応募者四十二名の方に、セミナーの体験を踏まえて提出原稿を新たに書き直していただいた「体験文集」となります。ただ体験談を集めただけでなく、セミナーで記録した写真や田池先生から参加者に語られた話、あるいは塩川香世さんを通じて出された「田池留吉」のメッセージや、参加者宛のアドバイスを併載しており、活字という媒体を通して、「あなたは愛です」というセミナー自体を、学びを共にする仲間たちと共有できればと制作したものです。

ただ少しでも早く、この体験を伝えたいという思いから、セミナー修了後、二週間という短期間で作業を完了させなければなりませんでした。でなければ、九月末に開かれる第十七回UTA会セミナーに間に合わないからです。このため校正に時間を費やすことが出来ず、その意味での完成度は低いものになつてはいるかもしません。

ただ「人間の生まれてきた目的は、愛に目覚めることに尽きる」と、さまざまな形で伝えてくれる田池先生のお話や塩川香世さんのチャネリング、はたまた大噴出・総崩壊の学習の熱気は、この冊子に凝縮されているように思います。

最後にお断りですが、送られてきた体験談の原稿は、ほとんどのタイトルが「愛　セミナーを体験して」的なものになつていているため、編者の独断で、原稿内容から、もつとも内容を表していると思える一文を抜き出し「タイトル」とさせていただきました。ご了解ください。

なぜ、生まれてきたのか／田池先生のお話から 4

自分に伝えたかったこと 13／愛、磁場と反転 17／愛つてなんだろう 24／
愛に心を向けて 27／心の中のアマテラスの存在 29／「お母さん、ありが
とう」しかありませんでした 32／固い決意と、少しの勇気と、自分に対
する真面目さ 35／私の中の闇たちの誕生日 39／メッセージは波動なの
だと実感 42／愛 あなたは愛です 46／肉の其盤を愛の磁場に反転 49／
「ゴメンナサイ」が嬉しい 52／これほど大切な時間はなかったた 55／

自分で遅れていると思つている人達に／田池先生と塩川香世さん 58

本心を言うつて、いいな…… 60／肉体細胞からの愛について 63／真実
を知らない人生は…… 66／薄明かりがさしてきます 69／愛に目覚める
ということ 71／闇の出し放しでは何の意味もない 74／おだやかな心
に回帰していく旅を 77／こんなにお母さんを、優しく思えたことはあり
ませんでした 79／愛のカードを使っての瞑想 81／やはり学びは 1+1
＝ 2なんだな 84／私はどうしても今世、生まれたかったた 90／本当に、
ありがとうございます 94

やさしい思いで抱きしめてあげましょう！／田池先生のお話から 98

私自身が意識の流れでした 101／ある教祖に心を向けた体験と息子と出
た現象の中での体験 104／心の向け先はいつも「田池留吉」！ 107／狂
いそうに寂しい自分と…… 110

寂しい心について／田池先生のお話から 114

私は、どこまで間違つてきたのか？ 116／「愛、あなたは愛」セミナー
を終えて 119／基本は「お母さんの温もり」を知ること 122／「見ざる、
聞かざる、言わざる」の自分でなく 124

アマテラスについて／田池先生のお話から 129

ぎっくり腰顛末記 132／「愛 あなたは愛です」セミナーに参加して 135／
「」が偉いと気付くのに十年かかりました 137／愛の体験 139／

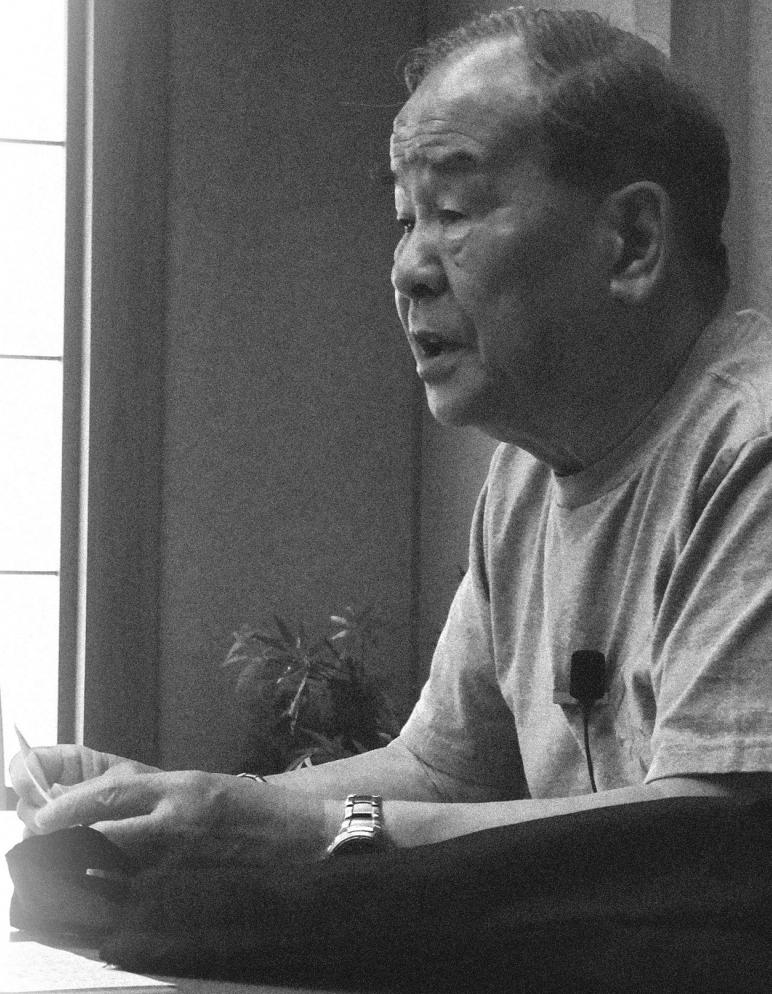
愛に目覚めるために／田池先生のお話から 144

私は本当は愛なんですか？ 154／愛を思う、田池留吉を思う 157／愛の
セミナーに参加して 161／自分を救えるのは優しさだけ 163／田池留吉
しかりませんでした 165

海外からの参加者のページ 169

塩川香世さんを通してのメッセージと田池先生のお話
か存在しない 174／すべて答えは自分の中に 177／写真とメッセージ
180

塩川香世さんを通してのアドバイス集 185



田池先生のお話から

なぜ、生まれてきたのか

なぜ、生まれてきたか。これがなかなか答えが出ないんです。

日本人一億の中で、なぜ生まれてきたかということに正しい答えを出す人は、ほとんどいないというのが現状です。地球上でも、ほとんどいない。アメリカではゼロに等しい、と言つても良いくらいなんです。

もちろん、学歴の高い人は高いなりに、色々と難しいことを言つてくれますし、色々な方が出ますが、ほとんど正しい答えはないんです。簡単なんです。今現在、私が使つている言葉で言うと、皆さんは「愛」であるとということに目覚めるために生まれてきた。これだけのことです。

それ以外の目的で、もし皆さんが生きていたら、それは間違った生き方です。従つて、病気になつたり、争いになつたり、不幸な目に遭つたり、

苦しんだり、悲しんだりするわけです。皆さん、もうご経験済みですね。それを人のせいにしたり、社会や国のせいにするのは大間違い。全部、自己業自得。自己選択、自己責任の世界です。

だから、私の言うように、自分が「愛」だということに目覚めたら、どんどん変わってきます。身体も変わってきますし、それから生活も変わります。それを自分で、まずは実証することです。

私は「愛」である。私というのはあなた方ですよ。一人ずつが「愛」だということですね。もちろん、私も「愛」です。皆さんも「愛」です。だから、私はあなた、あなたは私、一つと言っているわけです。（中略）

「本当の自分に目覚めるため」「本当の自分に出会うため」

……これですよ。ほとんどの方は本当の自分を知らないわけです。知らないで、勉強したり、仕事を一生懸命したり、争ったり、人を責めたり裁いたり、自分で落ち込んだり、そして戦争したり、殺し合いをしたり……と、やつてきてる。だから、世界には平和は来ないと言うんです。

私は言います。絶対来ないです。今の人類の生き方では絶対に来ない。

みんな、平和の為に頑張つてますよ。ところが、それ間違っているんです。だから平和は来ないと言つてはいる。平和のためと言つて、人を殺したり、あるいは、自爆で自分の生命を絶つたりする人がおりますな。

そんな間違つた生き方をしているから絶対に平和は来ない。もし皆さん の知つてゐる人で、私の説に反対の人があつたら、連れて来ていただいたら、その人の目の前で証明します。

だから、皆さん、そういうことよりも、私の言うことを一応、聞いて、勉強していただきたいかと思ひます。

自分は一体何者かということや。

はつきり言つたら「愛」ですね。「愛」というのは形はありません。皆さんの言う恋愛とか、親子の愛とか、国を愛するとか言つうのとは違う。あれは愛ではない。しかし一応は、この我々人間社会では愛と言つてゐるけれど、私が言つてゐる「愛」はそういう愛ではないん。

ちよつと私の表現に似たのでは、宗教でいうと神の愛というふうになる。なら、一体、神とは何か。こう来るんですね。神は存在しない。存在しな

いものに愛という名前が付くはずがない。だから、あれは偽物なんです。誰かが作った。ないものを、あるように言うて、どんどんどんどん人を集め、金を集めしていく。そう言うことに過ぎない。だから神の愛を説いている人は、これは偽物ですよ。

そこで、自分とは何者かというとね、一言でいうと、自分は「エネルギー」です。だから、意識の転回をしてくださいということを初めに言いましたね。

肉、こういう形、今わたしが喋っている私は、これは私の影なんです。と言つて、この影がなかつたら、本体が分からんんですよ。

だから、この肉も大事にせないかんと言つてているんですよ。粗末にせよとは言つてない。皆さん、あまりにも大事にし過ぎて、かえつて肉もだめにしてしまつてゐる。

例えば、たくさんお金を儲けないかんとか、有名にならないかんとか、人の上に立たないかんとか、色々そんなことを考えてゐるから、最後は疲れ果てて、末路は哀れとなつていく。

ですからね、自分とは何者かというと「エネルギー」ですよ。单なる「エネルギー」と、皆さん簡単におつしやるが、凄いですよ。

そういうことを、だんだんと勉強してください。あまり沢山述べたら、分からなくなるんですよ。だから簡単に絞つていきます。

皆さんはエネルギーです。

だから、僕は「意識の転回」という本を皆さんにお渡ししてあると思ひます。UTAブックから発行していただいてね。我々は肉ではありませんと書いてある。肉というのは分かるね。（自分の体を指しながら）こういうのはやがて消えてなくなる。なくなるものには眞実はない。

では、何かというと、「私達は意識だ」と言つてゐる。ここで言う「意識」と、世間で言う「意識」というのは、ちよつと違う。いわゆる所謂、分かつてない人が言う「意識」と、分かつてゐる人が言う「意識」とは断じて違う。日本語は難しいんです。と言つて、私が別の単語を使えばいいですけど、そういう単語はないんですね。やっぱり「意識」ですね。そこをちゃんとわきまえていただからなかつたら、なんか頭が混乱してきます。

「意識」であつて、それは「エネルギー」であると。そして、もうひとつ

大事なことは、永遠に存在するということ。肉体はやがて消滅します。死ねば肉体はありません。死んでも、しばらくの間は、肉体があるようと思つてゐる。死んだ人に訊くとね。こちらが質問していくと、どんどんどんぶん形が消えていく。そして「死んだのか」と気が付く……。

さあ、それからが大変なんです。肉が自分だと思つてゐる間、肉がまだあると思つてゐる間はまだいいんですよ。ないと分かつた瞬間に、これは大変です。单なる地獄という言葉では済まされない存在になつていく。

では、どう言う風に生きていつたらいいか……もう分かりますね。

「愛」に目覚めるために生まれてきたんですから、目覚めるように生きていけば良い。本当の自分に出会えば良い。では本当の自分とは何か。皆さん、本当の自分を知らない。昔、哲学者は「汝自身を知れ」と言つてゐるけれど、それを言つた人が自分を知らない。知らない人がそう言つてゐるんです。学生さんは一生懸命にそれを勉強する。(中略)

とにかく、簡単なんですよ。難しいことはないんです。それを人間は難しくしてゐる。今、話をしているのを、頭で、耳で聞いて、まあ目はちょっと見てですね、頭でクルクル回してたら、いつまでたつても、私の話は分かりません。どうしたら分かるのか。

皆さん「意識」でしょ。私も「意識」です。私は「意識」の話をしている。肉の話をしているんじゃない。だから私の話を「意識」で聞いていただいたらしい。では「意識」で聞くとはどういうことか?

最後は瞑想なんです。

その瞑想でも色々ある。間違つた瞑想ね、座禅だとか、何とか、かんとかいっぽいあるでしょ。あんなことはする必要ないんですよ。なんなら、そんな禅寺へ行つて坊さんに訊いてみたらい。そしたら、よう答えませんわ。初めは得意げに言ひますが、もう品切れになつたら答えられないです。では、正しい瞑想とはどういうことか。

ここなんですよ。そこでこの話がくるわけ。これをね(「愛」のカードを指しながら)、いつも見ていると、自分は「愛」だということは聞いたけれど、何か分からんけれど、見てたら、だんだんだん分かるようになつてくる

るわけ。「だからこれ見てください」「こういうのを使ってください」と、色々言つてゐるわけですね。

まあ、これは道具ですね。おもちゃです。おもちゃでも、単なるおもちゃではない。これで遊んでいただいたら良い。字書いたり、絵書いたり、何や書いて、遊びながら勉強していく。そのうえで瞑想する。

では瞑想とはどういうことか。瞑想とは「目を瞑つて思う」「目を閉じて思う」と書く。何を思うのか。「愛」を思う。その時に、他の人を思つたらいかん。例えば、お釈迦様を思うとか、マリア様を思うとか、何々の何やら神を思うとかいうことをやつていると大間違いです。

これは間違い。絶対間違い！ その人は晩年まさに哀れな姿になつていきます。例え、この勉強をしようど、そういう瞑想を瞑想だと思っている人は、晩年は、いや晩年じやなくともなります。幸せになれないはずです。存在しない神を思つて、拝んだり、祀つたり、祈つたり、これは間違いです。

何を思うか。ひとつは母親を思う。「母親を思う」といつても、今の肉体を産んでくれたお母さんだけじゃない。皆さんは数えきれないほどの転生をしている。例えは、一万回転生したら、一万のお母さんがいる。

分かりますね。今のお母さんだけを見てどうこう言うのは違う。では、一万人のお母さんを思うのか？ そんな記憶はないんですよ。ないけれど、皆さんこうして目を閉じて瞑想して、「お母さん」と、こう心で呼ぶか、何かするとパッと答えが出てくるんです。そういうのが人間なんです。誰でも、だんだん勉強したらそうなるんです。そういう勉強をしてこなかつたら、だめなんですね。

で、お母さんを思つて、何が出てくるかというたら、皆さん最初は「くそばばあ」とかね、「早よ死にさらせ」とかね、「私をこんなところに産みやがつて」とかね、「産むんやつたら、もつと頭の良くて、美人で」……となるでしようけど、僕、言つたでしょ。僕の母親は無学ですよ。僕はそれで不満だと思つたことは一度もないですよ。母親には「ありがとう」しかありません。肉的に言えば、決して模範的な人間ではありません。父親はやくざです。私は國賊と言われました。國賊の息子と言われました。僕はそれによつて怯むことはございません。僕は父親は國賊と言われるような

そんな悪い人間とは思つてない。今でも思つていません。しかし、世の中の特権階級の人達は国賊と言つたんでしょうね、私の父親のことを……。皆さんのお父さん、お母さんは恐らく私の父、母よりはずつとずつと素晴らしいと思う。それでも皆さんは「くそばばあ」とか、どうとかこうとかやつてているんです。でも、だんだんだんだんやつていて、お母さんの温もりを感じだと、あなた方の物の見方、考え方、生き方が変わつてくるんです。そういう勉強をするわけ。

そうしたら、真実が見えてくるということです。今まで自分が考えたり、見たり何かしたのが、これが全部影になるんですね。そこで、更にこの「愛」ですね。「愛」を思う。「田池留吉」「アルバート」を思う。「田池留吉」「アルバート」以外の、何やらの神とか、何やらの仏とか、何々の何とかに向かっている人は、間違います。もう完全に間違い。それが正しいという人は、それでいけばいい。自己選択、自己責任ですからね。ただしその責任は自分でとらないといけません。

この勉強をしていても、例えば、マリア信仰してて、マリアさんをジイーツと握つている人は、幸せにはなれません。自分で勝手に信じて、私は美しいで、清くて、正しいでしようと勝手に言つていてる己偉しの人間に過ぎない。だから真実は見えません。

語れますよ。本読めば、語れますから。語つたつてしようがないんですよ。波動ですから。波動は騙せないですよ。だから私達は波動で物を見る。人を見るんです。けど、それをあんまりやるとね、皆さん真つ黒でしょ。真つ黒な人に、「あんたこうやで」と言つたら楽しくありませんがな。だから私は肉で話す時はだいたい漫談をするわけです。

まあ、そんな話は置いといて、結局は「田池留吉」「アルバート」に心が向いたらええ。もう完全に向けたら間違いない。もうあなたの人生感、世界観、すべてがコロツと変わります。コロツと見えないかんですよ。

ところがね、二十何年勉強しました。皆さん、一所懸命やられたと思いますよ。アメリカも行きましたね。私、オーストラリアも行きました。ボルネオも行つた。韓国も行つた。もちろん日本国中、北海道から沖縄まで行きました。しかも、二十年、三十年行つたんです。皆さんもお金使って、

たくさん行きましたけれども、今ひとつなんですね。

闇出し現象ですか、皆さんは闇出し現象ってやつたでしょ。やつたけど、何の結果も出てこない。ただ闇出しをやつただけなんです。

ところがね、このままではね……、私は来年の十二月のセミナーで終わりなの。もう来ませんの。ほんまに来ませんよ、私は。何べんも言います。僕は十二月に辞めると言うたら辞める。

さて、そこで出してきたのが、「反転」というやつ。反転、磁場。

「田池留吉の磁場」と「反転」ですね。だから田池留吉の磁場を思つて反転をするわけ。ここで磁場というとね、皆さん頭いいですかね、学校で習つたでしょ。あの磁場というのは有限なんです、有限……。

有限と無限があるんです。数学の話をしたらええけど、また、「先生難しく言う」言われたらあきませんからね。とにかく有限と無限がある。皆さん学校で習つた磁場というのには有限なんです。

例えば、医学も有限ですわ。科学も有限なんです。宗教も有限なんです。分かりますか。この宗教も有限なんですよ。ブツタが説いた教えも、それから聖書に書いてある教えも、有限の世界の教えなんです。だから限りがあるわけ。だから分からないんです。最後は「分からない」と、諸々の聖者達も言つてているんですよ。

私は無限なんです。皆さん、私の言うている「無限の反転」を「有限の反転」で聞いている。だからなかなか分からないんですよ。終いには「反転」「反転」って反転ばかりしてね、病気を治すのに反転、「肉体細胞よ、我の思うようにせよ」とか言つてね、なんか偉そうに「反転」言うてんの。反転とはそういうものじゃないんですよ。

有限の反転はそういうかもしれません。僕も知つてますよ。N極とS極があつて、こしてこうしたら反転の磁場が出来る。ところが、私はそう言うことを言つてるんじやなくて、無限なんです。これは説明がしにくいんですよ。そこで、これやるの。「田池留吉」「アルバート」が出てくるの。それだけのことなんですよ。

だから「田池留吉」「アルバート」が分かつたら何でもできる。そんな、色々な哲学とか、宗教とか、文学とか、そんなやりたい人はやつたらいいよ。そこで、これやるの。「田池留吉」「アルバート」が出てくるの。それだけのことなんですよ。

も昔、読んだりやつたよ、文学もね……。やつたけど、「もういい」「もういい」って、もう嘘八百。そんなもの買って読むんやつたら、テレビ観てね、「暴れん坊将軍」観てた方が、まだ罪がないですわ、と思つております。

そこで、磁場と反転。これまたいくら言うても分かりません。皆さんはこっち、こっち側（肉を基盤とした世界）にあるから、「こっち（意識の世界）へ来なさい」と言つている。

「磁場、転回、こっちですよ、こっちですよ」と、もう十年くらい前から言うてるけど、皆さんは、やっぱりこっち側にあるの。だから、いつまで経つても分からへん。自分の都合のいいように解釈してる。

今度、アメリカからも来ていただきいて、失礼ですけれども、遠くに住んでいる人はね、まあ、言葉くらいは（UTAブックの）本で読んだり、人から聞いて分かっているけれども、自分で体験してない、出来ない。一人じゃ出来ませんよ。それで、この機会にアメリカから来た人も、ああ、こんな勉強かと分かつていただき、帰つていただきたいと……。

それから、「愛の体験」を書いた人は、だいたいお分かりやからね、まあ更に深めていつていただけたらいいと。前口上はこれくらいにしまして、これから実際にやる。私は実行、実践、そして結果を出す。結果の出ないものはだめ。分かりますか。だから宗教なんか、神の愛とか、慈悲とかね、恵みとか何やかんや言うけど、言うだけですよ。私から言うと、嘘八百書いてある。処女から人間が生まれるなんて、私は信じませんよ。そりや信じているのはこの地球上に、それは凄い数がおるんですよ。だから人間つていうのはどう言う存在かなと思う。うちにも犬が一匹おるけどね、犬はそんなん信じてませんよ。まだ犬のほうが賢いように思つてますわ。

ところがそう言う人達が寄つてたかつて、世界の平和とか、人類の福祉とか考えるから滑稽千万というわけ。

私の口上はこれくらいにいたしまして、早速これから実行します。

いいですか。僕の話と、実際体験したのとを較べて、僕の話をもうちょつと自分で咀嚼するそしゃくといふかね、理解を深めていただきたい。喋つて、聞いて、読んで分かる話ではない。

これからすることは、気が狂うかも分かりませんよ。嫌な人はお帰りく

ださい。私は皆さんを狂わしてね、お帰しすることは絶対にしません。ただし皆さんのが、私の「言うことを聞かないで、外で勝手なことをしたら知りませんよ。いわゆる、「一番」「私が一番偉い」「私の靈能力は最高だ」とかね、まあ、色々あるでしょうが、そんなことを勝手にやつていたら知りませんよ。狂いますよ。そんな、一番とか二番とかないんですよ。ただ、あるのは喜びとか、温もりしかないんですよ。なんや、「喜び、温もりか」と言う人もあると思います。

体験してください。その喜び、温もりがどんなものか。お金では買えませんよ。お金で買おうと思ったら、そんな端金はぎかなでは買えませんよ。そんな代物しるものじゃないんです。だから皆さんのが生き方、考え方がコロツコロツと変わる。コロツと変わらないかん。皆さん変わったと思ったら、またクリクリやつてこんなことやってん。コロコロコロコロ。これじゃあ変わったことにならん。変わつたら、まつすぐスウーツスウーツと行く。分かりますか。

皆さんからメールが、いっぱい来ます。ああ、「分かつたなあ」と思ったらコロツと変わつてんねん。コロコロ変わつてることや。変わつた、変わつた、変わつた、変わつたつて、ちつとも変わつてへん。変わつたといふことは、まつすぐ行く。分かりますか。そんなもん変わつたんちやいますよ。コロコロコロコロ、確かに変わつてる。回つてるだけですよ、これ。変わつたといふことは、今までと違う道、ピシャツピシャツと一つの道が見えて、まつすぐ行くのを変わつたと言うの。しかも、その道は幸せ、喜びの道なんです。さあ、そこでA班の人前に出てください。

まずA班。……で、どうするかと言うと、簡単なんです。先程の「愛」ですね。「愛」に向いたらいいんですけど、まあ最初はですね、これでいきましょう。「田池留吉」「アルバート」。これでいきますよ。

それでは軽く目を閉じてください。軽く目を閉じるということは、眉間みけんに皺しわを寄せないようにして、目を閉じとくということ。宜しいですね。本当は丹田呼吸の一つか二つやつていただいて……でも、もう僕の話を聞いているうちに、丹田呼吸は終わつておりますから、早速、実行ですね。



自分に伝えたかったこと

阿部奈月

当初、私のオーリングテストはまったく何の反応も示しませんでした。田池先生がやつても、他の誰がやつても、ちつとも硬くなりませんでした。無反応でした。それから、色々と実験を試してみました。お水の反転から始まり、紙、お酢、ワイン、ミカン、バナナ、卵、サプリメント、本、植物、写真、家電、空気、動物、肉体細胞、思いついたものは手当たり次第、反転実験に活用してみました。

無反応だったオーリングテストにも、だんだん硬くなったり、オーリングを作った指の付け根あたりにビリビリと感じるものがあつたりと、だんだんと何らかの変化が出てきました。その間、これは自分の思い込みではないかとか、自分で勝手に力を入れているのではないかとか疑う心も出てきました。それでも、とりあえず実験を重ねる作業を続けてみました。

オーリングテストの実験から、田池留吉の磁場に心の針を向けて瞑想し、マイナスのエネルギーが出たら反転するという実践になりました。はじめ、その田池留吉の磁場ということが分からず、肉の田池留吉を思い浮かべ瞑

想をしていました。

私はいつも、チャネリングで他力のエネルギーを掴んできたとか、己が偉い、心を向けているつもりだけど、向いていないなどのメッセージを受けてきました。その度に、何を言う。私はこんなにやっているのに、どうしろと言うのだ。「田池の馬鹿野郎、くそったれ」とそんな思いばかり流してきました。悔しくてたまらなかつた。どれだけやつても認めてくれないと、こんなにやつているのに褒めてくれないと、そんな思いをいつも、いつも感じてきました。

大噴出、総崩壊の瞑想に入り、田池留吉に心の針を向け合わせる瞑想の実践の中で、いつも自分の中で越えられない壁、蓋みたいな物を感じてきました。いくら反省や瞑想を重ねても、瞑想に対しても疑念や物足りなさを感じていました。そんな中、第一回の「愛 あなたは愛です」のセミナーの中で、己が偉い、聳え立つてゐる。自分は優しい、人にも優しい、これが愛なのではないのかと田池留吉に反抗している、と言われました。

その時はまた「何をぬかすか、このくそったれ」という思いで反発していましたが、セミナー後、日常生活の中で、くそったれが出てくる、出てくる。朝起きてから夜寝るまで、寝ている間も心が外を向きっぱなし。夫を見れば殺したくなるし、何に対しても怒りが抑えられない状態が毎日続き、気力もやる気も失せていきました。どうすることも出来ず、とりあえず言われたことをやつてみようと、「UTAの輪小冊子」を毎日読むことにしました。読んでいるうちに、自分の中で色々な質問が浮かびあがつてきました。私の学びの動機は何だろう。何のためにこの学びをしているのか。他力の反省とは何か。そんなのやつたことがない。ゼロ歳の瞑想はしたことばつたが、母親を思う瞑想をしたことはなかつた等、自分で、振り返らなければいけないことが次々に出てきました。とりあえず、出来ることから始めてみました。

第二回目のセミナーでは、心の内にある田池留吉に思いを向ける。心の内にあるお母さんに思いを向ける。反転をする時も、まず田池留吉に心の

針を向けてから反転と発信すると言われ、今まで、田池留吉を思う時も、お母さんを思う時も、心の内に向けるのではなく、自分の頭の中で想像して、田池留吉や肉の母親を思い浮かべ、外に向けてやつていていたことや、反転も自分の思い通りにするために反転と発信していたことに気付かされました。また、他力の反省でもセミナーやホームページの中で出てきた卑弥呼、巫女、親鸞をはじめ、今世、心を向けてきたイエス、マリア、占い師、靈能者、宗教指導者に思いを向けてみました。どれもみんな苦しい思いを語つてくるけれど、みんな母親を捨て去つてきた、切り捨ててきた意識、今の自分と同じだつたという思いを、それぞれの意識を通して語つてくれているんだと感じました。そして、私は自分に心を向け、自分の思いを語つてみました。認めてもらいたかった、褒めてもらいたかった、こっちを向いて欲しかつた、苦しかつた、そんな思いがどんどん出てきました。それは私がずっとずっとお母さんに使つてきた思いであり、周りの人達に使つてきた思いであり、何よりも誰よりも、自分が自分に伝えたかった。本当は、自分が自分に伝えたかったメッセージだつたんだと気付かされました。

こんなに凄まじいエネルギーを蓄えてきた。こんなに凄まじいエネルギーで周りの人達と接してきた。自分を蔑ろないがしにしてきた。母親を捨て去り、切り捨てた思いは、私自身を捨て去り、切り捨ててきた思いでした。こんな思いで、「田池留吉、アルバート」といくらやつても、反転としても効果はありませんでした。己一番、我を認めろと自分が自分にやつてきたのだから、自分を救うことなど出来るはずがなかつた。愛など分かるはずがなかつた。愛に目覚めることも、他力のエネルギーから自分を解き放すことも出来なかつた。

自分を崩すことは大変なことです。いくら大噴出を重ねても、己という壁を崩すことはそう簡単にはいきません。しかし、心の叫び、自分の心の叫びを聞いてしまつたからにはもう後に引くわけにはいきません。必死に自分を救つていくエネルギーを培つていく方向に向いていかない限り、また今世も無駄な人生で終わつてしまつことになります。

私は自分を繋いでいきたいと心より思います。来世の自分に向けて、半歩でも前進したい。その切なる思いを心に感じるから、私はただただひた

すらに田池留吉に心を向け、愛を思う瞑想を重ねていきます。これ以外に自分を救う手立ては、私にはもう残されません。愛を分からずして、肉の幸せも、喜びも、平和もない。この現実を受け入れ、どんどん自分を崩していく作業を重ねていきたいと心より感じさせていただきました。貴重なお勉強の機会をいただき、本当にありがとうございました。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、はい、はい、田池留吉、田池留吉、田池留吉、はい心を向けているつもりですが、私の中には、まだまだ凄まじい他力を求めてきたエネルギーがあるんです。田池留吉、お前、殺してやるというエネルギー、これを私は、まだまだ知らない、知らない、知らない。ただただ表面的に田池留吉、アルバートを思つていて、そんな私を感じています。

田池先生から

どうですか、反論があつたら反論しても良いですよ。

阿部奈月さん

よく分からぬ……。

塩川香世さんから

私は己が偉い、己が偉い。私は己が偉い、偉い、偉い偉い。そびえ立つていることが自分の中ではつきりと分からぬんです。私は優しい、こんなに優しい。私はみんなに愛されている。私もみんなが大好き。これが優しさじゃないんですか？これが愛なんぢやないんですか？私はそんな心で田池留吉に反抗しております。

田池先生から

少し分かつてきましたね。

愛、磁場と反転

荒木 紘美

私は、愛を全く知らずに生きてきました。

なのに愛を語り、愛を説き、傲慢^{じょうまん}にも自分を愛深いほうだと思い、また人にも思わせてきました。今、自分を振り返った時、いかに無知で傲慢で、理想とした愛の世界とは、真逆の道を歩んできたことを思い知られます。自分を知りませんでした。人間を知りませんでした。真実を知りませんでした。



それゆえ長い間、自分も人をも傷つけ苦しました。でも今、嬉しいです。
「**真実は自分の心の中にしかない**」との教えに、私の心は大いに頷いてくれます。

本当でした。本当に本当でした。

田池先生、真実の世界を教えてください、日々ありがとうございます。

ありがとうございます。嬉しいです。本当の温もり幸せに包まれています。

本当の幸せの道を見つけました。喜びが心より伝わってきます……。

今、二回の樋原で行われたセミナーに参加させてもらい、心は喜びに満たされています。

こんなに明るく爽やかで、嬉しい楽しい学びだつたんですね……。

長い間、私は自分の心そのままで、重たいドロドロとした凄まじい他力のエネルギーを繰り広げながら、競い、苦しみ、戦いの世界を開拓していました。

夫婦が不調和になつたのも、自らが自滅して病気になつたのも、すべては自分の本質が愛なればこそその裏返しでした。そのことを本当の自分は教えてくれていたんですね。素直になれずにごめんなさい。どれほど人間の本質は意識、エネルギーと聞かされても、私の学びは肉が基盤だから、その上に欲で求めたから、なに一つ真実が分かりませんでした。そして愚かにも幸せを求めるながら、自ら泥沼の世界を深く作り上げていきました。

学び始めて十数年目、十五年前のある日、私は突然とも思われる病を発症したのです。しかし自分の発したエネルギーを思えば、当然の結果でもありました。幾度も注意され、また警告の促しまで受けっていたのに、己尊しで聞く耳持たず、心は戦いの日々を過ごしていたのです。

それゆえ病の発症は、正に自業自得の世界でした。

病名は悪性のリンパ腫、又の名を血液の癌とも言われる病気です。

しかし肉体細胞の協力を得て、十ヶ月間に及ぶ入院治療、そして

「治療は大変でしそうが、日々動く心を見て過ごしてください。セミナーで、またお会いしましょう……」

電話越しの田池先生の言葉に勇気づけられ、温かい家族に見守られながら、余命一か月と宣告されたにもかかわらず退院することが出来たのです。

悪性のリンパ腫は健全な人の骨髓を移植しない限り、完治することはないそうです。現に私の場合も、腫瘍^{しゅよう}が三センチを超えたたら危険とのことで、これまでほぼ三年おきに入院治療を重ねてきたのです。

しかし昨年より、磁場と反転の学びを教えていたのでからは、私の体に何かしら変化が起こり始めたようです。最後の治療から丸三年を迎えたCT検査では、

「腫瘍が小さくなつてます。今は活動を停止してる状態ですね……」

主治医より嬉しい言葉をいただきました。また、これまで六か月おきの定期的なCT検査も十か月に延長されたのです。

治療時の薬の効果は三～六か月、長くて一年と説明を受けており、その他は何にもなし経過観察だけの日々です。では何故、プラスの変化が起こり得たのでしょうか？……自問自答すれば、やはり意識なんだ！自分の発するエネルギーが作用してると、肉体細胞に教えられます。そしてまた、田池留吉の磁場と反転を境に、私の学びに向かう姿勢も変わつてきたように思います。

私は、宗教色のとても濃い土地柄に生まれ育ちました。現在でも祭事には、各村ごとに伊勢神宮よりお札が届けられるのです。幼い頃から天照^{あまてらす}を最高の神と崇め仰ぎ見てきた私は、長ずるに従いS教団に入会し、そこでまた熱心に天照^{あまてらす}の選民意識^{つちか}を培いました。それゆえ、この学びに出会つて心は喜び勇んだものの、肉は全く罪悪感を感じることもなく、己を現し、長い間、ただ看板だけを変えて他力の学びを延長してきたのです。

現象に出れば、いつもアマテラス、アマテラス、アマテラスを指摘していただきますが、正直言つて反省してもあまり実感が湧きません。それほどに他力のエネルギーに塗れてたのです。

十一月になり、待望の「田池留吉、磁場と反転」の本が出版されました。私はまるで貪るように、繰り返し繰り返し、幾度もまるで日課のごとく

読みました。読めることが嬉しかったのです。そのうち、反省ノートに記す内容も、心に響いてくる日が続くようになりました。長い学びの期間中、私の中では記念すべきページなので綴らせてください。

十一月〇日、

本を読めば読むほどに、自分がどれほど学びに反した生き方をしてきたのか、心に響いてきます。なぜ死に至る病気を発症するまで自分を落とし込んだのか、それはただただ己が偉すぎました。田池留吉に従順そうに振る舞いながらも、心は戦いを挑んでるなんて、其のことすら分かりませんでした。心を見れば、どれほど凄まじいエネルギーを使つてるのか、あれほどはつきりと現実に現象化されているのに、それでも間違つていると気付けなかったのです。

「自分は正しい、悪いのはお前」と、原因のすべてを責任せきにん転嫁てんかしました。

いや、もつと深刻です。自分は素晴らしい、正しい聖い道を歩こうとしている。それを反対する夫は無知で愚か者。責め裁き見下げる一方では、邪魔されても仕方ない。それを受け入れるだけの大きな器が私……そうだ私は並みとは違う、私は特別だから現象も特別苦しくても仕方ない、受け入れていこうと……。

あゝ～本当にどこまでもどこまでも「己が偉過ぎました。

自分の非を一切認める事もなく、崩す事もなく、思い通りの道を歩いてたんです。今、磁場と反転の中で、やつと心が見えてきました。私は何もかも全てに於いて、全部、全部、間違つておりました。私は自分の心の間違いを、ただただ認め、自分を救えるチャンスをいただいていたに過ぎませんでした。

お母さんの温もりの中にありながら、ああ～～お母さん。あなたに徹底抗戦し続けてきたのですね。

お母さん。私は愛なのに、私が私を傷つけ、私が私を抹殺してたんですね。

お母さん、ありがとうございます。私は本当に大ばか者です。私の戦いの相手は夫ではなく、自分自身だったのに、心の見方すら忘れ、心は他方にまみ塗れておりました。何もかも全てを今世救いたいと、私はお母さんに産んでいただったので

す。あの地での場所で、心に培つたアマテラスのエネルギーを、この肉体を戴いて、共に共に学び、私は自分を救いたいがために、あなたにお願いしました。お母さん。許してください。お母さん嬉しいです。

やつとやつとお母さんの温もりに帰れる。アマテラスと共に、今世、あなたの温もりに帰れる。ああ～～お母さん。私のエネルギーは凄まじかった。冷たく凍るような心で、私は私に刃向つてたんですね。心の闇を救いたくて肉体をいただいたのに、その肉体を容赦なく刺殺していました。わが肉体細胞よ、只々申し訳ありません。ただただもう懺悔です。

お母さん。今、私の心の温もりが、あなたの温もりと共に共に溶け合っています。お母さんありがとうございます。お母さん、あなたの温もりの中で、私は私の心と、今、抱き合いました。アマテラスよ、ありがとうございます。アマテラスよあなたは我が心、私の心。あ～～アマテラスよ、私はあなたが愛しい。あなたを今抱きしめています。あなたの心がとてもとても愛しい。

お母さんありがとうございます。お母さんありがとうございます。アマテラスの心と共に、私はお母さんの温もりに帰つていきます。お母さんありがとうございます。

アマテラスのエネルギーで雁字搦めの心ですが、繰り返し磁場と反転の本を読み、反省、瞑想していくば、少しずつ心が解けていきます……。

これら上記の体験を綴り、嬉しいことに私は権原での愛のセミナーに参加させてもらいました。喜びだけで参加させてもらつたセミナーは、より真実の世界へと私を導いてくれました。最初のセミナーでは、自分との約束ごとを思い出させて確認させてくれました。そして二回目のセミナーでは、その確認が確信、確立への第一歩へと導かれました。また、参加前に提出された皆の文章を読み、なぜか心惹かれ気になる人がいました。名前も容姿もわかりませんが、意識同士は分かつていていたようです。キラキラと輝いてるその人の目を見て、私の心は自分の怠慢さを詫びているのです。言葉は特に交わさずとも、お互いの意識は約束の下に集い、誓い合つてることを感じました。

セミナー期間中は、心おきなく、大噴出、反転、総崩壊の瞑想に、繰り返し幾度も取り組めたことは大変な喜びでした。

中でも、S教団の教祖へ向けて瞑想した時の体験は、強烈で喜びの爆発となりました。

最初、教祖に思いを向けたら、息も絶え絶えとなり、その場に蹲うずくまつてしましました。苦しくて声も出せません。自分なりにお母さんを思い出してくださいと呼びかけますが、反応はただ唸うなり声だけです。

田池留吉に心向けました。そして反転と発しました。

次の瞬間です。驚いたことに教祖ではなく、天照あまてらすが語り始めたのです。

懺悔でした。間違つてきたのは自分(天照)です。私が苦しみのエネルギーを発してきたのです。悪いのは私(天照)です。人々を苦しめてきました。申し訳ありません。申し訳ありません。とただただ懺悔してくれたのです。嬉しかったです。心は喜びに満たされました。天照の心の声を聴けたのは、初めての体験でした。それは正に点と点の繋がりが、一本の線で繋がったのです。そして田池留吉の波動の中で、お母さんの温もりの中で、これまで自分の心に蓄積されてきた、マイナスと受け止めてきた現象の数々が、次の瞬間、全部、何もかも全てが喜びへと変わつていきました。それはまるで、走馬灯のように心に映り、すべての現象が喜びで繋がつていきました。

過つては神と崇め奉り、過去においても、長い間ひれ伏してきた天照の存在でした。その天照が今、私の心の中で懺悔しながら、私の中へ帰つていきました。

「私は愛、あなたも愛、一つです。宇宙には愛しか存在しません」
そこには田池留吉の温もりが漂つていました。

田池留吉、ありがとうございます。

私はやつとスタート地点にたどり着きました。私が私と約束してきた仕事を、ようやく果たせる立場に立たせてもらいました。

ありがとうございます。ただただ感謝です。

そして、ここに至るまで、多くの闘わりをもつて下さったすべてに感謝です。ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。

お母さん、ありがとうございます。田池留吉、ありがとうございます。

塩川香世さん、ありがとうございます。

そして私自身に、私の中の天照にありがとうございます。

こんな素敵な企画を実行してくださいましたUTAブック、スタッフのみなさん、本当にありがとうございます。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

荒木さん、あなたを見ると思います。はい、やはりアマテラスを感じるんです。しかし、あなたの中に少しですが、アマテラスの優しさが、あなたの中に伝わってきていると思います。あなたがアマテラスに伝える思ひが、少し変わってきたように思います。

どうぞどうぞ、どんどんアマテラスを思つて下さい。優しい優しい思いでアマテラスを包んでいって下さい。その所から、あなたの歩みが変わっていくと思います。待っています、待っています。

田池先生から

まあ、この方はご存じのように、一族が「生長の家」です。アマテラス、どつぶり。……で、いろいろ家庭の中でもあった。大変な病気になつたが、仲間の人から伝わる優しさを感じてお元気になつた。さあ、これからですね。荒木さんが、どんどんアマテラス、そのアマテラスにも、今までアマテラスを恐れ、アマテラスの言うとおり従つてきた。有り難く思つてきた。

今度は逆です。あなたがアマテラスに真実を伝える、愛を伝える、そういう順番ですから、その仕事ありますからね、その仕事を果たしてお帰り頂きたいと思います。

愛ってなんだろう？

安西志保美

子供のころから、「愛ってなんだろう？人を愛するとはどういうことだろう？」と思つていきました。全くわかりませんでした。

今も、この肉の頭で考えてわかるものではないと思つています。

田池先生が言われる愛もわかりません。

肉の自分の頭では全くわからないからこそ、素直に心で学んでいこうと思ひますが、私自身、今現在自分の課題として強く意識しているのは、お母さんの温もりです。お母さんの温もりが心でわかれれば、愛も感じられるようになるだらうと思つています。

二十年余り以前、この学びに出会い、私もお母さんの反省から始めました。

己が偉くて偉くて、私は、肉のお母さんの気持ちが全然わからないままに成長しました。この学びに出会つて、二十年かけて肉の母に使つた心を見てきて、やつとやつと、もう亡くなつていていますが、母に対して、大切に産み育ててくださつて、お母さんありがとうと素直に言えるようになります。



した。そして、肉の気持ちもだいぶ楽になりました。

肉の母親に対する肉の自分の思いの修正というのも、この学びを進めていく上でとても大切なことだと思うので、そういう意味でもよかつたと思っていますが、でも、今の自分の母親の反省は、これだけしてくれたから、ありがとうという肉の次元を出ないように感じています。

なぜなら、私の意識の世界は全然違うからです。

お母さんとthoughtして出てくる思いは、くそばばあ死ね！ 宇宙の果てまで追いかけて行つて殺してやる！ 墓石を掘り返してその骨を粉々に打ち砕いても、この恨み怒り憎しみは消えることはない！ ……そのようなすさまじいエネルギーです。尽きることなく爆発するようになります。

私を神だと認めない母親を、私を素晴らしい存在だと認めない母親を、私の力を否定する母親を、私はどうしても許すことはできない。この思いは根強いです。

二回目の愛のセミナーで、密教のエネルギーが、お母さんを素直に呼ぼうとする思いを邪魔しているから、その思いを見ていてくださいというアドバイスをいただきました。

うれしかつたです。今世もたくさんの他力信仰にかかわり、たくさんの他力の思いを出してきて、学びを始めた当初、一通り他力の経験を振り返つてみたものの、何を反省していつたらしいか、そのポイントがわからぬまま今に至つていたからです。

二回開いていただいた愛のセミナーでしたが、セミナーの前後、セミナーとセミナーの間にいろいろな思いが出ました。

特に、自分がお母さんの温もりを求めて生まれてきたことを心で強く感じるようになりました。そして、自分の人生は、ただただそのためだけの人生なのだという思いも伝わってきました。

一方で、肉の私が、肉の力でこの肉の人生を生きているのだという思いも以前から強く感じていました。肉の思いの強い私は、これまで、セミナー

参加等々形の上ではこの学びをしていても、肉の幸せを求める気持ちが強くどうしても欲望を満たす方向へ行ってしまいました。その結果、真っ暗な世界でさらに苦しみを膨らませ、自分自身を苦しみの底へ突き落とすってしまいました。

今回セミナー参加を通じて、お母さんの温もりに帰ろうという自分の思いに肉の自分も「はい」と素直に従つて、この学びを人生の中心においていかなかつたら、田池先生の言われる通りにやつても、結局は形だけ、「私は神だ」と己を高く掲げる自分を崩していくことはできないのだという思いが強まりました。だから、素直になつて、お母さんの温もりに出会い、そして愛に出会つていけるように、自分自身の学びを進めていきます。肉を基盤にした立派な自分を崩していきます。

田池先生が参加されるセミナーは来年末に閉じてしまいますが、でも、まだ一年以上時間があるのだと思って、日々噴出してくる自分のエネルギーと向かい合いたいと思います。反転のエネルギーもまだまだ弱いので、母を思う瞑想と、田池留吉に向ける大噴出の瞑想とを真剣に繰り返し、少しずつ反転のエネルギーを強めていければと思つています。大噴出してくるエネルギーをお母さんの温もりで包んでいきたいです。

田池先生、塩川さん、UTAブックのスタッフのみなさん、本当にありがとうございました。

参加させていただけてとてもよかったです。



愛に心を向けて

市川明子

自分の心に響いてきたものを信じる、その道しかないということ、何度も何度も聞かされてきたけれど、それが今やっと自分の心に響いている。

これを信じていくんだ、この自分とともに歩いていくんだ、自分の道を一步一步と、そんな道が見え始めた。愛のカードはまさしくそれを手助けしてくれる。ただただ見る、思う、それが私の軌道修正につながる。

現象の中で、何度も何度も反転の練習をさせてもらった。それが日々の生活の中でふつとつながった。あつ出来る、そだあらの現象の中でやつた反転をやればいい、こうしていけばいいんだと、嬉しくなった。やれるか

もしれない、やつていけるかもしない。様々な現象の中で、それでも、やつていけるかもしないと思った。飲み込まれていくのを、自分で軌道修正が出来るかもしないと思った。こうして愛を信じていく道を歩いていけばいい。地獄から、一步一步、愛に帰っていく道。愛を信じる信を培う道。愛を思う、ここから心が離れれば、間違いなく私は、激流の渦の中。厳しいけれど、私は今そんな中にいる。この今を、軌道修正のチャンスとするかどうかはすべて自分に懸かっている。自分の心の向け先一つ。今の私にとつては、愛のカードはまさしく命綱。

今この思いの中で、やつと自分がいったい何に心を向けてきたのか、愛以外に心を向けてきた自分の心を見つめられる。今を通して、出来得る限り学ぶ、それが私の学び。

ありがとうございました。ありがとうございました。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、あなたの心の向け先はどこを向いているでしょうか。あなたの夫はこの学びを離れました。心が離れました。ということは、どういうことでしょうか。もう一度あなたの心の向け先をしつかりと確認してください。エネルギー、あなたのなかから出るエネルギー。田池留吉、アルバートへ向いていますか。あなたの心はどこを向いていますか。その方にしつかりと心を向けてください。

心の中のアマテラスの存在

一井初子

今年の三月のはじめ、あることをきつかけに闇が段々膨れあがり闇の大噴出です。

そうこうしている間に意識の流れのホームページにも闇の大噴出と崩壊のすすめと大きな赤字で書かれてあります。それを目にすることによりさらに心の中がざわざわとしてきます。心の中の闇が、私のスキを見つけて殺してやると脅かしてくるという感じです。肉で考えてもこんなことで自



自分が自分に脅かされるのかといった状態です。今まで心の中の闇が語つてることではなくて、こんなことは初めてで、なにか穴の中に入っている感じでした。すごいエネルギーが一ヶ月ほどの間、数回出ました。

本当に体力と気力がいるなあと自覚しました。ホームページに「天にそり立つ富士ヶ嶺の大噴火を想像してみて下さい」と書かれてあつた頃のある夜中、本当に心の中で富士山が大噴火して溶岩が流れ出している感じですごかったです。その時のホームページに書かれてあつたりした通りの状態をその時体験している自分に歯がゆい感じもしました。

それで磁場反転をしてみたり、愛のカードを枕の下に置いたり、体に付けてみたりもしました。

少しばかりが楽になつてくるようにも思いましたが、それでは根本解決に至りませんでした。けれどその時、愛のカードは心の向け先を的確に教えてくれているものだと再確認しました。家のあちらこちらに置かれてある愛 愛 愛のカードが、「心をこつちに向けるんだ、こつちに向けるんだ」と伝えてくれているのを思いました。その後、私の心の奥底を見てみようと書き出してみました。

やはり己一番、そして形を本物とする世界のアマテラスが見えてきました。そして田池先生がこうしてみなさいと言われたことに対しても、反発心、反逆心をもつてゐる素直でない自分もありました。そしてこの隠れたアマテラスの存在に気付けた時点から、やつぱりと思い、すつきりとしました。愛のカードはただただその間も、私に心の中のアマテラスの存在に気付くことと心の向け先をずっと伝えていてくれていたのでした。以上が今までの私の一番の愛のカードでの体験でした。



今回の二回のセミナーに参加させていただいて、まったく違う方向で己偉しで、他力をかかえて、「私は愛、あなたは愛です」とほど遠い生き方をしていましたことに気付かせていただきました。

今までセミナーは、主人に連れて来てもらつてばかりで今回は一人での参加で自立心がない自分を感じました。

田池先生、塩川香世さん、スタッフの方々お世話になりました。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、他方のエネルギーを見て行きます。私は自分の中にしっかりと作つてきました。工エネルギーがあります。

はい、アマテラスです、アマテラスです。はいアマテラスを見て行きます。これまで見えてきました。しかし、私の見方が甘かつた。今回のセミナーに参加させていただき、私はそのように感じています。アマテラスをもつともつと自分の中から出していくように見ていきます。

田池先生から

どうですか一井さん、聞かれて、その通りですか？　はいその通りと何も無理にその通りと言わんでも良いよ。何か反対したり、質問したりすると反抗勢力と思う人がいる。そうじゃないんですよ。反抗勢力っていうのは、大体しやべらないで反抗するのを反抗勢力という。よろしいね。面重複愛と言いまして顔は従つているように見えて腹は反対しよる。これは反対勢力といいます。だから、その反対勢力と思う人はね、全部吐き出していたら無くなるんですよ。私の顔を見て、ニコッと笑つたからと言つて、この人は私に、心もニコッと笑つているかといえば、そうでもないのよ、鬼です……中は鬼。私は簡単にそういう人には騙されません。私が騙されるのは不動産屋のおばはんだけですわ。そういうのは騙されやすい。この勉強は騙されない。そういうことにはうといんですよ。私はね……。はい、では順番に行きますよ。



「お母さん、ありがとう
しかありませんでした

伊藤多美子

長い間、この学びをしながら間違った方向に、自分の心を向け続けてきました。

それが私にとっての第一の危機でした。

その頃の私は、しっかりと肉が本当の自分だと信じ切っていたので自分の心の中が苦しみの渦の中にあることも分からず、起こつてくる出来事に、いつたい自分がどうなつてしまつたのか全く何

も分からない心の状態に肉がありました。

その頃、私は田池先生に「田池留吉に向いていませんよ」と言われても、自分の心が間違つてきた事に何も気づけないままでした。

それほど肉は偉く、高く高くそびえ立たせてきました。

自分の身の回りにも、いろんなことが起こつてきました。

それでも他力をしつかりと握つていた自分の心は、己一番！ 我に従え！ 我は神なり！ の状態でした。

どこまでも己を高く高くかかげ、田池留吉よりも遙か遙か上に自分を置いていたので、何一つ自分の心の間違いに気付けない状態でした。

全く自分の心が見えていなかつたからです。

自分が握りしめてきた他力のエネルギーに支配され、自らそのエネルギーの中に埋没していたからです。

その頃もずっとずっと田池先生は、今と変わらず「お母さんの反省をしてください」と言つていたけど、自分が間違つていないと思つていた心で、肉が自分だと信じている心が、田池留吉に心を向けることを自ら自分の心を見るなどを拒絶していたからです。

自分の動機の修正がどんなに大切な事だったのか、今自分の心を振り返りながら日々の瞑想の中で、お母さんを呼べなかつた自分を思う時、どこまでも自分をそびえ立たせ田池留吉を遥か下に見下しながらの学びをしていました。

自分の中の沢山の意識達を、どこまでも冷たく切り捨ててきました。

肉が自分だと思う凄まじいエネルギーを流し続けてきました。

田池留吉に思いをさらけ出せることが、自分にとつても意識にとつても優しい生き方で、どんなに凄まじいエネルギーが心の中から出てきても、共にお母さんの温もりに帰つて行こうねと、田池留吉の磁場反転のエネルギーは本当に自分が出会いいたかつた生き方でした。

苦しみの中でうごめいていた意識達が瞑想の中で、お母さん、ごめんなさい、ありがとうと喜びに氣付いていくのは嬉しかつたです。心に伝わつてくるのは、「お母さん、ありがとうございます」しかありませんでした。

私はTに心を向け続けてきました。

出会った頃に私はその人を大きくとらえ、田池留吉は小さい存在でした。靈道で人を導く事が出来ると信じてやつてきた自分がありました。

この思いが自分にとつて、田池留吉に対する反逆と、反抗勢力でした。自分が間違つてきましたと思った瞬間から、とても嬉しくなりました。

私は神をしつかり握つてきました。

田池留吉に向けての瞑想の中で、どんなに自分を粗末にして生き続けてきたことか……。

お母さん、ごめんなさい、お母さん、ありがとうございますの思いが溢れ出てきて、そんな自分に出会つたことが嬉しくて嬉しくてたまりませんでした。

日々の瞑想の中で間違いに気付けることの体験の嬉しさは、お母さん、ありがとうございました。

外の田池留吉にも、内の田池留吉にも、心からありがとうございます。

固い決意と、少しの勇気と、
自分に対する眞面目さ

岩本祥子

自分は肉だという思いが、本当にこびりついていること、「私は闇だ」という感覚は慣れ親しんでいるので、「私は愛だ」ということがなかなか信じ



られない。

母に向ける瞑想、0歳の自分に向ける瞑想をして、温もりを感じても信じられない。苦しいのに慣れっこになつてしているので、温もりさえも恐怖に感じる。「あなたは愛なんですよ」と中から語つてきて、それさえも恐怖でした。崩れてしまふ、その思いに委ねれば、自分が消えてなくなつてしまふような思い。過去、何度も何度も失敗してきたから、また、失敗したくないという思い。頭では、委ねようと思うけれど、闇も喜びも、何もかも、私の心を揺さぶるものはすべて、恐怖でした。

温もりを知らないで受けた意識は、すべて死に直結した過去を覚えているから、何もかもが恐怖なのだろうと思ひます。

一回目のセミナーの前に、核に反逆する思いが出ました。ぎくりとしました。田池留吉に対しても、「くそつたれ、くそくらえ、お前に何がわかる」、ありとあらゆる罵言雜言^{ばりぞうごん}が出ていたので、驚かないけれど、核は、肉では、とても尊敬していました。核は、死から出発している、私の出発点とは大違^{いさぎよ}いだ。私は、肉の幸せを離したくないってがんばっている、核ほどの潔さはない、肉での学びに対する取り組み方だつてちがう。

瞑想に行き詰った時、核からのメッセージを読んで、自分の指針にしていました。同年代の学びの友人には、ライバル意識を持つたこともあつたけれど、核は、私より、年上だから、そんな思いを持つたことはないと肉では思つていました。先生が、「UTAの輪に反逆する人があらわれます」という度にぎくりとします。「私はそうはならない、私もUTAの輪に入りたいんだから」、肉ではそう思うけれど、どれだけ、過去に反逆してきたかを思うと、本当に真剣に心を見ていかなければ、知らないうちに違う方向に行つてしまふ、そんな思いを持つていた時に自分の中から出てきた思い。打ち消したかった、知らないふりをしたかった。

一回目のセミナーの最後、「自分のこれと思う人に心を向けてみなさい」と言われ、私は、核に對して向けました。田池留吉に思いを向ける時と同じ罵言雜言でした。そうだ、田池留吉にこれだけ、刃向つているんだから、核に対しても同じ思いを持つていて当然だと思ひました。なんか、うまく

言えないけれど、肉の次元で、よい思いというか、そういうものはないんだな、みんな、真っ黒なんだな、だから、何でもいいんだな、ただ、自分の中から出てきた思いに対して、真摯に正直に向き合わなければならない、ただ、それだけだ、そう思いました。

若い時から、自分の中が真っ黒だと思っていたし、闇だしなどで、すさまじい思いを出していたので、最近では、ちょっとや、そつとの思いでは驚かないと思っていたけれど、まだまだ、認めたくない思いがあつたんだと、再確認でした。

一回目のセミナーと二回目のセミナーの間にスカイプ瞑想会がありました。その中で、ある人に言われたメッセージ、

「母の温もりはあなたの中にしつかりあるんです。そのぬくもりで敏感な心を包んでください。包んでいけるんです。あなたは愛のエネルギー、パワーのものだからです。このことをどうぞ、どうぞ、信じていてください。信じていただけるようなあなたの瞑想であつてください。」

私は言われていると思いました。本当にそうなんですね。そういう瞑想をしていくんですね。小さい頃から、敏感で、母の反省もおざなり。そんなまま、年月が過ぎていったので、ただ、闇を出しつぱなしにしているだけだつた。母の温もり、それを自分の中によみがえらせる、母の温もりが自分の中にあると信じていただける、そんな学び方をしていくんだ、そう思つて迎えた二回目のセミナーでした。

二回目のセミナー二日目、「私は愛、あなたも愛、ひとつ」に向ける瞑想がありました。嬉しかつたです。言葉では、とてもいい表わすことができません。ひたひたと、胸の中、体いっぱい、満たされていく、何と言つていいのかわからぬけれど、満たされていくという感じ、静かだけど、いっぱい、いっぱい、いっぱいになつていく、涙が静かに流れて、何にもなくて、でも、満たされていく。委ねるとか、委ねないとか、そういう思いもなく、ただ、ただ、私の中がいっぱいになつて、満たされて、あふれてしまうような感じ。時間は長く感じられたけど、怖くもなくて、安心で、いつまで

もそのまままでいたいような。あんな感じは初めてでした。
それを信じていくんですね。

あまりにも濃密なセミナーだったの、「体験談を書いてください」と言
われた時、どこから書いていいのか、かなり、重荷になつて、飛行機に乗る前、
反芻してきました。「一日目の「私は愛、あなたも愛、ひとつ」の瞑想にす
べてが集約されていて、でも、そのことは、言葉ではとても、書き表わす
ことができない、そんな感じです。

今日のメッセージにも厳しい言葉がありました。

「二兎は追えません。自分の中を一本に絞つてください。今、あなたは
自分に何を伝えられますか。あなたにとつて、今という時はどんな時でしょ
うか。」

そして、「磁場と反転」の一文、「固い決意と、少しの勇気と、自分に対
する眞面目さ」。これを心に刻んで、日々を過ごしていきます。

すごいセミナー、本当にありがとうございました。

私の中の闇たちの誕生日

上地孝枝

愛、出版セミナー初日の日を、私は、私の中の闇たちの誕生日だと決めっていました。言い換えれば、私の中で首を長くして待ちに待つていた全ての闇の噴出が田池留吉のもとで解禁される日だと決めていました。だから、みつともないとか、恥ずかしい、なんていう言葉は厳禁にして、この肉には頑張つてもうんどと一回目のセミナーに臨みました。だから田池留吉に向く闇の噴出が思いもよらない方向に曲がってしまうことも



度々でした。しかし、これも私の見なければならない闇だと確信して、とにかく自分に忠実に、素直に、正直に、この場を逃してはもう私にはそのようなチャンスは一度と廻つてこないことをしつかり頭に入れ、先に、先进めていきました。

まるで餓鬼たちが目の前の食べ物を全て食い尽くすまで、周りで何が起ころうと、決してその手を離さず獲物に食い付いている、そんな状況のまま一回目のセミナーは終わりました。とにかく初回のセミナーは私にどうてどんな闇が出てきているのか検証する時間ももどかしくらい闇の噴出に終始するセミナーになりました。

検証、確認は家に帰つてからの仕事だと決め、セミナー中は闇の噴出だけに重点を置きました。一回目のセミナーを終え、家に帰つてから毎日のようにセミナーでの膨大な宿題、課題に目を通していきました。心の中の世界つて本当に不思議だと思いました。セミナーで噴出した闇の現象の一つひとつを忠実に振り返つていくと、なんとその全てに答えが返つてくるのが分かりました。セミナーの最中には体験できなかつた闇たちとの心のやりとりが家で再現できることの有難さ、闇の現象の時の荒れ狂つていた闇たちの一つひとつが静かに答えてくれるのです。

私の中で肉で解決のつかなくなつていた諸々の心の有様が、それらの闇たちとの語らいから見えてきたものがありました。今までの何とも表現し難かつた心の乱れが、まるで静かに一つの籠おさに収まつていくような何とも不思議な感覚を覚えました。

次々に面白いように一つの答えに行き着きました。その籠おさこそ、その答えこそ、求めて、求めて止まなかつた母の温おさもりでした。どの答えも思いは一つ、母の温もりを探して、探して、彷徨さまよい続けてきた意識たちでした。今世、初めてやつとその闇たちと再会できたのです。

それは遙か、遙か遠い過去から、私の中で何万回も何十万回も繰り返されてきた肉を本物だと信じる意識たちが作り上げた苦しい、苦しい心の世界の現実でした。今、その闇と対面できる不思議さ、懐かしさ、呼べばすぐ答えてくれる程の身近な関係とでもいうか、闇は本当に今の私と一つなんだと思いました。

これまで抱いていた嫌悪感も、恐怖感も、違和感も、異物感も、もうあまり感じられなくなりました。母の温もり、あの愛の場での徹底的な闇の噴出があつたればこそ、闇と自分との一体感がより強固になり、闇たちとの語らいが本物になつていくような思いが強くなつていきました。やはりこの肉体を通して噴き出してくるからこそ、その闇がより愛しく、より身近な存在としてこの心に受け入れられるようになるのだと実感しました。

初回は、何が何でも闇の噴出という形で出会うたくさんの自分の確認でした。二回目のセミナーは、私の分身として誕生した私の闇の意識たちと一つになつていけるかどうかの確認と実践でした。

二回目のセミナーでは、私の中では的が一つに絞られました。全ての過去世たちが、その思いと一つになれる事を信じて、「愛、私は愛、あなたも愛、ひとつ」、その文言を本当に心から信じられる自分に甦りたいという思いで、一心に田池留吉に心を向けていくだけでした。

それには「愛、私は愛、あなたも愛、ひとつ」の確信、その実践により反転のエネルギー、愛のエネルギーの拡散が足元の小さい闇たちからどんどんどんどん広がって、終には広大な闇のエネルギーと一つになつて全てが愛に帰つていくのを見届けることだと思いました。

しかし、そんな壮大なシナリオでさえも、その出発は自分の足下からでした。足下の確認を怠つていました。

そんなシナリオを他所に、家の復習、予習の成果がどのような形で現れたか、自分の評価は本当に微々たるものでしかなければ、とそう思う自分を控え目だと取る裏には、大きな心癖が潜んでいました。そうでした、大物狙いの私の心癖が足下の闇の確認を怠つてきました。その評価を下げる大きな要因になつていたことにも気付けませんでした。

日々の生活でふつと出てくる闇の確認、その闇たちの世話をできずに、大物を反転させてやるんだと豪語する自分に本当に懺悔です。大きな一步も小さい一步から、そうでした。そのことを肝に銘じ、小さい一步から坦々と愛の実践をしていきます。

ありがとうございました。

メッセージは波動なのだと実感

宇野直子

「あなたは愛です」愛のセミナーに参加して、大噴出・総崩壊の現象の中で、どれ程、愛からかけ離れて存在してきたのか、愛の上にどれ程ブラックを塗り重ねてきたか、間違い続けてきた愚かさを感じています。自分で自分の首を絞めて、地獄の底の底の奥底へと突き落としていた、本当に自分に冷たい冷たい転生を繰り返してきました。

自分の現状を全く知らなかつた。「肉体を持つて死後の世界を今、生きている」。セミナーで何度も何度も伝えていただきました。分かつてているつもりでした。本当に認識が甘かつた、甘過ぎたと痛感しています。自分の心でしつかりと捉えていませんでした。

死後の世界に思いを向けると、地獄なんて、そんな生易しいものではない、地獄の底の底の底、言葉では言い表せないくらい凄まじいエネルギーと重圧の中で、理性も何もかも吹っ飛んで、私は本当に狂つてしまふのではないか、いつも狂つた方が楽なのではないかと思うぐらい、凄まじいエネル



ギーの荒れ狂う世界でした。こんな中で田池留吉を呼ぶ、お母さんを呼んでいくなんて、とてもとてもできません。

凄まじい世界、自分の作り上げてきた宇宙、本当に限界ギリギリ、どうしようもない状態に追い込まれていてることを、ほんの少しですが、心ではつきりと確認させていただきました。

田池留吉に針を合わせる、本当にこれができるか、できないかなのだと感じました。自分の作り上げてきた凄まじいエネルギーの中で、濁流に飲み込まれて、もうだめだと思ったところで「反転」する。「田池留吉を呼びなさい。しつかりとしつかりと心で呼びなさい。あなたの中にいる田池留吉を呼びなさい」。すごい波動とともにメッセージが心のど真ん中にストレートにズドーンと響いてくるような感覚でした。

ああ、本当にメッセージは言葉ではない、波動なのだと、その時実感しました。

ブラックのエネルギーは、愛に徹底抗戦していきます。我一番の帝国を、このすばらしい帝国を壊されてなるものかと、力の限り戦いを挑みます。自らをパワーで武装し、邪魔するものを蹴散らし、戦いに明け暮れてきた長い長い間に、自分の本質をも忘れ去ってしまった、そんな現実を思い知らされています。

でも、その素晴らしい、「我は神なり」と誇ってきた世界に、中心棒はないのです。何もない、支えとなるものが何もない、どれ程、外へ外へと勢力を広げようとも、宇宙のパワーを手中に收めても、我一番の帝国を築いたとしても、それは本当に頼りのない、吹けば飛ぶようなガスか霞のような存在でした。

ブラックに伝えます。「守ってきたものを崩していきませんか？」

ブラックの思い

我が帝国を崩していくのか、そんなことをしてどうなる？この世界が崩れてしまつたら、我らは一体どうなる？我らの存在はどうなるのだ。それはできない、絶対にできない、我らの帝国の敵となるものを絶対に許

さない。

素晴らしいと誇ってきた世界、長い時間をかけて作り上げてきた世界、それが失われれば、我らに何が残る？怖い、怖い……。何も残らなかつたら？全部崩れ去つた後、何一つとして残らなかつたら、我らはどうなつてしまふのか？そんなことはできない、崩壊は恐怖、恐怖、恐怖、恐怖に押しつぶされそうです。

まだまだ反転力が弱いです。自分を信じる信、愛への信がまだまだ弱いです。お母さんのぬくもりを狂いに狂つてきたブラックに伝え切れていません。「田池留吉、殺してやる。お前が目障りだ。田池留吉消え失せろ」と叫んでも、力の限り愛に反発しても、その奥の奥の奥から、お母さんと呼びたかつたと伝わってきます。出しても出しても「田池、死ね」と出てくるけれども、お母さんと心の底から呼びたい、もう一度お母さんと呼びたい、あのぬくもりに帰りたいと切なる思いが伝わってきます。

どうしようもないくらい、狂いに狂つてしまつたけれども、絶対にこのままにはできない、このまま見捨てていくことはできないと強く思いました。やるしかない、ほとんど不可能に近いけれども、一つひとつ自分の手でやつていくしかないのです。

「死ねば自分一人の世界です」と伝えていただきました。自分を救つていくのは自分しかいない、その為に今世、お母さんに産んでいただきました。願つて願つて肉体をいただきました。数えきれないくらいたくさん転生の中でも、お母さんは伝えてくれていました。

「帰つてきてください。あなたのふるさとへと必ず帰つてきてください。」と伝え続けてくれました。その約束を全部反故ほごにしてきました。何度、今度こそ、今度こそと思ったか知れません。全部全部失敗でした。自分で自分を奈落の底へと突き落としていきました。

「まだ、間に合う」。そう心に伝わってきます。田池留吉の肉体のある時間が残されています。自分の撒いた種は自分で刈り取る、誠実に偽ることなく、自分の世界と真向かいになつて、学んだ結果を必ず自分自身に出して肉を終えていく、次の転生へ、そして、次元移行へと、心を繋いでいくこ

とが、私の成すべきことだと強く感じました。

今、大噴出の現象を思いつきりできるのは、肉体細胞のおかげです。ありがとう、本当にありがとうございます。「共にやつていきましょう」と支え続けてくれます。貴重な学びの時間を本当にありがとうございました。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

あなたは、どんどんご自宅で瞑想をして下さい。はい、しっかりと「愛」の方向に向けて瞑想をして下さい。あなたが作ってきた宇宙、その凄まじいエネルギーが出てくるでしょう。しかし、それは「愛」に帰るエネルギーだと、あなたの心でどんどん、どんどん知つていつて下さい。そして、あなたの周りにいる、学びに集つた人達にお伝え下さい。滋賀はそこから始まります。滋賀の目覚めを待つていてます。私達は待つていてます。

田池先生から

先ほど言いましたように、この人はね、大阪の私の家の近くに住んでおられたんですね。お母さんも、お父さんも、おばあちゃんも、おばさん達も、みんな勉強してるんですね。ある日突然、私からしたらある日突然、どつかへ行っちゃつたの。滋賀県へお嫁さんに行つたわけですね。なぜ行つたかつてことは、これから分かつてくると思います。

ただ単に良い人がいたから行つたんじゃない、それはいはずれ分かつてきます、そういう勉強も、また、そういうお仕事もお願いします。

愛　あなたは愛です

大北知衣子

「愛　あなたは愛です」の二回の貴重なセミナー、本当にありがとうございました。安心してのびのびと、思う存分自分の闇を噴出し、向き合う機会を頂けたこと、ただただ感謝です。

四月下旬のある日、「愛　あなたは愛です」という言葉を、UTAブックのホームページで目にしました。今まで何回も目にしていたはずですが、その時、私の心に万感の思いが迫ってきました。

あー私は愛なんだ。長い長い間、その私を裏切って足蹴あしげにして生きてきたんだ。でも、それでも私は、やはり愛でした。愛の中にありました。……何ともいえない思いでした。

一回目のセミナーを終えた数日後、田池留吉に心を向けていました。心の中から伝わってくる思いがありました。

私は愛だから生まれてきました。そして肉の田池留吉に出会い、本当の自分へ帰るチャンスに巡り会うことができました。すべてが愛でした。私が愛だという証でした。

今回も、心の中から、愛はどこかにあるのではなく、愛は私の心の中にあります……と伝わってきます。肉の私には、とうてい説明がつきません。しかし心に伝わってきたこと、心で感じたことは確かです。

この二回のセミナーで、心の中に溜め込んできた田池留吉に真っ向から戦いを挑むエネルギーを、何度も確認させていただきました。「私は愛、あなたも愛、一つ」の世界に刃向かい続けてきた私です。そのエネルギーが、己一番、私は特別、私は選ばれた存在……となつて噴き出していました。「田池、死ね！」「田池、消え失せろ！」と叫びながら、心が解放されていくよ

うでした。

最後の念力パワーの現象では、もちろん私の中からも飛び出してきました。すべてを自分の思い通りに動かしたいエネルギー。出てくれたことが喜びでした。共に心を見ていくと、ただ嬉しさが湧いてきました。

私の中に無尽蔵に埋もれている「田池、死ね！」と、これからも対面し続けてまいります。共に帰ろうと、真っ黒な私を受け入れ包んでまいります。それが、私が今世生まれてきた目的だからです。そのためにお母さんに産んでいただきました。お母さん、ありがとうございます。本当にありがとうございました。

今世も間違つて間違つて生きてきた愚かな私ですが、「あなたは愛です」という真実を伝えていただいたことが本当に嬉しいです。この真実に向かつて、焦らずたゆまず、たくさんの私と共にひたすら歩き続けてまいります。ありがとうございました。





肉の基盤を愛の磁場に反転

小笠原 超

私は、最初に草書体の愛を見た時は、新しいお札やお守りのように感じましたが、愛の文字を、他力の反省の切り札として使用しますと、学びのスピードが早くなりました。

学びの原点としてのお母さんの反省、他力の反省、動機の反省、0歳の瞑想を続けていましたら、セミナーで大噴出と総崩壊、磁場と反転の学びが始まりました。

大噴出の出来る環境に恵まれ、大噴出、反転、総崩壊、0歳の瞑想を繰り返し実践する事が出来ました。

そして、私は愛、あなたも愛、一つ、田池留吉、喜び、温もり、優しさ、プラスのエネルギー、宇宙そのもの、瞑想をすると、穏やかな世界、喜び、温もりが広がるようになります。

心を内に向けると、鉄塊のようなマイナスのエネルギーをプラスのエネルギーが穏やかに包んでいるように感じ、田池留吉の愛の世界は、私、あなたの差別、区別の無い世界、無限に広がる宇宙、そのように感じ、愛を思えば穏やかな喜びの世界が広がります。

今までとは全然違う世界を感じ、そこからの大噴出、反転、総崩壊はプラスのエネルギーに感じました。

私は愛、あなたも愛、一つ、私はそのように思っていました。

しかし、私の思っていた、私は愛、あなたも愛、一つは、肉のパワー、エネルギーを基盤とした偽物でした。

他力も、偉い自分も、反抗の思いも全てが、肉のパワー、エネルギーを基盤としていたものでした。

肉のパワーの反省を通してその事に気づきました。本当に愚かでした。

残り少ない肉の時間の中でどこまで本当の愛、田池留吉の磁場に合わせることが出来るのか、厳しい現実がありますが、肉が無くなつてからでは難しいということも分かつています。

時間が立つと共に、暗黒の世界に落ち込んで固まつて行く、そのことに気づいているから必死です。

今私の愛は偽物でも、私は愛、あなたも愛、一つを信じています。いつの日か必ず、本当の私は愛、あなたも愛、一つに反転すると確信しています。

そして、次元移行と共に懐かしい故郷に帰ります。

田池留吉の世界、愛の宇宙に帰ります。

私はそのように内の私に語り掛けています。

愛の文字が来てから、肉の世界の環境も変わりました。

生活も順風満帆と言いますか、不調和なことが無くなりました。

不都合なような事があつても、いつの間にか自然と消滅していきます。

息子と一人で学びをしていましたら、八十二歳になる母親も意識の流れ、

磁場と反転の本を読んで学び始めました。

妻も学びの話を聞いてくれるようになり、いざれは夫婦でセミナーに集える時が来るのはないかと嬉しく思っています。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、あなたの中のパワーをご存知ですか。ご自分が作ってきたパワーをご存知ですか。凄まじいエネルギーをご存知ですか。もつともつと自分を知つて行つて下さい。母の温もりの中に、そのエネルギーを帰して下さい。凄まじいですよ、あなたが作ってきたエネルギー、そのパワーを求める心、凄まじいです。

どうぞどうぞ、お母さんの温もりに帰して下さい。

田池先生から

どうですか小笠原さん、そうですね、大変な勢いでこの学びに来られましたね。最初と大分変わりましたよ。大分変わりましたけどね、これから頑張つて下さいね。はい、ありがとうございます。



「ゴメンナサイ」が嬉しい

緒方和子

闇出し現象では闇が噴出するでもなく、家での瞑想は正座状態、仲間の「愛あなたは愛です」の体験文に目を通すこともない有様で、第一回愛セミナーに参加しました。仲間の闇出しの様子に、あまりの自分の怠慢さに驚き、帰宅後、闇出し瞑想を心掛けました。第二回愛セミナーの闇出しで、突然、自分が中から「私は分かつて、出来ている、素晴らしい、立派……。苦しい、苦しい……。後はパワーが欲しい、パワーが足りない、パワー・パワー……。パワーが有れば田池留吉の上に立てる……」と出てきました。

このような体験は初めてで、しかも、その内容の凄さにショックでした。続いて自分が信じてきた宗教に向ける瞑想で、今世してきた他力の教祖に向きました。凄まじさの差こそあれ、自分と同質のものでした。驚きを通り越した思いでした。チャネリングで、そして田池先生から「己偉いですね」と言われた時はもう納得納得でした。

セミナー後、思いが芋づる式に出てきました。仕事、宗教、お母さんに使う思い、みな同じでした。職場でどれ程己を誇ったのか。周りを見下し「私は偉い、出来ている。私の言うことを聞いて言う通りにしていれば上手くいく。オレ様の言う通りにしてろ、してさえおれば幸せになる」。

高く高く聳え立ち、上から物申し命令支配する。もうあまりに聳え立ちすぎて聳えてる自分が見えない。仕事熱心な自分に酔い、己を誇り美化称賛の思いでした。もう狂つてるつてなもんじやない。自分の地獄に周りを引きずり込んで……。私は間違つてきました。苦しかった。申し訳ありません。

周りが思い通りにならないから苦しかったんじゃない。己を誇り田池留吉から外れた心だったから苦しかった。他力信仰も単に癒しや幸せを求めてじゃない。自分のエネルギーがその教祖と同じだから、その宗教を選んだのです。お母さんに使った心も同じ。母に向け己を誇つてきました。このオレを認めろ、オレを素晴らしいと認めろ。母に挑戦してきました。私を認めさせ屈服させたかった。でも私が肉で頑張れば頑張るほど、母は私

を認めなかつた。遙かに超える母のパワーに屈する自分が辛くて、悔しくて、母を恨み憎みました。母の姿は私の心を氣付かせようとしてくれているのに、たゞ私は思い通りに母を支配したかつた。認めてもらうことで幸せになりたかつた。

お母さん、お母さん、アーお母さん、お母さんを呼ぶ度に嬉しくなる。アーお母さん、私は狂つて狂つて間違つてきました。どうしようもないほど間違つてきました。私はお母さんの肉を見てきました。そして見下げ、畏れ、戦つてきました。愚かでした。愚かでした。お母さん、お母さん、お母さん、申し訳ありません。お母さん、アー私は「申し訳ありません、ゴメンナサイ」、この一言が言えなかつた。「ゴメンナサイ」の一言を言うことがどれ程自分にとつて屈辱だつたか。こんなにもゴメンナサイが言えない偉い偉い私でした。申し訳ありません、私は間違つてきました。お母さんお母さん、お母さんと呼ぶことが今嬉しい。お母さん、私は肉で戦つてたけれど、お母さんは私をいつも温もりで受け入れてくれていた。アーお母さんと呼べることが嬉しい。本当の思いを伝えてくれていたお母さん。その優しさがどれ程のものか、口偉い私には分からなかつた。殺人鬼のような私を受け入れ、自分を委ねる母の思いなど、とても分からぬ愚か者。お母さん、ごめんなさい、ごめんなさい、お母さん、嬉しい。「ゴメンナサイ」が嬉しい。お母さんありがとうございます。有難うございます。

他力信仰の教祖に向けてみました。苦しみ呻く。余りに苦しくて「苦しい」と叫びました。中からどんどん叫びが出る。「苦しい苦しい……、助けてくれ田池留吉、田池留吉 助けてくれ」。最後は「助ける 田池」でした。ただ苦しい、正に地獄。これが教祖の姿、そして私が今現に生きている世界、地獄、たゞ真つ暗な地獄。反転をしました。あれ程苦しい心が穏やかに変わり安らぎました。それは単に私が肉に戻つたから樂になつただけかも知れません。ただその苦しみの違いは大きかつた。私は田池留吉の上に胡坐あぐらをかき田池留吉を見下していたと思いました。あまりに偉くなりすぎて自分の現実が見えない。一体これまで私は何を学んできたのだろう。出来てる、分かつてると。その実態は、苦しみもがき助けを求める叫んでる。己の地獄を垣間見ました。

本当に己が偉かつた。申し訳ありません。田池留吉を思う瞑想が、どれ程貴重で凄いか。この瞑想無くして己の実態など分からぬ、自分を救うことは出来ない。本当に愚かで偉かつた。自分が救われるのは田池留吉を思う瞑想と反転以外に無い。それだけが愛に気付いていけるのだと思いました。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、あなたもしっかりとこの学びに心を向けて下さい。あなたは、あなたなりに瞑想をして反省なされてると思います。しかし、心の向け先がずれています。はい、はつきりとこの学びに心を向けて下さい。田池留吉を素直に思つて下さい。素直に思えば思うほど、まだまだあなたのなかから、優しい優しい思いが溢れます。

その思いは、あなたの中に作つてきたエネルギーを噴き出していきます。その循環を、あなたの中にしっかりと作つていって下さい。田池留吉をしっかりと思つて下さい。

田池留吉から

この人も、しっかりと勉強はしておりますけどね、やっぱり仕事が仕事です。そうするとね、仕事してると、そういう一つの心癖が出来てしまうのね。自分ではこの勉強してるつもりでも、ちょっと違う。まあ悪い言葉で言つたら頭^{はず}が高い。だから、そのところを気を付けて素直に「田池留吉、愛、アルバート」そういうふうに心向けて、もういつぺん自分の心を見て、反省文を送つてきて下さい、はいありがとうございます。



これほど大切な時間はなかつた

小野淳一郎

これほど、今の自分にとつて、大切な時間はなかつたと思います。
素直に、ありがとうございました。本当にかけがえのない時間をいたしました。
いたことに、心の底から感謝いたします。

あれだけのエネルギーを吐き出し、これでもかと、ただひたすら爆発的な心の底からのエネルギーを愛に変えていく作業を心と身体を通して、体験させていただきました。こんなことは、もう二度と肉もつてあるまいと

の思いが静かに湧いてきます。

愛はすごい、本当にすごいと、ただそれだけが湧き上がつてまいります。

田池先生、田池留吉、ありがとうございますと、叫びが上がつてきます。大絶叫が上がつてまいります。母なる宇宙に、この思いを出して出して、出しつくしていきます。私の叫び、俺たち、皆、すべての皆の叫びが、どんどん吸い取られています。何が叫びたかったのか、この俺たちの中の怒り、呪い、戦い、ぶつ殺してやるという、戦いにのた打ち回ってきた心の数々、こんなことが起きるとは、かつて、こんなことが許されているなどと、我々が知ることなど一度としてなかつたことです。

今、これから道筋を見据えております。これから一五〇年後、次元移行へと向かう、己の道を見据えております。

田池留吉、私は愛ですと、私の心が叫びに変わつていく、そのことをしっかりと信じて、ただただ、この心を見つめていきたい、そして、愛に変えていきたい、その思いが噴出してまいります。

このような時間をいただいたことは、本当に我々にとって、すべての生き方が変わつていく、転換のきつかけとなつた、これから「己」の行き方を決めてくれたとの思いが伝わつてまいります。

激しい現象の中で、この心はすべてをかなぐり捨てて、自分と向かい合つていたのだと、今にして確認させていただいております。これがしたかつたのか、俺たち、私たちは、この思いを知りたかったのだと、今にして、この思いを感じております。もう迷うことなく、やつていく、もういいではないか、ダメでも、愚かでもいいではないか、こんなやさしい思いに、私たちは受け入れられてきた、私たちは肉ではなく、愛に生かされてきたのだと、私たちは、今、叫び狂つています。ようやくここまで来れました。先生、ありがとうございます。これから、そうです、これからも続いていくんですね。うれしくて、この心は張り裂けんばかりです。

これが意識の世界なんだなあとと思いました。肉の私の中でどんな変化が起つてはいるのか、自分の苦しさ、そう簡単に変わつていくとも思えませんでした。しかし、そうではない、皆、これを待つていた、待ち続けてきた

のだと感じ始めております。心の中で何かが始まっている。そうか、そういうことかと、自分に納得できる思いが感じられます。心が生きている、生きかされている、すごい勢いで何かが変わっていくのかと、感じております。私は感じていく、そしてこの心が自分だと、だんだんと知つてていく、その過程にいることを知り始めました。この肉ではない、この肉は自分ではないのではないか、そのことが心に湧き上がってきます。そうか、肉ではない、私は意識だと、それが本当のことではないかと変わり始めました。

田池留吉から

よかつたですね。もつともつと喜びで存在していけるんです。人間は喜びだけなんです。そのエネルギーがあなたなんです。心の世界をもつともつと信じていてください。信じていくだけなんです。体験したことは真実です。心で感じたことを信じていくだけです。あなたは瞑想に集中していくのです。それだけです。自分の心の世界の変化をもつともつと感じていくためには、それしかありません。最後は瞑想、それがあなたの人生です。喜びで実践していきましょう。

自分で遅れていると思つている人達に

田池先生から

休憩に入る前に一言、塩川さんを通して、まだ自分は進んでないと思つている人達、自分で「ああ私はまだ駄目だな」とかね、自分で遅れていると思つている人達に向けて、私からメッセージを送りますから、どうぞ聞いてください。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい。心を小さくするのもあなたです。心を大きくするのもあなたです。その言葉を肝に銘じてください。みんな同じなんです。みんな同じ地獄の奥底の底から這い上がってきた意識です。

どうぞどうぞ、誰が進んでいる、誰が遅れているとは関係ありません。

みんな同じ、みんな同じ。お母さんの温もりを感じていつてください。

お母さんの温もりを感じていつてください。

そのメッセージをおくります。

田池先生から

はい、有難うございました。先ほどからのメッセージにありましたし、今日、はじめて一番に言いました。お母さんの温もりですからね。ですから、ここへ出て皆さん一緒にやる時に、「ちょっと私は遅れているな」と思う人は、お母さんの方に向けてください。

最初、田池留吉に心を向けて、すぐにお母さんの方に向けて、心の中で「お母さん」と三回程呼んでください。よろしいね。誰が進んでいるとか関係ありません。ただ、色々と都合があつて、ちょっと遅れているように思うだけでありまして、決して遅れているとか落第生であるとかはございません。先に行つてるから進んでいるという訳ではありません。進んでいると思つた瞬間落ちていきます。今日言いましたね。進んでいると思つている人は落ちていきます。遅れていると思つている人も落ちていきます。そう

いうことはないんです。ただ、お母さんの温もりが、まだまだだから、お母さんの温もりを思い出すような勉強をということです。

それでは十分ほど休憩します。ありがとうございました。





本心を言うつて、いいな……

金枠かおり

今回のセミナーで、私は初めて自分の身体を通して凄まじいエネルギーを感じました。身体がくたくたになるほどのエネルギー。隠して、ためて、抑えて、詰め込んできた。苦しかった。肉でがつちりと抑えてきた私にとつて貴重な体験でした。素直になつていきたいと思いました。ありがとうございました。

セミナー前から首筋、腕に湿疹が……。なんでだろう。セミナー中、湿疹に思いを向けてみました。小さい頃、アトピーでかゆくて、かゆくて仕方がなかつた時のことをふと思い出しました。

お母さん。寂しい。寂しい。私は寂しい。お母さん、私の思いに気づいてよ。お母さん。寂しい。寂しい。私はお母さんに、素直に寂しいと言えなかつた。お母さんに嫌われたくなかった。一人になるのが怖かつた。だから、私は自分の身体を傷つけて、お母さんに心配して欲しかつた。ただ素直に寂し

いと言えばよかつたのに。肉体細胞ごめんなさい。ありがとう。

ああ～私は寂しかったんだ。私は寂しいから、いろんなパワーを求めてきた。自分を立派にしてくれるもの。癒してくれるもの。変えてくれるもの。私はパワーが大好きでした。パワーはすばらしい。「思えば通じる」という言葉が好きだった。

今世は、特段、宗教や宇宙のパワーに興味がない。いやむしろ敬遠してきた私ですが、今振り返ると、日常生活のなかで使ってきた思いはパワーを求める思いでした。

私は、話をするのが上手くなく、みんなとわいわい言うのが苦手で、気を使つて疲れていました。人の顔色を見ながら、話を合わせていて自分も嫌いでしたが、そんな自分を崩すことも怖かつた。何か人ができないことをすれば、注目されて寂しくないんじやないか。そう思つて、小学校の時はスポーツで一番になること。中学校では、美術で絵を描くこと、勉強もそこそこ頑張つた。でも、そのうれしさは一瞬で、また寂しさやむなしさが襲つてきた。短大の時は、管理栄養士になれば、立派な自分に変われる、幸せになれると信じて必死に勉強した。

凄まじいエネルギーでした。しかし、資格を取れた時の喜びは一瞬で、次に就職先のことですぐに苦しみに変わつていつた。やつとの思いで探しあてた今治の病院。その管理栄養士部長さんの話を聞いた時、私もこんな人になりたい。この人からいろんなことを学びたい。この人なら私を教えてくれる。今思うと、教祖にすがる思いで就職しました。他力でした。しかし、部長の言うことにはおかしいと思つてもすべてYES。当時は苦しんでいる自分にも気付かず、肉体を痛めつけていた。嫌なことも嫌とも言えず苦しかったなど今は思えます。間違つてきました。

チャネリングで、パワーを求めてきました。パワーが大好き。しかし、私にはその自覚がないと言つていました。今世は何の宗教もしていないし、宇宙のパワーとか、そういうものが好きだと思つたことはありません。しかし、上記の通り日常生活でパワーを求める思いがしつかりあつたと納得でした。セミナー中、アマテラス、親鸞、マリア、念力等思いを向けると、全身に力が入り固まつていく感覚。のどの奥からの叫び声。「アマテラスは素晴

らしい。一番。一番。己を表すエネルギー。苦しい。」「苦しい。ただ人々が幸せになるため、教えを広めていつただけなのに、なにが間違っているというんだ。ただ幸せになりたかっただけなのに。幸せを願うことの何が間違っているんだ。苦しい。」「祈つて、祈つて、祈り続けてきた。それが正しいと信じて祈り続けた。しかし、私は裏切られた。苦しい。苦しい。」「私の思う通りになれ。従え。我こそがすばらしい。」

過去にもたくさんのパワーを求めてきたように思います。それと同時に、二〇〇八年十二月初めての方のセミナーでのチャネリングを思い出しました。あの時も「私は素晴らしいパワーを求めてきた」と言つていたな。あの時から、ちつとも変つていないことか。また一からお母さんの反省をしよう。そう思いました。

講話の中で、田池先生の「苦しければ苦しいと言えぱいい。悲しければ悲しいと言えぱいい。しかし自分で間違つていたと確認しながら……」という言葉。涙が溢れきました。苦しいって言つていいんだ。苦しい時も苦しい顔をせず、人の為になどと言つて自分を抑えることが美德だと思つていた私。力が抜けでほつとするような感覚でした。本心を言うつていいな。素直になるつていいな。そう思いました。

私の湿疹は、本当の自分からのメッセージ。今の私は、まだ本当の自分の声に気付けていない私ですが、0歳の素直な自分を思い出し、お母さんの温もりを感じられる自分に変わつていきたいと思いました。私の湿疹あります。ごめんなさい。一緒にお母さんの温もりを感じていこうね。

今回は貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

肉体細胞からの愛について

桐生由美子

セミナーに参加させていただき、ありがとうございました。

今回のセミナー中に、感じさせていただきました。
自分の肉体細胞からの愛です。

それは、我的肉体というのではなく、自然の一部としての細胞からです。
山や木、空や雲のように、いつも私に愛を伝えてくれています。

肉の私は、真っ黒な心です。

でも、そんな私を常に一番近いところで支えてくれています。
私には、この肉体細胞も田池留吉だと思えるのです。

私はそんな肉体細胞によく話しかけています。



「いつもありがとうございます」とう語りかけると、いつも喜んで返事をしてくれる感覚があります。

「いつも、本当にありがとうございます」そう同じように答えてくれます。

「あなたのために、働くことが嬉しいです。いつも、いつもあなたを応援しています。

心を見ていてください。あなたの喜びは、私たちの喜びです。あなたが悲しむと、私たちも悲しいです。

どうぞ、いつも心を田池留吉に、心を向けて、愛を信じてください。私たちはいつもあなたに愛を伝えています」

足の先の細胞から、頭のてっぺんの細胞まで、喜びの波動を常に感じさせていただいております。

セミナーに来て、田池留吉の波動を感じたなら、肉体細胞は、どんどん喜んでいます。

自分の肉体細胞からも田池留吉の愛を教えてもらっています。

こうして、木々からも空からも、自分の肉体細胞からも愛を教えてもらえますこと嬉しく、そして幸せです。

たくさんの意識に支えられて、私は過去世からずつと何度も転生を重ねてまいりました。

過去世からの自分の意識は、ひどいものです。

肉だけで生きた人生はすさまじかったです。

私はすばらしい。でも、真っ暗。真っ暗。真っ暗。

誰一人信じることも無く、全部を投げ捨ててきた。

愛なんか信じない。誰も信じない。あるのは苦しみだけ。

全部死ね。全部を切り捨てる。苦しい。誰も信じずに生きる苦しみ。
どこへも転嫁できない。誰のせいにもできない。

私こそがすべて。私は、私は、私は……。

呪つて、見下げて、苦しんで、その繰り返しをずっとしてきた。

総崩壊の現象で、こんな過去世から出し続けてきた自分のエネルギーが爆発します。否応無く認めていく形になります。

こんな波動で生き続けてきたこと、それを教えてくださった田池留吉、そして支えてくれてきた肉体細胞に、心から感謝です。

こんなひどい私もようやく今世、田池留吉に出会えました。

そして、本当の自分を垣間見させていただきました。

その優しさ、温かさは、まさに田池留吉のものでした。

肉体細胞も、常に私に伝えてくれています。

本当の自分に出会つてください。

あなたは、私たちと同じく「愛」だけなんですよ。

今世、田池留吉に出会えて、そこから流れる愛に気付かせていただけました。闇の中で、真っ暗な心で、投げつけるような波動で生きた過去世たちにも、こんなおだやかな温もりを伝えたいです。

身近なところからも、田池留吉の愛を伝えてくれている存在に、感謝です。
田池先生、本当に本当にありがとうございます。

真実を知らない人生は……：

久保徹夫

第一回目の七月の愛のセミナー体験は強烈に、心と肉体に響きました。心を田池留吉に思いを向けると腹の底から叫び声とエネルギーが飛び出し、体は前に前に突き進み、愛のエネルギーに真っ向から戦っていく私の心からの大噴出でした。

戦い、戦いのエネルギーは尽きることなく出て来ました。

田池留吉を思い「反転、お母さん」と思うとエネルギーが静まり、温もりが心の底から出てくるのが分かりました。

それも束の間で、また、次の待つている地獄の私が飛び出てくるのです。

そして、「反転」と田池留吉に心を向けると苦しんで出て来た闇が静まり、嬉しさも感じて收まりますが、果てることなく私の地獄のエネルギーが出て来る体験をしました。

その繰り返しでした。肉体はへとへとなるが、エネルギーは容赦なく私の肉体を使い、腹の底からの叫びと前進させるエネルギーは気が狂つたかのようになつていきました。

凄いエネルギーでした。そのエネルギーは私が普段使つていたと思いました。「田池留吉、死ね、死ね、くそ、くそ」田池留吉に向かつて叫んでいました。私は中小企業の経営者として三十七年間やつてきましたが、二年前の二〇一一年五月一日付けで、甥へ全ての権限と財産を委譲し社長交代し、一ヶ月後の六月には家族三人で大阪大宝に移転しました。

社長業に使つてきたエネルギーは真っ黒で、破壊、他力の凄まじかつた心を感じました。仕事に頑張つて来た私は愕然としました。

会社の為、社員の為、お客様の為、妻の為、自分の為、全てやつていることが偽善者だった。本当に間違つていたと思いました。

真実を知らない人生は、ただ真っ黒な闇を垂れ流すだけでした。

原因はお母さんの温もりを捨て、肉の欲望だけで生きてきた自分の心にありました。

心の中の田池留吉以外に心を外に向けてきた結果、全てが地獄の底に落ちました。

今ではお母さんと姉が、昨年の一月に東京から大宝に引っ越し、毎日、母と姉、私と三人で愛の文字を見ながら反転の勉強が出来たことが大変嬉しいと思います。

母が亡くなる一ヶ月前に「お前の心の中に母の温もりがあるよ」と私の心から伝えて頂いたことがありました。嬉しい心の体験でした。

四月二十七日に亡くなりました。私の人生で本当に良かったと思いました。生んで頂いたことが嬉しく、おっぱいを飲み、お母さんの懷の中で、抱いてくれていた母の温もりを感じることが出来、「お母さん、ありがとう」と何度も思いました。

肉のお母さんに「生んでくれてありがとう」と伝えることが出来ました。父も昨年の九月に亡くなり、妹も昨年の六月に亡くなりました。私の心中に存在していると思え、私は愛を伝えたいと思つています。

今の私のレベルでは愛は伝わらないと思いますが、伝えることが出来る日を楽しみにしています。



今世のお母さんに、地獄の闇を一部始終、亡くなるまで見せてもらいました。
特にお金の思いについては執拗までに確りと握っている私の姿を見せて
貰いました。

一回目のセミナーは大噴出に於いて、凄まじいエネルギーを感じました。

二回目愛のセミナー八月の体験は、他力信仰に思いを向けてきた私は間
違つてきただと心から思つたことでした。商売をしてきた私は成誠公倫会の
教祖に惚れ、商売繁盛を願つてきました。

お金と神に向けてきた私は、心から教祖を離すことができませんでしたが
今回のセミナーで教祖に心を向けると地獄の底の底に落ち、苦しく、生き地
獄の中で彷徨つて、大変な状態の苦しさを感じさせて頂きました。

その教祖を信じてきた私は愚かで大馬鹿者であつたと初めて心で感じま
した。

過去でも同じ間違いをしてきた私の世界は気が狂つてている状態でした。

瞑想を通して、地獄の私だつたことを認めざる得ない大噴出でした。

お金にも執着、心が強い私でしたので、教祖に心を向ける瞑想と同様に地
獄の底の底の苦しさを感じました。

私が向けてきたお金、教祖は今世だけでなく、過去からずつと心を向け
てきた自分だつたと思い知らせられたセミナーでした。

そんな地獄の私を知ることが出来たことが嬉しいです。

最後の念力パワーの瞑想は想像を超えていました。

私はパワーを求めてきた心が噴出したのは初めての体験でした。

そして、田池留吉を捨てた転生は全て地獄、田池留吉を信じる道しかな
いことを大噴出・反転・総崩壊を通して、心の中の地獄のエネルギーを確
認出来ました。

今回の愛のセミナーは人生の目的である愛に目覚める第一歩を踏み出し
たと思います。残された人生は肉体が亡くなるまで、愛に目覚める勉強を
してまいります。

ありがとうございました。

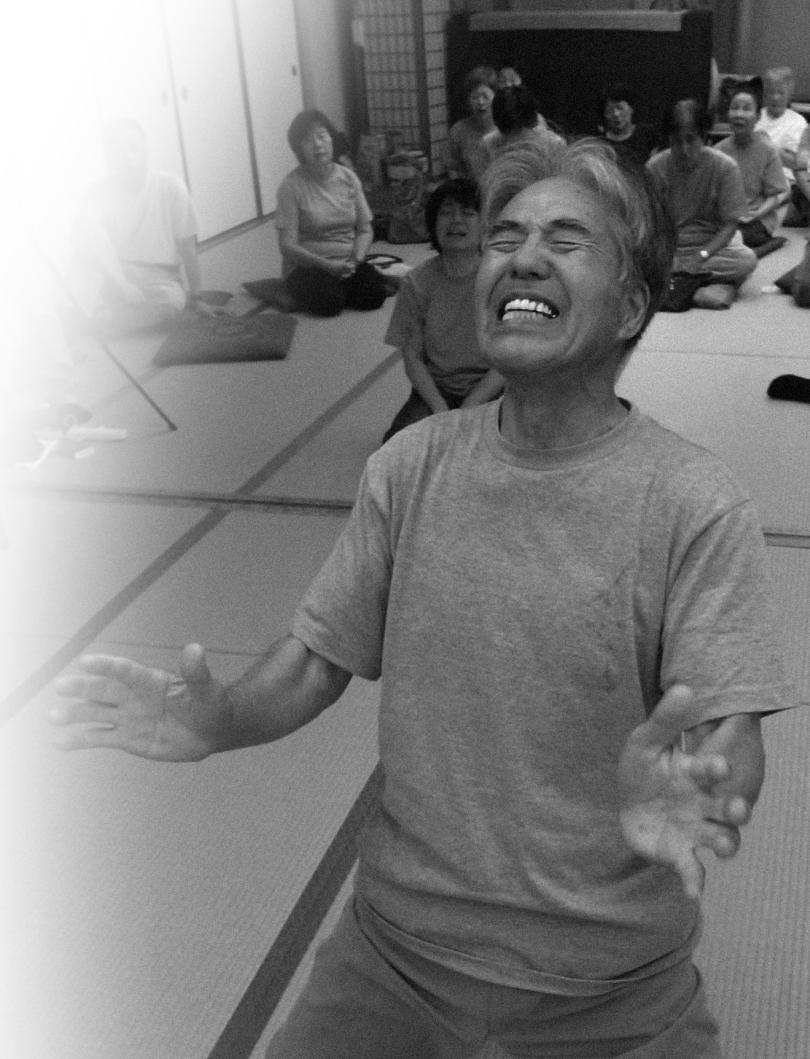
薄明かりがさしてきます

栗生 大

驚きました、通知見て、違うんじやないかと、しかし嬉しかったです。なかなか進みの悪い私に機会、チャンスを与えてください、なんとしても強い思いで参加させて頂きました、ありがとうございます。

肉もたせて頂き、今世こそはと母と硬い約束、しかし再び肉に走り、己を現し、我一番、私は正しいと支配支配、「神」に「金」と狂いに狂って、戦いのエネルギーで全て抹殺してきました、一番、一番を目指して。

凄ましい闇、エネルギー、無尽蔵に抱えもち、握り、また、地獄の底へ転落していく自分です。一人の世界、目に見えています、今の私、少しでも少しでも浮き上がるよう、あの恐怖、苦しみから逃れたいと、必死にくらいつき、他力、他力で外ばかりに助けを、幸せを……。



本当にあまかった、怠慢でした、なんとかなると他人のごとのように責任のなすりあい、中からせかされます、もうないよないよ、時間が後が、ともにともに帰りたい帰ろう、もうあの世界はこりごり、間違いに間違つてきた自分で。中から突き上げてきます。もつともつとしつかりしなさい、あまいあまい。

凄ましいエネルギーです。体も崩壊、でもでも中からきます。おまえが培つてきた闇はこんなものではない、もつともつと知れ、自分が一番承知しているではないか。全て抹殺、全て破壊しつくしてきたではないか。闇の超本人、どれほどしてきたことか、血も涙もない冷酷無比、一刀のもとに惨殺、戦いに明け暮れた人生でした。寂しかった、苦しかった、人を人とも思えず、人を信じれませんでした。

まだまだ、底の底に鎮座しています、しつかりと握った塊が、なにくそ負けるものかと、肩肘はりがんばっています、遠くで遠くで聞こえます。愛、愛と光が、薄明かりがさしてきます。私も帰りたい帰つていきたい、温もり、優しさに包まれた幸せを。

あつたんですね、あつた、無尽蔵に私の中に、愛が、愛が、優しさ、温もり、喜びが……。ただただ思い、合わせていけば、外に求めなくとも内に内に出てくる出てくる。私は目指していきます、母との約束。足元見つめ、ひたすら真っ直ぐに、磁場を思い「反転」と。間違いに間違つてきた私は、ただただ申し訳ないばかりです。産んで頂き産まってきた意義忘れず、ありがとうで歩んでいきます。

私は疎かにも自分を軽く軽く見てきました。原点原点、初心です、愛を信じ、いつも五訓、日常の中で実践、実行、愛に目覚め、ありがとうで歩んでいきます。

嬉しかったです、私は幸せ者、間違いをしつかり確認、見てまいります。

愛に目覚めるということ

栗生啓子

お母さん、私はあなたにすべてを委ねていました。委ねられることがた
だただ嬉しかった。私は幸せでした。確かに確かにその私がありました。
私は一番大切なことを忘れてきました。ゼロ歳の自分を思い出して「ごらん、
私はそのやさしい思いを信じてお母さんを思います。信じて思うこと、そ
れが、私が田池留吉を信じていく思いです。お母さんを思う、自分に一番
大切なこと、愛に帰る私の第一歩です。

草書体の愛に触れて、見て、思うことを伝えていただき、お母さんなん
て信じない、お母さんの温もりなんて存在しないと、お母さんの温もりを
否定してきた間違を感じるようになつてきました。ああでも、私はあま
りに簡単に自分の思いを捉えていました。温もりを否定するということが
どれだけすごいことなのか、私は分かつていませんでした。温もりを否定
できるはずがなかった、それは大噴出をしていけばしていくほど感じられ
てきます。凄まじい自分のエネルギーが噴出してきて、それはもう言葉に
できないほどのブラツクです。

まつたくまつたく温もりのない世界、これがお母さんを捨てた私の世界
なんだ、どれだけ苦しんできたのか、どれだけ狂い真っ黒を流し続けてき
たのか。こんなに苦しい私が、「温もりなんていらない」と言えるはずがな
かつた。あまりに無知でした。自分に対するそんな冷たい、そんな冷酷な
思いはありませんでした。そんなことを当たり前のように叫び続けてきた
ことが、どれだけ間違いだったのか。自分のエネルギーに出会わなければ
わからぬことでした。でも、それは本当に温もりを知らなかつたから、
知らない私はその中で叫び狂うしかなかつた、その現実を感じています。

「人生の目的は愛に目覚めるということ。自分が愛だということに気付く
こと。そのために生まれてきたんです。」

今そう伝えていただいています。お母さんの温もりを感じられなければ、
真つ黒一色。その自分が行き着くのは大破壊と自分を粉々にしていく自滅

のエネルギーだけ。大噴出での自分を通して、そのことを知りました。愛に目覚めていく、その鍵は本当に本当に本当にお母さんの温もりしかない。温もりが信じられなければ何も始まつていかない。私は今、本当の人生の目的に出会えています。自分を救っていく、自分が愛だと目覚めていく、本当の喜びに出会つていく。私が今まで体験したことのない驚きと不思議と喜びです。

自分の中の温もりを信じて自分を抱きしめていく、ブラック一色だった自分の中にポツと温もりが灯るような感覚がする。嬉しいから、また自分のブラックを思いたくなる、出会うことが怖くなつてくる。反転できるかどうか、田池留吉をどれだけ信じているか、自分で検証しながら自分の信を確認しながら自分と向かい合つていく。愛を信じられなければ、愛がなければ、私は生まれてきた目的も死んでいくことも、次元移行していくことも、全部放棄していくことになる。愛を知らないことが、愛を信じられないことがどんな世界なのか、私はこれからも自分のエネルギーを通してしつかりと感じていきます。

今、お母さんの温もりを思い、そして田池留吉に、心を合わせていくこと、何よりもそのことが大切だと感じています。自分の中に愛を蘇らせていくこと、そのことに全力を注いでいきます。大噴出と共に反転と心から愛を信じ自分に伝えられる、お母さんに生んでいただいたのはそのためです。お母さんを捨て続けてきた暗黒の自分から、本当の自分に出会えることを楽しみに歩いていきます。自分の中の闇が次々に待つて、厳しいけれど嬉しいです。お母さんありがとう、田池留吉ありがとう、本当の自分あります。

その感謝の思いを喜びの思いを、私は自分に伝えていきます。



闇の出しつ放しでは何の意味もない

後藤糸恵

○第一回（2013・7・27～29）

己偉い自分を感じました。認めてほしい自分が強いと思いました。さびしい自分がその奥にあるのだと思います。

田池留吉に反応して叫んでみました。何もないよりマシだけど、まだただ叫んでいるだけで、それ以上何も分からないし、肉でやつてているのかという疑問があつたりします。やつと最近出し始めたばかりなので、とにかく実践を積み重ねてみようと思っています。

田池留吉に向けて、叫び喚いて、反転と思いを向けて、収まつてきて、涙が出てくる、泣けてくる、という体験が何回かありました。とにかく実践を積み重ねていこうと思いました。

親鸞、卑弥呼、アマテラス、二上山等に向ける勉強は、ただ同じように叫び喚くだけだったので、それ以上のことは分かりませんでした。千載一遇のチャンスをもつたいないことだと思います。

なので、終わりの余韻のときは、少しさびしい思いをしました。だけど自分自身の道なので、自分がやつていくしかないと思いました。

草書体の「愛」を使うときは、しっかりと「愛」を思う、「愛」に心を向けることと、「UTAの輪」の小冊子を毎日読むことを、次回のセミナーまで積み重ねていこうと思います。

三日間ただただ叫び続けたので、のどが痛くなるのかな、と思つてたけど、声が枯れて変わったけど痛くなりませんでした。

あの部屋が愛の部屋だったからだと思います。

今回のセミナーを終えて、振り返つてみて、一番心に感じたことは、「己

偉い、聳え立つてゐる自分」でした。そう気付いた、思い至つたとき、心が少しうれしくなりました。このように心で学ぶこと、心の気付きを大切にしていきたいと思います。

○第一回と第二回の間

体の調子が悪いとき「反転」と発してゐる自分の思いが、「クソッタレ、治れ、治れこのやろう、クソッタレー」という思いを出ししてゐることにやつと気付きました。

あと、日々使つてゐる自分の思いが、まるでヤクザのようだと思いました。肉では出さないけれど、こんなに周りにケンカを売つて生きてゐるのかと実感する状態でした。決して私はいい人などではありませんでした。



○第一回（2013・8・31～9・2）

闇の出しつ放しでは何の意味もない、反転して愛に返していかなくては、どうしようもないのだと、確認しました。

何度も実習させて頂きました。

何度も実習させて頂いたけれど、ちゃんとできたかどうか分かりません。そもそもまだ大噴出に至っていないというのが現状です。

質問を書いたので、前に出させて頂きました。

「自分を信じてこなかった」ということだつたと思います。これまでも何度も言われてきたことだけど、引き続き

『意識の世界のことに頭を回さない、自分の心で感じたことを信じていく』をテーマに学んでいこうと思います。

音声で何度も聞き直しました。田池先生の思いがとても温かいと感じました。先生は「私もできたから、できる」と言ってくれました。講話で聞いていた「それは先生だから」という思いが私にもあることに気が付きました。素直に聞いて「私にもできる」という思いで取り組んでいきます。

本当にまだまだ、何もしていらないに等しい自分だつたと思います。

何も分かっていない、何もできていないのだと思いました。

それでも、それだから、淡々と真剣にやつていくしかない、やつていうと思います。

こんな場を与えて頂いて、とてもありがたく、幸せだと思います。本当にありがとうございました。

○帰つてから

自宅での大噴出の瞑想で「反転」としたら、何か懐かしい思いになつて泣けてくる、少し申し訳ないという思いになつて、うれしくなる体験がありませんでした。

何十回に一回の体験だけど、大切にして、積み重ねていこうと思います。

おだやかな心に回帰していく旅を

小濱章夫

二回のセミナーに参加させていただきましたが、意識の世界に関してはいました。

私はこの勉強は二十四年近くやつてきましたが、意識の世界に関しては決して敏感な状態ではなかつたと思います。今現在も敏感ではないと思つてしています。しかし、形の世界での変化とか違いには敏感に推測することができます。出来ると思つていきました。とは言えいつも正解だつたわけではなく、勇み足のことよくありました。形の上の損得とか有利不利を見極めようとする思いは当たり前のように自然に使つていきました。予想通りにいつてもいかなくとも苦しみは軽減せず、何も考へないと変わらないと思いながらもいつもの通り予測する思いを出していました。

水道水を使ってのオー・リングテストと味の改善を検定する実験を行つてきました。他の方法はほとんど行いませんでした。セミナー資料などに書かれているように何もないで、まず水の香りをかいだ後に少し飲み、コップを持つたままオー・リングテストを行い、これを基準にします。次に自分の心の中の田池留吉の意識を思い水に「反転」と思いをかけます。その後に再度水の香りを試し味見をしてオー・リングテストを行い、最後に愛の文字のラミネートを見たり、コップをその上に乗せたりして、同じように香りおよび味見をしてオー・リングテストを行いました。

最初はあまり変わらないような気がして反転力がないのだと思つましたが、何度もやつているうちに徐々に香りが良くなり水の味もおいしく感じ、オー・リングテストでも力が入るようになりました。ただ、変わる時と全く変わらない時と日によつて変動がありました。

香りや味がよくなるとはどういうことだろうと考えました。思いにより物質の組成が変化するのか？自分自身の感じ方が変わるだけなのか？不思議な現象です。物質の組成が変わることは無いだろうから自分の感じ方が変わるだけなのだろうかとも思いました。オー・リングテストも自分の感

じ方が変わつて力が入るようになるのだろうと当初は思いました。

しかしそれだけだろうか？このような水の現象は三次元の立場では説明できないのではないか。三次元を超えた異次元の視点でないと説明できないと思いました。

この水のことだけでなく三次元の諸問題は三次元の理由では本当の説明が出来ない、異次元の視点からでないと説明することが出来ないと思いました。

私の苦しみも三次元の世界の今までの方法では解決できない。しかし、田池先生の言われる異次元からの視点で、初めてこの三次元の苦しみや矛盾が説明でき、したがつて解決できるかもしれませんと思いました。異次元からの視点というのが意識の転回だと思います。

論理的にきれいに説明することは出来ませんが、異次元の視点でこの三次元の世界を見ると、何億年経つても同じところを堂々巡りしているだけではないのか。無限のメビウスの輪を来る日も来る日も回つてはいるだけでもちつとも進歩していないのでないのか。異次元からの視点がないと、ここから出ることは出来ない。意識の転回がそのきつかけであり三〇〇年後にこの輪から飛び出ることに繋がると思います。

意識の転回を行うには、田池先生の示された世界に心が向いていれば何も問題はなかつたのです。しかし、三次元の世界の常識にすっぽりとはまつてしまつていた心には、田池先生の示される世界は容易には実行できない世界でした。それでもきつかけは全ての人に公平に与えられていたのです。それが母親の思いでした。特別なことをしなくて良かったのです。ただ、裸で生まれた赤ん坊の時の心に戻れば良かっただけだったのです。それを難しく考えて、どこか簡単には手に入らないところに真実があると無理をして探してきました。

三次元ではない異次元の田池留吉の意識を思うようにします。母の優しい思いが自分の中にあるんだと思います。そのやさしい思いで自らの悩み苦しんだ闇の思いに「反転」としていきます。すぐには変わらないかもしれません。変わつたとしても次から次から闇の思いが湧くようになります。したがつて極端に言えば他人の心は本当はどうでもよかつたというか、かか



わっている暇はなかつたのです。ただ自分の心だけでした。他人を見ている自分の心だけでした。これが本当のすべき道だつたと思います。

本当の反転力は水の味をも変える力があります。この不思議な力を他人の心や現象に使うのではなく、三次元の世界の中で触発されて出てくる自らの心の闇に呼びかけていく、自分の心を変革していくことが、本来の生きる道だつたと確認することが出来ました。

反転を繰り返して、本来の心である「愛の心」——意識は一つ、広い広い、やさしい、おだやかな心に回帰していく旅を続けていくことが人生だつたと教えていただきました。ありがとうございました。

ようやく巡り会えたこの道を、なるべく道草を食わないで、今までの速度より少しは上がるよう、気をつけてストレートに進んでいきたいと思います。

二〇一三年の猛暑の中で行われた二回のセミナーをきつかけにして、更に三〇〇年後を現実のものと出来るよう、油断、慢心を排して心していきたいと思います。

今回、貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

心に感じ始めているエネルギーを、もつと素直に出していくください。あなたもやはり頭を回し過ぎています。どうぞ、その頭の回転を止めて、あなたの心で響いてきたエネルギーをその肉体を通して、もつともつと素直に素直にしていくください。そうすれば、あなたの心の中に、広がりが出てきます。その広がりをもつともつと信じていくような方向に、あなたの歩みは進んでいくと思います。



こんなにお母さんを、
優しく思えたことはありませんでした

小林英子
こばやしひでこ

「愛・あなたは愛です」セミナーありがとうございました。

田池留吉を思い瞑想「私は愛、あなたも愛、一つ」。大噴出と總崩壊、自分の中から、もの凄いエネルギー、心の中から叫んでいる自分がいました。これほど凄い思いを出していた。間違っていました。

己偉かつた。お母さんの温もり、優しさに歯向かつてきました。狂つていたのは、田池留吉に歯向かつたから狂つた。狂いました。間違っていました。偽者の自分を守るため、幸せのため、苦しいのは自分の努力が足らないから、苦しくて、苦しくて苦しむことが自分の人生なんだと、本当にそう

思つて いました。苦しいから、外に求めたのは私です。人を責め、自分で誤魔化してきました。人を責めることが出来ない現象を自分で作りました。自分を責め裁ぐエネルギーのパレード。本当に苦しかった、自分を責める、それも半端でない……。人に聞き、他力の心で寄つていきました。どこまで続くのか……このままでは、あかん、心の中から「向けている先が違う」と、心の中から、「どちらやどちらにするな時間がない」と促されました。

お母さん、お母さん、ごめんなさい。ごめんなさい。本当に冷たかったです。愛を捨てました。忘れ去つた。蔑ろにしてきました。申し訳ありませんでした。そう思つたとたん、もの凄い責任を伴つて いる。自己選択、自己責任と甘くないことを感じました。

なぜ、生まれてきたのか本当に知りたいと思いました。母の温もりに帰りたい、母の温もりに帰りたい、母の温もりを求めていました。心の底から苦しい、寂しいと訴えているのに、うるさい。うるさい。と自分を払いのけていました。反転。

愛に帰りたかった。故郷に帰りたかったんです。

お母さん、お母さん、素直にお母さんと呼ぶとき、こんなにお母さんを、優しく思つたことは、ありませんでした。忘れ去つていきました。お母さんの温もりがあれば癒される。心が緩む。お母さん、お母さんと素直に呼べる、それだけで良かつた。お母さん、お母さん、お母さん、お母さん、お母さんごめんなさい。

素直に思つたことを、忘れ去つた自分（闇）は、いつも、疑問と不安の中で自分を誤魔化していくことを、選択してきました、より深く罪を作つて真つ黒のエネルギーを撒き散らかし深い闇に沈んでいくことを知りました。繰り返しては駄目です。断崖絶壁の先に立ち、そそり立つ自分に気付く、ああ、本当に間違つていました。自分で自分を癒していく。ふと心を中心に向ける、本当の自分は、じつと自分を見て くれている。あなたが、あなたに気付いて いることを、本当に待つています。

間違つてきました。間違つた、何度も気付いても、自分を変えることなく來たことを何度も後悔し続けました。

お母さん、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。お母さんの温もり、田

池留吉の磁場と「反転、草書体の愛、ありがとうございます。自分にあります」とう、自分と向き合っていきます。

他力の思いを抱えています。反転力もよわいです。一つ一つ丁寧に自分と向き合っていきます。田池留吉を思い、「反転。ありがとうございます。」

田池留吉を思つ

瞑想、反転。

「苦しい」、「反転」、田池留吉を思う。ありがとうございます。

苦しい、苦しみ、悔しい、憎む、恨む、「反転」。

己を崩す、己を崩す。その時の叫び声、崩したくない、闇が出る、愛に向けて喜び。反転。「己、それほど偉かつたんですね。己の崩壊、肉の崩壊。己、偽者の自分が作つてきました。

本当に、小さい、小さい世界でした。ありがとうございます。

己が崩れることを、肉は苦しみと叫びました。自分を認めろ！と叫びました。反転。

田池留吉の世界……喜びです。ありがとうございました。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、アマテラス、アマテラス、私はアマテラスを神として祀まつつてきました。アマテラスは神です。私の中の神です。アマテラスは素晴らしい。アマテラスは素晴らしい。私はその思いをこの学びの中で、もつともつと見つめていきたかった。アマテラスに心を向けてきた私の寂しさを見つめたかった。だから私はこの学びに集いました。

田池先生から

えつとー小林英子さん、わかりますなアマテラス。そうですね。しつかりやらなアカンですよ。アマテラスは小さい。あまりにも小さい。それ大きくなっていたらダメですね。いいですか。

愛のカードを使っての瞑想

佐保千鶴

足踏み、中弛み状態の自分を何とかしたいという思いから苦手な母の反省を再度始めていたところに、愛のカードをいただきました。もうこれは自分に対して実験・実践するしかないと母の反省と平行して、愛のカードを使っての瞑想を毎日するようにしました。とにかく継続して行うことを心がけました。愛のカードを使うと不思議と心が向きやすくなるのか、私の心にも温かい思い、嬉しい思いを感じることが多くなってきました。

そして、何よりも母に対する思い、恨み、憎しみ、見下げる、足蹴あしげにしきた真っ黒な私の心にも変化が出てきました。

「私は自分で自分の心を小さくしていました。今、ゆつたりとした中に自分を感じます。お母さんの温もりを感じます。柔らかな温かい思いです。とてもとてもゆつたりとしています。何もない何もいらない。幸せなときを感じています。母への思いがどんどん変化していきます。あれほど嫌っていた母への思いも温もりと共にありがとう、ありがとう、嬉しい、嬉しいに変わっていきます。とても幸せです。本当に幸せです。私の心にも愛があります。私の心にも愛がありました。お母さん、ありがとう。お母さん、ありがとう」という幸せな思いを感じました。自分が厚い壁を作っているんだなと思いました。私が作り上げた世界でした。お母さんはただただ優しく受け入れてくれていると思いました。初めて母に対してこんな温かい思いになれたことが嬉しかったです。

更に、「どれほどあなたを見下げ、足蹴にしてきたことか、愚かな愚かな私でした。私は間違つてきました。あなたの温もりが私の心にもありました。私の心にも優しさがありました。嬉しいです。お母さんありがとう。私の心がどんどん広がつていきます。母が私に愛を伝えてくれてきました。私が遮つてしていました。拒否していました。母の存在を侮っていました。己が己が偉かつ



たです。どれだけ愛されていたかわかつていませんでした。愛の中に幸せの中にいました。初めから幸せでした。ありがとう、ありがとう、お母さん」まだまだ母の温もりは小さな温もりです。しかし、愛のカードを使っての瞑想は私の心にも温もり、幸せ、そして「ありがとうございます」を教えてくれるものでした。自分の心で感じた波動は確実に私の心に残っています。だからこれからも自分で一つ一つ積み重ねていけばいいんだなという思いにされたことは自分への自信としてとても嬉しい体験になりました。

そして今回「愛 あなたは愛です」のセミナーに参加させていただきました。

二泊三日の二回のセミナーは、本当に中身の濃いセミナーでした。たくさんの大噴出・総崩壊の実践、何度も出てくる凄まじいエネルギー、そして反転のエネルギーを確認させてもらいました。しかし、まだまだ上辺だけで、未だに神を放せず、己一番をやっている私、自分が自分に答えられない悔し

さやもどかしさを感じ、母の温もりがいかに大切かがよく分かりました。

その中の田池先生の厳しい温かい講和は、大変ありがとうございました。

それでもセミナーが終わってみればとても嬉しく、本当に自分が自分を救っていくだけ、しっかりと一歩一歩進んで行こう。もう自分で実践して自分で答えを出していくだけだと思いました。

最後に

嬉しい嬉しいセミナーでした。あのようなセミナーを開いてくださったことを感謝いたします。本当にありがとうございました。

お母さんありがとうございます、私は今、このように肉体をいただき学べることが幸せです。自分の心を見れることが幸せです。本当に長い長い間、暗い暗い中にいた私を生んでくださりありがとうございました。

私はこの道をしつかり自分で歩んで行きたいと思います。まだまだ道遠しの私ですが、必ずあなたのもとへ帰りたいと思います。

やはり学びは $1+1=2$ なんだな

清水貞博

最初は、愛のカードを飲み物のコースターとして使つたり、お風呂に入れたりして、その効果を肉の自分で体験させていただきました。水が美味しくなつたり、風呂上りに身体がポカポカしたりと。

しかし、このカードが威力を發揮するのは瞑想をする時でした。自分は今まで鈍感な肉でした。瞑想してもただ時間だけが過ぎ去つっていくことがほとんどでした。しかしこのカードを目の前に置いて見ていると、本当に噴き出してくるんです。今まで溜まりに溜まつた、溜めてきた「くそつ」



や「死ね」が、それも瞬時に噴き出してくるんです。ただの「字」のカード相手に死ね死ねと……。

このカードは田池留吉の目と同じだと思いました。残り少ない勉強の時間で、このカードがあつて本当に良かったです。家にいながらセミナー会場にいるような感覚で勉強させて頂いてます。

またある時、反省と瞑想をし、その夜ベッドに入つてから、なんかモヤモヤして寝付けませんでした。その時、草書体の愛を思つてみました。「自分の正当性を訴える瞑想と反省をしてませんか? どんなに正当性を訴えても、苦しんで寂しがつてるのがあなたですよ。」

と伝えてくれました。それからすつきりして良く寝れました。間違つた瞑想と反省をしていたことを教えてくれました。このカードは本当に田池留吉と繋がっているんだ。自分の向け先の矢印のよう、道しるべのような、自宅学習するうえで欠かせないカードとして使わせて頂いてます。

ありがとうございます。

そして、ようやく自分のエネルギーを噴き出すことが出来るようになり、第一回目の樋原のセミナーを迎えるました。そこで自分は思う存分に自分のエネルギーを出させて頂きました。とても充実したセミナーでした。しかしこの時の自分はまだ、大切なことを疎か^{おろそ}にしていることに気付いていませんでした。

それから一か月後、第二回目の樋原セミナーを迎えるました。

草書体の愛の文字や大崩壊の勉強を通して自分のエネルギーを感じ始めて、その大噴出している自分に充実感を感じてましたが、何か壁にぶち当たつたような感覚になりました。大噴出の勉強にて、パワーを求めてきた心やブラックのエネルギーを感じてることで、なんか勉強している気になつっていましたが、その先がなかつたのです。どんなに大噴出をしても自分のブラックのエネルギーを温もりで包み込むこと、反転することが出来ませんでした。母親の温もりを感じる事が出来ていませんでした。心の向け先が間違つていると二回目のセミナーで自分から伝わってきました。そしてセミナーが終わつてから何とも言えない寂しさが襲つてきました。

セミナーから帰宅後すぐに、学びのポイントを読んでから母親の反省を

してみました。母親に対する思いを書きなぐつてみました。

「救つてください、守つてください、我を守れ、祈つて祈つてパワーを求めてきました。私は恐怖、恐怖、寂しい、救つてください。私の思い通りになれ、私の思い通りにしろ、我に従え」

私は全てを支配したかった。この思いでお母さん、田池留吉に接してきました。心の向け先が全く間違つていました。寂しいから祈つて祈つて祈りまくつてきました、そしてパワーを求めました。大崩壊に夢中になり肝心な心の向け先がおろそか、間違つていたことを二回目のセミナーで学ばせて頂きました。次回までの自分の課題が見えて、とても良かつたです。もう一度心の向け先の部分と原点・母親の温もりをしつかりと確認しながら勉強していきたいと思いました。

やはり学びは $1+1=2$ なんだな。お母さんの反省と水道水の反転の勉強をしつかりとして行きます。ありがとうございます。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

前にもあなたに申しました。あなたはエネルギー、そうパワーを求めてきました。そのパワーを求めてきた心をもつともつと深く掘り下げて行ってください。すごいエネルギーですよ。あなたはまだまだ自分の求めてきたパワーのすごさに気づいておりません。どうぞお母さんの反省を進め、母の温もりの中でそのパワーを包んでいくてください。パワーはあなたにとって大きな大きな励みになります。力になります。しかしそれは同時にあなたを狂わせていくものです。それほど凄まじいエネルギーを心にためこんできました。

私はどうしても今世、生まれたかつた

新庄美紀

最初にお水の反転から始まって、磁場と反転のエネルギーに驚きました。半信半疑でしたが、猫舌で口の中を度々、やけどしていた私が、熱いものを飲むたびに反転していると、いつしかやけどもしなくなつて驚きました。

二十代のころ、ホルモンバランスの異常から生理が半年以上とまり、長い間、ホルモン治療の薬を服用し続けてきました。友達から薬は良くないと聞き、薬をやめてからも、ずっと不順が続いていました。

肉体細胞を思う、というテーマで愛のカードに触れ、自分の子宮を思つてみました。すると、どこまでも攻撃する思い、切り離す思いがでてきて、苦しくなりました。

それでも、肉体細胞は優しい思いで受け入れてくれていたんです。気づきを促してくれていきました。それから順調に生理がくるようになつて、愛のカードにも驚きました。

私は信仰深い家に生まれ、家の中に神様の部屋と呼ばれる部屋があり、そこで小さなころから神に手を合わせ続けてきました。それが当たり前でした。神の存在を信じ続けてきました。この学びに出逢うまでは、様々な他力をしてきました。今世も修行に明け暮れた時期がありました。

そしてこの学びに出逢い、熱心に学んできました。この四年間、心を見る、ということをおざなりにしてきました。表面上の思いしか見てこなかつた。

心を掘り下げて自分の間違いに気づいていくという学びをしてこなかつた。だから自分がどれほどの他力の延長でこの学びをしているかさえも気づきませんでした。

欲いっぱいの思い、田池留吉にパワーを求めてきた思いを、掘り下げて見てこなかつた。動機の修正なくして、どんなに何を感じても学びの本筋づきませんでした。



には触ることはない。そのとおりでした。

だからその思いがすべて自分に返つて来たとき、私は反転できずに落ちていきました。

自分を信じることをしてこなかつた。自分を信じられなかつた。それが私の作り上げてきた他力の世界でした。

今回のセミナーで、自分の作つてきた他力の思い、肉の思い、それがどんなに苦しいエネルギーだつたのか、どれほど雁字搦めになつてゐる自分が、心に伝わつてきました。本当に苦しかつたです。

そのエネルギーに振り回されて、己を表し、生きてきました。自分が素晴らしいとしてきたもの、心にいれてくれたもの、私は正しいという思いのすべてが間違つていました。

肉を握り締めてきたけれど、肉はからつぱでした。

小さな世界で生きてきた、他力は苦しみでしかなかつた、それに気づいたとき、ほつとしたような嬉しいような思いで涙がとまりませんでした。

愛のカードで瞑想をしたとき、お母さんに私を生んでください、私を生

んでくださいと、ただお母さんにお願いしていける自分と出会いました。

私はどうしても今世、生まれたかつた。

田池留吉に出会いたかつた。

そんな思いと出会わせてもらいました。

ただ生まれたかつた、生んでもらうだけによかつた、そんな思いが心から溢れできました。

愚かな肉でした。

田池留吉に出会つてからも、心を見ることなく欲のエネルギーで狂つてきました私でした。

心を見ることだけでした。

自分を知るだけでした。自分の間違いに気づいていく学びでした。

本当にもつたない学びの時間を過ごしてきました。

愛のカードに思いを向けたとき、何にもない世界、ゼロ歳の時の私の世

界があります。こんなに愚かな私でも、帰りましょう、待っていますよ、という優しい思いが伝わってきます。

お母さん、ごめんなさい。肉を本物とする思いがどれほど自分に冷たい思いだつたか、痛感しています。私は私を押し込めてきた。私は私を見捨ててきました。

お母さんの温もりを思いだせるように学んでいきます。

自分の凄まじいエネルギーをもつともつと感じています。

私には何もありませんでした。

「愛」だけがありました。

すべて愛の中にありました。

自分が肉をもてたこと、田池留吉の学びに出逢えたことがもうすでに愛だつた。

自分を信じていきます。心から田池留吉の磁場を思える私に、反転と発信できる私になつていきます。

そして私は愛ですと、心から思える自分に。苦しみで凝り固まつた自身をお母さんの温もりで包み込める、愛を発信できる自分に変わっています。

一から学んでまいります。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、私もパワーを求めてきた、その心はとても強いです。田池くそつたれの思いを、心に感じている、けれども、それどころではありません。もつともつとすごいエネルギーを出してきました。田池くそつたれと、私は田池を、ああ、心の中に……、ああ、まだまだ心の見方が甘いと思います。もつともつと自分のエネルギーを感じてまいります。



本当に、ありがとうございますね

定免裕子

今回の「愛セミナー」本当にありがとうございました。

自分の中の強くて大きなブラックのエネルギーを知ることができました。
「己」が偉すぎる自分とは、このことだつたんだ！」

人にも自分にも、厳しくて冷たいエネルギー。

到底、愛なんか流れない。筋の通った話・もつともな話をするが、そこから流れるエネルギーは己一番の冷たくて厳しいエネルギー。

自分を変えたかった。自分に対しても、人に対しても、冷たくてキツイ波動しか流せない自分を、なんとしても変えたかった。この思い 자체が、すでに己が偉いことにも気付かせませんでした。

心の向け先を変える……。それが中々出来ませんでした。

でも今回、中の田池留吉に心を向けて、自分の中の真っ黒なエネルギーをドンドン出して、出して、出して、その闇のエネルギーを包み込むような思いで「反転！」

そして「私は愛、あなたも愛、一つ」この思いを、何度も何度も繰り返していくうちに、中がドンドン広がつていって、「間違ってきた。間違つて

きました」の思いと共にドンドン嬉しくなつて、愛のエネルギーが湧いてくるのが感じられました。

そして本当に「反転」は愛のエネルギーだということが実感できました。

お水の味を変えたり、モノのマイナス部分をプラスに変えたり、体の不具合を治したり……。「どうしてか？」よく田池先生がおっしゃつていましたが、「反転」や「愛のカード」のエネルギーからすれば、もつともなことだつたんだと、実感しました。

モノも肉体細胞も素直だから、愛がそのまま伝わるんだ！ 愛そのものだから「反転」や「愛のカード」のエネルギーを正しく受け取ることができるんだ！ 人間の心だけがそれに逆らつて、逆らつて……。

本当に馬鹿です！ 大馬鹿者です！ ごめんなさい。

ゼロ歳とお母さんの瞑想をすると、お母さんのお腹に居る自分を感じます。愛がドンドン形を作つていく。

お母さんのお腹の中で、私の形が出来上がつていく。

あー 私の肉体細胞は、本当に愛のかたまりだつたんだ。

あー 本当は肉でもいつも愛に満たされていたんだ。

嬉しい 嬉しい 自分を感じます。見える自分も本当は愛だつたんだ。本当の自分（愛）に帰つていくために、心を見るために用意した大切な形……。

「大切に使つてね」というお母さんの思いが伝わってきます。

お母さん 私の願いを聞いてくれてありがとう ありがとう お母さん。母さんと父さんが一度に死んだあの日から、私のモノの見方、考え方、生き方は大きく変わりました。

「本当の幸せってなんだろう？」

識別できない状態になつて戻つてきた二人を見て、

「どうしてこんな最後なんだろう」「私に何を伝えたいんだろう」「何が正しくて、何が間違つているんだろう」

毎日自問しても、答えは見つかりませんでした。

苦しくて、苦しくて地獄でした。約一年半苦しました。

そして「意識の流れ」の本と再会しました（出会いは二年前ですが、本棚に入れたままでした）。そこには本当のことが書いてありました。

ずっと探し求めていた答えが書いてありました（どうしてもつと前に読まなかつたのか……）。その本に意識を向けると本当に温かかつたんです。

そして学びに集い、形を追い求める生き方や、自分を認めさせる思いが間違いだつたこと、母さんや、そのほかの人を見下す思いが間違いだつたことを教えて頂きました。

でも ものすごいエネルギーを抱えて、間違つた心癖のままに生きてきた肉の時間があまりにも長すぎて……。

それでも私はお母さんに頂いたこの肉を使って、その心癖を転回していきます。

そして今世、一歩でも本当の自分に戻つて行く生き方をするために、心を見てまいります。

「私は愛、あなたも愛、私たちは一つ」このことが心でわかる自分に蘇るために、自分から逃げずに自分と真向かいになる生き方を選んでまいります。私の中にあるブラックのエネルギーと共に愛に帰ります。

自分の中の愛がこの学びに集わせてくれたことを感じています。
今世肉を頂けたこと、本当にありがとうございます。

今度は田池留吉に心を向けて瞑想をしました。

中から物凄いエネルギーが出てきます。喜びとブラックが混ざつたような凄まじいエネルギーが突き上がつてきます。

思わず「うおーっ！」と叫びます。異語も出てきます。

でも田池留吉から流れる愛の波動は全てを許し包み込んでいく、暖かい温もりのエネルギーです。

これです！ 私が求めて 求めてきたものは、この温かい波動・エネルギーでした。

母さん このエネルギーと出会いたくて、今世私は母さんに生んで頂いた。

たんですね。

中から出てくる「ありがとう」に心を向けてみました。

本当にありがとうございます。何も必要としない。本当に嬉しい。

ありがとうございますが伝わってくるんです。

これからが本当の正念場！何時も何時も田池留吉に心を向けて、愛の「反転」そして淡々と瞑想を続け、心を見て、必ず愛に帰ります。

田池留吉、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

この力を示したい。もつともつと自分の力を示したい私はこの心で生きてきました。苦しい苦しい苦しい、私は力があるんです。でも私の發揮する場は、まだまだ小さい、小さい、そんな心を持っています。私は己を見つけるためにこの肉体をいただいた。この肉体をいただいて、この私を表したい、そんな心が見えてきました。

今回のセミナーの成果でした。

田池先生から

どうですか、定免さん。その通りでしょ。私はずつとそう見てきたんですよ。一生懸命やつてますよ、宝樹さんでね。そりや、もうしゃべることは筋が通つてます。筋が通つてるとか、通つてないとか、そんなこと、どうでも良いんですよ。本当は……。その人の思いが、どんな思いで私に語りかけるか、皆さんに語るか。と言つて、今の仕事とか、おしゃべりが間違いと言つてるんではないですよ。中の自分の思いを変えていくんです。それには「愛」を思つて仕事の話とか、いろいろ説明していくんですね。そこだけの問題ですよ。

「愛」を思う、「田池留吉」を思つてしまふか、別のほうに思いを向けてしゃべるかの違いです。勉強はそこですよ。だから、そういうふうにやつて下さいね。



田池先生のお話から

やさしい思いで抱きしめてあげましょう！

皆さん集まつたようですから、ボツボツ初めていきたいと思います。途中休憩時間を入れていきますから、思いつきりやつてください。

テーマはですね、やつてる最中に「私は意識だ」ということをフツと思ってください。こうやつているでしょ。やつている時に「私は意識だ」ということを思つてください。そしたら、またしている中で何か気づきますから。もちろん自分の闇も出ますよ。どんどん出ますね。それはもちろん、その通りですが「私は意識だ」と思つてください。一回でいいから。二回でもいいですけど、一回は必ず「私は意識だ」と言いながら「ウワ～ツ」とやつてください。

そしてね、ある程度やつたら、ある程度ですよ、ある程度やつたら「反転」とやつてください。まあ、三分か二分でもよろしい、もうちょっとでも結構ですよ、「ウワ～ツ」とやつて、途中で「反転」とやつてください。その時に「反転」というのはプラスのエネルギーですから、プラスのエネルギーで「反転」という言葉を出すわけです。言葉でもいいですし、思いでもよろしいよ。出します。これが大事ですよ。

ところが自分はこうなつた時に「もうやめよう、終わり」ということじゃないの。「終わり」と指令するんじゃなくて、ただ「反転」という時にやさしい思い、やさしい思いでね。わかりますか、やさしい思いとか、お母さんの温もりという思いで「反転」とやる。あるいは包み込む。それを抱き寄せる。駄々こねたり悪いヤツをね、悪い息子が帰ってきた。それを「お帰り」と抱いてやる。お帰りという意味ね。わかりますね。みな闇です。闇をこう「お帰り、やつと出てきたね。お帰り」と抱きしめてあげるような気持ちで「反転」とやつてください。

そうすると、どういう風になるか、これもだんだん練習していくと、だんだんとうまくなつて「反転」……。そうすると、今度自分が、例えば体が痛い時、痛いということはマイナスの現象に見えるわけですね。マイナスの現象に見える時、それを「反転」とやる。肉体細胞に対し「ありがとう、ごめん、ありがとう」と言いながら、その痛いとか、なんとかいうのを、それを抱きしめてやる。そうすると治ります。

それは今日はしなくていいですけどね、自分で痛いと思つたらやつてください。「ちよつとお腹痛いなあ」と思つたら「何食うたかな」とか、「あれが悪かったかな」そう思つ前に肉体細胞に「ありがとう、ごめん、ありがとう」と言つて抱きしめてあげるようにな「反転」。そうしたら治りますよ。

なんでもかんでもとは、いかんでしょうけども、できるだけそなつていきますよ。これは家でも何処でもできますから。そういうふうにやつていく。その前にここで「反転」を覚えて抱きしめる。お母さんの温もりで抱きしめる。「よう帰ってきたな、ありがとう」、こういう感じでしていくから、なんかフウ～ツと喜びが湧いてくる。嬉しくなつてくる。ちようどヤクザの息子が帰つてくる。そしたら「お帰り」と言うたら、なんか知

らんけど息子もコロッと変わり、自分もコロッと変わつて嬉しくなつてくれる。ああいう感じですわ。

それは、自分でだんだんやつていくことによつて上手になつていきます。上手になつてくるとね、もう「反転」言わんでもね、その「ガーッ」となつて苦しい意識に向けてやると、もうコロッと変わります。

私は「反転」と言わない。向けるだけでいいんですよ。「お帰り」、これでもいいし、もう「お帰り」も言つてないけどね。

ただ皆さんにはね、肉体細胞に「ありがとう、ごめん、ありがとう」、これだけは言つてください。皆さん、肉体細胞を粗末にしている。感謝の思ひがない。「自分の思ひよう」に動け、これはもうマイナスですよ。「痛みをとれ、いつまで俺を苦しめるんだ」というのは大きな間違いですよ。それはマイナスですからね、痛みはとれませんよ。もつと酷くなりますよ。

肉体細胞ということさえも知らない人がある。肉体細胞も愛ですよ。肉体細胞は愛のエネルギーを放出してるんですよ。ただ皆さんがマイナスのエネルギーを、どんどんどんどん出すから病んできたんです。それで病気になつた。それが病気つてやつ。だから反対にこうしてつたら病気が治るわけです。（中略）

それでは行きますよ。わかつたね、反転の勉強ですよ。自分で反転して止まるんですよ。止めようと思つてするんではないですよ。包み込む。

それでは第一組から行きましょう。はい一組、どうぞ……。

私自身が意識の流れでした

杉村和子

肉を本物とし、間違った生き方をしてきた、逆様^{さかさま}に生きてきた、すべてが間違い、間違つて存在してきた、どんなに言おうとも私は間違つてきた。これが今私の心境です。私は、なぜ苦しみの転生を繰り返してきたのか、なぜ寂しさの極みを感じるのか、それを心に問い合わせ続けてきました。そして、母を心から捨て去つた自分であると、心ではつきりと知りました。誰のせいでもない、みんな自分の心がすべての原因だった、苦しみも悲しみも寂しさも、みんなみんな同じことを私に伝えてくれていた、それを自分に知らしめるための肉でした。そのための現象の数々だった、お母さんはそれを何度も何度も伝えてくれていた、ああ、今世初めて知つた真実でした。まさに無知と欲とエゴに満ちた心の世界を広げてきた私でした。



二回のセミナーに参加させていただいて、どれほど私の学びの姿勢が甘かつたか、意識の世界を見くびってきたかを思い知りました。毎回が真剣勝負、田池留吉の意識が、その肉を通して、どれだけ真剣に伝えてくれていたか、厳しい中に真実を込めて、「私は愛、あなたも愛、ひとつ」ということを誠心誠意、心を尽くして伝えてくれていたと、ただただ感謝と懺悔と、信じてくれる信の深さを感じながら、愚かな自分を見ておりました。愛のエネルギー、愛のパワーの前には、己を偽ることが出来ないこと、間違いがはつきりと心に示され、喜んで自ら崩れゆくことをさまざまと感じました。

卑弥呼、親鸞の反省を通して、神仏をあるものと信じ伝えることの罪の深さを知り、肉持つて自分が何をしてきたかを、過去の自分と真向かいになることで、今まで心にくすぐつっていた思いが一気に晴れる思いでした。

どんなに狂いに狂つた意識でも、真っ暗な地獄の底の底に堕ちた意識でも、暗黒の宇宙でも、「あなたは愛です、温もりです、喜びです、優しさに満たされたあなたがあるのですよ」と、田池留吉は心から伝えてくれていた。遥か過去より、私が忘れて久しい宇宙時代から、今の今まで、そして未来永劫、私はあなたですと、ああ、その思いに触れれば触れるほど、どれほど「偉い自分であつたろうと、ただただありがとうございます」といいますしかありません。

愛の中に生かされる自分であるからこそ、闇の大噴出が出来る。みんな温もりの中に戻りたい、お母さんと呼びたいのだと、素直になれなかつた自分を詫びながら、一度とないチャンスをいただいたことを心から喜んでいる。本当に、一度とないチャンス、真実に出会うことだけを心に願い、お母さんに肉をいただいたことを無にしてはならない、そう自分と何度も語つたことでしょう。

温もりを目指して飛び出す闇、真っ黒な宇宙、寂しさの中を漂ってきた藻くず、みんな帰ろうと、愛に帰ろう、母なる宇宙に帰ろうと誘われた喜びを現してくる。ひっくり返つて、のたうつて、叫び、泣き、詫びて、そして喜びに帰つていく。思い切り、心を出せたことの喜びを伝えてくる。肉はくたくた、けれど心は湧きたつて、ああ、ともに帰ろうの掛け声が心に響き渡る。

私は生きて死んでも一人の世界に生きている。けれど、一人ではない、一人の自分とは愛の自分、田池留吉・アルバート……心を向ける安らかさ

をどんなに喜んでいいのでしょうか。他力の世界しか知らなかつた私が、母の温もりに包まれる幸せを感じ、自分を冒流し続けた愚かさを詫びて詫びて詫びています。心の向け先を定めるという反省の中で、心の幸せ喜びはこれだと、これしかない、これしかなかつた、私の真実はこれだと、今、心より叫んでいます。

これから自分が辿る道を心に定める喜び、委ねる喜び、ともにともに感じる喜び、味わつた辛酸はすべて肥やし、喜びへのステップ、よかつたねと伝わる思い、ああ、私はすべての私とともに帰ります、たくさんの意識達とともに、宇宙達とともに帰ります。お母さんが私を受け入れてくれたように、私は私を受け入れてまいります。田池留吉・アルバートに心を向けようと伝えてまいります。ともに心を向けてまいります。

私は自分の人生を生きている、私自身が意識の流れでした、私は母なる宇宙に帰る宇宙ですという思いが心の底から吹き上がる。愛に目覚め、愛を流すエネルギー、私は愛ですと、ただその思いのみが広がっていきます。本当に、本当に、このような機会をいただき、ありがとうございました。

兵どもが夢の跡……ふと、この句が浮かびます。己を誇り、奢り続けた意識が、自分が生かされてきた軌跡を振り返り、万感の思いでむせび泣いている。悲しいのではないのです、空しいのではないのです、ただただ喜び、喜び、嬉しくて申し訳なくて、ああ、お母さん、お母さん、ありがとうございます、田池留吉、ありがとうございます、そして肉持たせた自分自身にありがとうございます、ああ嬉しいです、ありがとうございます。

田池留吉を思い　ある教祖に心を向けた体験と 息子と出た現象の中での体験

鈴木和子

肉の基盤から一步も踏み出していないことを、他力の教祖に向ける実践の中で、自分を動かしているエネルギーを何度も何度も心で感じ、確認できたセミナーでした。自分の意識の現実、実態を知ることから一步を踏み出していく。今、嬉しい思いで自分を見つめています。ありがとうございました。

田池留吉を思い、他力の教祖に心を向ける
裏切り者、裏切り者、裏切り者、死ね——。

私の中から飛び出してくる叫びです。私の中に固まっていたかたまりの実態です。このかたまりが私自身です。過去世の意識達が叫び狂っています。このエネルギーを、たくさんたくさん抱えて私は産まれてきました。そんなエネルギーを抱えた今まで、抱えていることを知らずに幸せになりました。みんな仲良くと、肉の調和を望んでも真反対の方向に突き進むことしか出来ないことを知りました。そんな私の心の中の実態は「裏切り者——ぶつ殺してやる」。復讐と殺戮さつりくのエネルギーの転生を繰り返し、今世もこのエネルギーに突き動かされ、更にエネルギーの上乗せを続けて、全てを自分の幸せのためにと生きてきたことを知りました。

肉の私は仲良くしたいと望みながら、意識はまったく真反対のエネルギーでした。だから、始めは仲良く出来ても、必ず、裏切られたと最後は叫びます。利用されて捨てられたと最後は叫びます。そのたびに私は正しい、私は間違つていらない。お前達が間違っている。心の中で一瞬にして切り捨てるなどを続けてきました。肉は謙虚に裝えても、心の中は処刑の世界、殺戮の世界でした。何度も繰り返しても同じ結果でしかなかった。私はエネルギーと信じられなかつたからでした。今回のセミナーで、自分の中のエネルギーを、しっかりと心で感じ確認しました。私の心の実態は「目には目を、歯には歯を」の世界に繋がっています。凄まじいエネルギーの中に固まっていた自分自身を

大噴出の中で体験できたことは本当に幸せです。このまま死んでいけば私の死後の世界は復讐の世界です。私の心が私に教えてくれました。心は私自身でした。握っている神の実態を教えてくれました。握っている神は私が自分の中に作り出した自分自身だった。ともに帰ろうと伝えていきます。自分で自分を救つていける磁場と反転の実践を日々の生活の中で続けていきます。

復讐を誓い、殺戮のエネルギーの自分自身、怒りと恐怖のかたまりの自分自身を、今世、母が私にしてくれたように、私は私自身をしつかりと抱きしめていきます。今世、始めて我が子を腕の中で抱きしめたように、私は私自身をしつかりと抱きしめていきます。お母さん、嬉しいです。産まてきてよかったです。裏切られたと叫んできただけれど、裏切ったのは私でした。お母さんを捨ててきたのは私でした。自分で自分を殺してきたんです。やつと狂い続け間違い続けてきた自分を素直に受け止めていける。嬉しいです。自分で自分を救つていくだけでよかったです。ありがとうございました。

今回、親子と一緒に前に出させていただきました

息子から、「くそババー」の叫びが飛び出した時、怒り狂っていた私の心が、一瞬にして喜びに変わりました。その後は、ただただ嬉しくて、ごめんなさい、ありがとうございました。



肉の母を美化する心癖、肉の自分を美化したい心癖、私達親子は特別という世界を作り出しました。選民意識です。母から流れる血を守り掲げ続ける。一族を守り抜く、守らなければ全てが崩壊してしまう。その思いは、本当の愛を破壊するエネルギーでした。我が子に受け継がせたいとするそ の支配と牛耳るエネルギーを心の中に抱えているのに、肉の私は、「どうせ私は馬鹿なのよ」と平気で自分を卑下してきました。自分で自分を卑下する時、落ち込む時、「私は愛、あなたも愛、ひとつです」を自ら切り捨てて きた己が偉い自分であることに気が付けなかつた。

親孝行も、子育ても、全部偽物の私がしてきたことでした。田池留吉を 思い、自分で切り捨てて来た自分の思いを反転していくだけでした。私が磁場と反転の実践をしていくだけです。自分のために生きる。嬉しい です。私がこれから歩いていく道がはつきりと見えてきました。厳しいけ れど嬉しいです。反転の実践を積み重ねていくだけです。磁場と反転は「愛 あなたは愛です」の世界でした。どんどん私の中の私に出会つてともに帰つ ていいける。だから、嬉しいです。

しつかりと自分で自分を抱きしめていきます。母がしてくれたように、自分 が我が子を抱きしめたように、その感覚を思いださせてくれた子供達 でした。ありがとう。それだけによかつたです。

私が叫ぶ、「くそババ」は愛に帰る突破口、「田池、死ね——」の叫び は愛に帰る突破口、自分が作り出した一枚一枚の壁を自分で突破していく かなり限り一步も前に踏み出せない。お母さんを思い、田池留吉を思い、突破 していくだけです。突破した向こうに優しいやさしい波動のお母さんが待つて くれていてることを今回のセミナーで体験させていただきました。

この心の体験を大切に、次元移行に向かつて自己確立の道を歩いていき ます。自己確立の道は、ひとつを信じていく道でした。ひとつを思える心 は本当に温かくてやさしいです。そこに戻つていいける私達でした。ありが とうございました。

UTAブックさん、田池先生、塩川香世さん、お世話をしてくれた 皆さん、ありがとうございました。

心の向け先はいつも「田池留吉」！

宗 節子

このたび、思いがけず、「愛、あなたは愛です」のセミナーに参加させていただきました。UTAブックからその知らせが届いた時は、まさか自分がという驚きと同時に、またとない勉強の機会をいただけたと、心から嬉しく思いました。

人間はなぜ生まれてきたのか、人生の目的は？それは愛に目覚めるため、それにはどうしたら良いか。瞑想・闇の大噴出・反転・総崩壊。通常のセミナーでもホームページでもさんざん言わってきたことです。今回の二泊三日のセミナーは、これらの実践に終始しました。そして最後は、あなたは愛・私も愛・ひとつです。汗と涙で顔も身体もぐしょぐしょになつて肉体は疲れきつたけれど、心は爽やかな快感を覚えた素晴らしいセミナーでした。



セミナー二日目の午後、私は、学びに関する質問の時に、瞑想の時に私の心に感じたことを質問しました。それは、私が以前信仰していた「生長の家」のことでした。先生から回答をいただいた後、チャネリングをしていただきました。

香世さんの口を通して出る私の意識は、やはり「アマテラス」でした。私は「アマテラス」そのもの、素晴らしい、特別だと語っていました。また出たか「アマテラス」、そうよ、私は素晴らしいのよ、偉いのよ、でもなぜこんなに苦しいの、心が落ち着かないの、ウゥ～ウゥ～ 心の奥底から何か黒い塊がぐつと込み上げてくるような感じがして、もうじつとしているかもしれませんでした。大きな叫び声をあげて右に左に転がり回っていました。反転の実践を何度もして、いたにも拘らず、その時は反転も出来ず、ただ闇の垂れ流しのみでした。

いつもいつも私の意識は「アマテラス」が出ます。「アマテラス」と言われ、今度こそ、今度こそ真剣に供養しようと何度も思つたことか。そして私なりに実践してきました。でもまたかの繰り返しです。そして、いつの間にか「アマテラス」が出ることに慣れきった怠惰な自分がいました。やつてきた、やつてている、やつてているつもりと思つていて傲慢で己偉しの私でした。間違つていきましたと気づいて、そこ止まりの私でした。

先生に言されました。間違いを隠してはいけない。出せばいい。そして反転、反転をすればいい。「アマテラス」を信じた心を反転していく。こうしてどんどん勉強しなければ成長しない。厳しくて、優しい言葉でした。

心の向け先はいつも「田池留吉」ですよ。先生から何度も言われて、自分でも向けているつもりでした。でも、私の意識はいつの間にか「アマテラス」に向いていました。長年のお付き合いできつと心地良いのでしょうか。「田池留吉」に向けると苦しいんです。苦しいから向けたくない、苦しさを出したくない、出すと素晴らしい私は崩れていく、みつともない、苦しいのは間違っているからだ、いいえ私は間違っていない……。こうして私は苦しさを出すまい、出すまいと抑え込んでいました。

でも、今回のセミナーではそうはいきませんでした。この苦しさを押し

込めていっていることはもうできない。突き上げてくる闇の塊を噴出せざるを得ませんでした。抑えようとしても自分の力ではどうにもなりません。分厚い肉に少しヒビが入り、私の真っ黒な巨大な闇のほんの一部が出てきた感じです。チャネリングの時が最高潮に達していたのだと思います。まだまだ小さな小さなカケラです。小さいカケラでも私の闇のエネルギー。出てきて良かった。嬉しかったです。

私は、日常的に浮遊性のめまいの症状で身体がふらつきます。ですから日常生活で身体を左右に動かしたり、回転したり、機敏な動きは極力避けています。こんな状態ですので、闇の大噴出の時は、こんなに動いたら身体がふらつくのではないかと不安と恐怖が出てきます。しかし、現象の時も、終わってからも、一度もそういう症状は出ませんでした。びっくりしました。本当に不思議なことです。こんな体験も私には良い勉強になりました。

素晴らしい私なんていない！大股開いて、足突き上げて、転がり回って、大口開けて、涙流してお化粧が剥がれて、髪振り乱して、何が素晴らしい？何が特別？第一回目のセミナーのDVDで転がり回っている自分の姿を見た時に、何か愛おしくて涙が出ました。長い間、この苦しさを抑えていたんですね。間違っていました。ごめんなさい。反転です。

さあ、これからどうする！もうやるつきやないんです。まず、瞑想大噴出・反転・縦崩壊。実行のみです。田池留吉を信じて、自分を信じて、小さい闇のカケラでもいい。一杯出していこう。カケラを大きくしていこう。そしてそれらを喜び、温もりで、愛のエネルギーで包んでいけたら良いなあ。そして今世は無理としても、いつに日か私は愛、愛に目覚めて、愛の放出ができるたら良いなあなんて、今、そんなことを思つてパソコンを打っています。

最後に、田池先生、香世さん、UTAブックのみなさん、こんな素晴らしいセミナーを開催していただきありがとうございました。そして、この暑い最中、遠いところまで私について来てくれたお母さん、本当にありがとうございました。お母さんの協力がなければ、私はセミナーに参加できなかつたです。心から感謝します。ありがとうございました。



狂いそうに寂しい自分と……

平 里恵

二回のセミナーを通して、たくさんのこと学ばせて頂きました。その中でも、「動機の修正」につながる、私にとっては、まさに「愛」だった体験について書こうと思います。

一回目のセミナーで、私は、チャネリングの勉強に出る機会を頂きました。その内容は、「狂いそうに寂しい自分と、素直に真向かいになつて下さい」というものでしたが、それに続く先生のお話、「母の温もり・本当の自分を捨てた『人間の根源的な寂しさ』」と「卑弥呼（巫女）」も、心に大きく響きました。そして、自分の大きな間違いに気付く契機となりました。

セミナー後、私はこの体験を元に、反省を重ねました。

卑弥呼・親鸞等、時代は変わつても、私は同じ思いを使つていたと確信できました。母の温もりを捨て、寂しい心を抱え、頑張つて頑張つて、努力して努力して、いつも一番を目指しました。いつしか寂しい心を忘れ、一番一番と己を高め、誇るために命がけで努力しました。努力して結果が出れば、寂しかつたことも忘れました。母の温もりを捨てたことなど忘れ去りました。今世もそうして生きてきました。苦しいことを忘れ去ることができたから、勉強が大好きでした。自分に言い聞かせる言葉は「努力」。私は自分の力で幸せになつてみせる。

いつの時代も私は、自分を幸せにする力のない母を捨て、自力で幸せになつてみせると、努力してきました。この学びにおいても、「自分で自分を救う」という大義名分のもと、母を捨てました。私は、自力で幸せになつてみせると、母を捨てました。

母の温もりに帰る学びをしていながら、母の温もりなんて無くても幸せになつてみせると、母の温もりなんてくそくらえと、田池留吉に徹底抗戦しながら勉強を続けていたんです。

衝撃でした。愕然としました。本当に驚きました。

私はこの学びにおいても、先生の言う通りに、まじめに素直に努力している、課題に取り組んでいると思つていたからです。母の温もりに帰るために、自分は努力していると思つていたからです。まさかスタートから違つていたとは思わなかつたんです。全く気付いていませんでした。母の温もりを感じることができないのは、努力が足りないからくらいにしか思つていませんでした。学びの動機が全く違つた、真逆だったとは、思いも寄らなかつたんです。

だから、「狂いそうに寂しい」が出てくれて本当に良かつたです。「寂しい」は、私の学びの原点であり（学び初めの頃、反省ノートは「寂しい」だけでページが埋まつていたことを思い出しました。）、ターニングポイントだつたんです。

どんなに努力しても、頑張つても、私は寂しいままでした。母の温もり抜きに、この狂いそうな寂しさは埋まらないのだと、ようやく間違いを修

正するチャンスを頂きました。

今世も、母を捨てる心を使うような環境を選びました。そして予定通り、母を捨てました。ずっと、私に母の温もりを捨てさせた母に、責任があると思つてきました。母の温もりを捨てる過程を知るために、母を選び、環境を選んだとは思つていませんでした。

「母の温もりなど無くとも、私は自力で幸せになつてみせる」

それが私の己偉いエネルギー、反抗勢力の源。すべての根っこにその思いがありました。宗教こそやつていなければ、他力のエネルギーそのものでした。

「寂しい心と真向かいになる」とは、母の温もり・本当の自分・愛を捨てた自分と真向かいになること。つまり、「母の反省」です。

今の私にとつて「母の反省」は、お母さんの温もりを捨てた心の歴史を振り返ることです。なぜ私は、母の温もりを捨てたのか？母の温もりを思い出すには、まず捨てたことを思い出さねばならなかつたんです。

母の反省は、思い出すことが限られていて、「ちつとも進まない」と、うんざりしていました。同じ事ばかり思い出すのは、そこに意味があるからだとは思えなかつたんです。私は、先生の言う「質的変換」を起こす「量」を「データ量」としてとらえ、母の温もりを思い出すには「データが足りない」と思つていたんです。私の問題は、そんなところには無かつたのに。

母の反省を、「寂しい心」・「母を捨てた心」を軸に、やり直します。そして、そこに使つてきたエネルギーを、もっと深く見ていこうと思ひます。

今回、間違つていたことに気付くチャンスを頂けて、本当に良かったです。田池先生、塩川さん、UTAブックの皆さん、ありがとうございました。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

あなたはいつも笑っています。肉のあなたは笑っています。しかし、その笑いはどこから来るのでしょうか。あなたは自分を隠していませんか。自分の寂しい心を隠していませんか。

もつと素直に自分と真向かいになつてください。あなたのの中には寂しい寂しい、狂いそうに寂しい寂しい寂しい、お母さん、寂しい寂しい寂しい寂しい寂しい寂しい寂しい寂しい、はい、そんな思いを心に抱えています。その心をしっかりと見つめていつてください。

寂しい心について

寂しい心つていうのは大事なんですよ。例えば今的生活がありますね。夫が外に心が向いていると、女は寂しいね。でも、そういう寂しさじやないんですよ。それもあるかもしれないけど、そういうのではなくて、皆さんは愛から離れている。自分の故郷から離れている。本当の自分を忘れ去っている。その寂しさがあるんです。

人間の根底にはその寂しさがある。だから、その寂しい心をくすぐつていくと、皆さんは乗つてくるんです。わかりますか。もし私が、そんじよそこらの宗教家であれば、それを突くと、みんな乗つてきますよ。

寂しいんです、みんな。その寂しさがどつから来るかわからない。そうすると、これは夫が外へ向いているからとか、あるいは子供が病弱であるとか、あるいはその他で寂しいんだろうと思うけど、そういう寂しさじゃないんですよ。これは人間の根源的な寂しさです。それは自分を捨てた。だから多くの人はね、ただ目先の色々なことをお願いしてですね、神様に祈つたり、祀つたり、頼んだりするんですが、根底的に寂しさがあるんですよ。それを癒してほしいという気持ちがある。自分では気が付かないけど、みんな、ある。だからそこに宗教が入り込んでくる。誤魔化しの宗教は大きく膨らんでいく。わかりますか。皆さん寂しいから、何かこう、神の恵みとか、神の愛とか、なにかそういう言葉を垂れると、みんな寄つてくるんです。そうすると「金を持ってこい」と言われたら金を持つていくんです。よろしいね。また、このあと、「ウワーッ」とやりますから、やつていくうちにね、そういう寂しさをまた見つけてください。

それから沢山の占い師がおります。占いをやる人ですね。それを僕は「拝み屋ババア」と言つてたんだけど、そんな拝み屋ババアが、ぎょうさんおるんですよ。そういう人は自分が偉いんです。「自分は色々なことがわかるから」「それで商売してるから」「人が集まつてくるから」、だから自分は偉いんだと思つてる人がいる。

集まつてきますよ、人間は根底にそういつた寂しさがあるし、不安から何か将来を知りたい……だから来るんです。私もかつては占い師はやらなかつたけど、占い師みたいなことやつてましたよ、私もね。一時、昭和二十年頃ですね。今から六十八年位前の話だけね。やつてましたよ。やりながら、だんだんやつているうちに、「こんなバカげたこと」と、わかつてきました。

(中略)

で、ここは飛鳥ですね。この地域は飛鳥ですよ。神武天皇がここへ来て都をつくるた。だから日本の建国の地ですね。ここからずーっと行つたら桜井があつて、山を越えると「上山」がある。だからね、卑弥呼がおつて、沢山の巫女が出た。皆そういうことやつてきた。どんな生活というか、人生を送つたか、皆さん心でわかると思います。もう沢山の人がメールで送つてきてます。自分は巫女であつた、卑弥呼であつた、色々ね。あるいは卑弥呼の意識はこうだつた。みんな、すごいですよ。結局、みんなダメということですな。

何にもわかつてなかつたということが結論です。けれど、当時としては卑弥呼は、もう女王みたいなもんですね。で、みんな寄つてくるんです。蟻のようにたかつてきて、そしてどんどんどんどん神の言葉を伝えた。みんな「そうか、そうかそうか」と寄つてきた。それで権力闘争しますしね、女同志は争います。引きずり降ろしますね。嫉妬、妬み、男を手玉にとる、もう色々やつてきた。皆さんのが過去世がそういうことなんです。

皆ではないですよ。そういう人が多いんです。何もそれを知つたからと言つて卑下することもないんです。その時はそうであつたなど、その時使つた心をどうかを見て、それを「反転」していくというのが人生であつて、過去に悪いことをしたから、間違つた人だからと、それで小さくなる必要はあります。それをプラスに変えていくということが人生です。お間違えないようにね。それを見ようとしているで、自分は「立派」「立派」というのは、これは一番愚かな生き方です。わかりましたね。はい、もうないですか。

私は、どこまで間違つてきただのか？

津野裕子

「愛」のカードを見たり、「愛」のカードに触れたりしながら瞑想をすると、異語がでて、肉はなんというか、うまく言えないけれど、とても優しい波動が伝わってきて、涙がぽろぽろとこぼれ、うれしいなあと伝わってきます。何か本当に次元の違うやさしさ、ぬくもりを伝えてくれている。それが田池留吉であり、「愛」のカードだと思い、うれしいです。

冷え症なので、「愛」のカードをお湯にうかべてお風呂につかるとお湯がまろやかになるというか、体もあたたかくなるようです。また、眠るときなど痛みを感じる部分に「愛」のカードが当たると痛みがやわらぐというか、気持ちがふつとやさしい肉体細胞のほうに向くようです。

外向きになりがちな私の心を中心へ向ける装置、スイッチがふつと肉から意識へと切り替わるきっかけとなってくれています。家でも会社でも、目に触れ、ふつと中に思いが向けられるように促してくれている。それが「愛」のカードではないでしょうか。

「愛」のカードがあるということ、田池先生が肉を持つて存在しているということを、肉である私は小さくとらえてきました。

肉基盤の頭では、何も分かりませんでした。

お母さんを素直に呼べない。己の偉い私は、目の前のできごとに捉われ、責任を転嫁し、自分を正当化することしかしてきませんでした。

相手を責め、裁き、己を高くそびえ立たせてきました。

苦しみを、怒りを他者のせいにしているとき、私の心は、母のぬくもり、田池先生の指示示す方向とは、まるで正反対へ向いていました。

セミナー会場で、田池先生がお話をされているとき、「なぜ、あのような存在がそこに在るのか？」なぜ、今まで絶対に在るはずがないと、絶望し

てきた私はどうなるのか？ 私はどこまで間違ってきたのか？」 という思いが込み上げてきました。ただただ涙がとまりませんでした。

ずっと探し求めてきた愛がそこに、私の中にもはじめからあったということを、伝えてくれていました。けれど、己偉い私は、素直に受け入れることができませんでした。

「愛」の文字を見て、反転といくら思おうとしても、目の前の苦しみや、自分の肉の生活にとつて障害となるものを取り去ろうと必死で、とても心は中へと向いていきました。これが現状です。私は自分を心の底から



ら信じるということが、中々出来ませんでした。優劣を競い、争つてきました。どうにも、反転などできませんでした。

反転、愛に向けて反転と頭で思つても、私の中に、お母さんのぬくもりを呼べなかつた。愛を思えませんでした。どこまでも、己偉い私でした。

これからも、日常を送つていくなかで、苦しい思いを感じたとき、愛を思つて反転できるように、母の反省と瞑想をしつかりと続けていこうと思います。己偉い自分を愛へ向け、よろこびで反転としていく。しつかりと学びの道を歩いて行こうと思います。私は、まちがつてきました。そう、思えることが本当にうれしいです。

お母さん、まちがつてきた私をお母さんのぬくもりに思いを向けて包んでいきます。田池先生のやさしさを感じ、心からうれしいです。ありがとうございます。これからもずっとずつと心をみつめて学んでいきます。心の底から全力で伝えてくれています。しつかりとその思いに応えていきます。

田池先生、お母さん、うれしいです。ありがとうございます。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス（7／28）

はい、お母さんお母さんお母さんに心を向けると凄まじいエネルギーを感じるけれども、ああしかし私は間違つてきた、本当に間違つてきたことをほんの少し、少しずつ感じ始めています。心を見てまいります。お母さん、お母さん、私はお母さんを飛び越えたかった。お母さんがうつとうしかつた。お母さん消えてなくなれと何度も思つたことか。ああ、間違つてきた。それが間違つてきた。

「愛、あなたは愛」セミナーを終えて

中島桂太

一回目の「愛、あなたは愛」セミナーを終えた時、私の中で確認できたことは、自分は非常に己偉くそびえ立っている、ということでした。そしてそれは、セミナーに来始めた頃から何も変わっていない現実でした。

今回、この様なセミナーに参加させて頂いて、一泊三日集中して学びをするということを肉では本当に喜んでいましたし、がんばろうと意気込んでいました。実際にがんばってはいたと思います。どんどん、どんどん、自分のエネルギーを出しては感じ、それを繰り返す。そこまでは順調だと思つてました。しかし、そこから先でした。つまり、自分のブラックのエネルギーを反転、温もりで包み込んで行く、ということがうまくできなかつたんです。なんとか温もりでと思っても、肝心な温もりが自分の中に響いてこないんです。それは、きっと母の温もりが分かつてないから、母を素直に呼ぶことができないからだと思いました。そしてそれは、己が偉くそびえ立つてゐるからだとも感じていました。

一回目のセミナーを終え、二回目のセミナーに向けて、自分の内で「己偉い自分」というテーマが決まりました。以前から何度も何度も勉強の中で言われているのに、いつこうに改善していなきことに気づいたからです。そのテーマを持つて日々の生活に戻ると、自宅や職場で嫌つていうほど、そのエネルギーを感じることができました。私は偉い、私は正しい、私の言うことを聞け、私はすばらしい、次から次へと出てきました。そこで、ふつと思つたことは、この思いはいつたいどこから来るのだろうという思いでした。どうして、こんなにも自分は正しい、偉いと思っているのだろうと、今更ですけど、そこに焦点が合いました。そうした中でホームページを見ていた時、握つてゐる神についてのメッセージが目に入りました。私は他力の反省が分かりませんでした。形では今世、宗教をやつてきていないと思つていたため、具体的に、なんのことを思い出すのか分からなかつたんです。だから、母の温もりを感じることが先だと思つていたし、

そういうことは後回しにしていました。でも、このホームページのメッセージを見て、そうだったのかと感じました。神を握っているから、私の中のエネルギーは己偉いままなのだと、お母さんを素直に呼ぶことができないのだと、でも、握っている神がよく分かりませんでした。もちろん、過去から宗教をやつてきたというのは、知識としてはあるし、自分の中にそのエネルギーがあることも感じているのですが、どこか見つめきれない、とういうのが正直な気持ちでした。

そんな思いをもつたまま、二回目のセミナーが始まりました。セミナーは順調に進み、そして後半、ある人に対してもメッセージがありました。そしてそれは、私に対するメッセージでもありました。メッセージの内容は母を素直に呼べないその心を見つめてください、ということ、そしてそれは、今世使った密教的な思いのエネルギーがそうさせているようでした。このメッセージを聞いて、納得、納得でした。まさしく自分のことでした。我一番の原因でした。そこで納得すると、次から次へと、密教的なエネルギー、念力やパワーへの思い、エネルギーが吹き出してきました。こんなにもあつたのかと、こんなにも苦しい思いが自分の中に存在していたのかと、その後のセミナー終わりまで、そんな思いと一緒に、申し訳ない思いや喜びも一緒に吹き出し続けました。

私は権原セミナーを通して、己偉い自分のエネルギー、そして、その奥底にあつて今まで気づけなかつた、他力のエネルギーを知ることができました。それは、私にとって大切な一步でしたし、そのようなチャンスを頂いたことは、本当に幸せなことでした。ただし、この一連の環境の中で学んだことも、油断すれば、あつという間にサビついていくと理解しています。大切なのは繰り返しの実践だと、心の針を愛に向けることだと、今はそう思つております。ありがとうございます。



基本は「お母さんの温もり」を知ること

中島智子

今回は少人数ということもあって、どんなセミナーになるのかなと興味がありました。全体としては一言でいうなら初めからすごい迫力だと思いました。私もつられて思い切り闇出しをさせてもらいました。後からあとから苦しい心が出て身体はへとへと。闇はいくらでも出ますが、それを温もりに変えるということがどんなに重要なことか、「お母さんの温もり」で包んでいく、これが出来なければと何度も聞いてはいましたが、そこが私には足りないといました。

上辺だけで辻褄を合わせようとしても、それが出来ない世界だと改めて感じました。あとは「心をどこに向けているか」ということを何度も確認させてもらいました。他力の神に向けていればどうなるかを感じさせていただけ、見させてもらいました。

信じているか否か、私はまだ肉の範疇はんちゅうだと思いませんが、田池留吉、愛、お母さんと本当に真剣に向けていけるようにしたいと思いました。

「田池留吉、死ね、このわしが殺してやる」

闇はすごい勢いで出てきますが、反転してもすぐ肉で考えて「本当に効き目があるのかな、変わったかな」と疑つたりしてしまいます。

これが間違いでした、ただ淡々とやつていけばいいのだと思いました。

二回目、心に残つたことは「私は愛です、あなたも愛です、ひとつ」を心の中で言いなさい、という実践で初めは少しも信じていらない自分を感じましたが、やつていくうちに嬉しさが込み上がり叫びたくなりました。この心も自分の中にあると信じていけるようにしたいと思いました。

一回目、二回目と参加させていただいて、やはり基本は「お母さんの温もり」を知ること、これが一番大切だと思いました。



「見ざる、聞かざる、言わざる」の自分でなく

中務敬子

自分の心を見ていくことと思うと、逆に肉では色々なことが起こつてくる。だつたら見ないほうがいい。それでうまくいくはずがないのに、色々な思いと出会つていくことが怖かつた。これが自分の思いだと認めることができませんでした。

私は、やはり肉を守りたかつた。自分の心を見ていくことが怖かつた。すさまじい思いが怖かつた。少しそんな思いと共に帰つていくことと思つても、やはり怖くなつて、しつぽを巻いて逃げ出してしまつ。

肉で確かに掴みたかつた。これで幸せになれるということを掴みたかつた。だけど、握つたと思っていても、いつの間にか手の中にはなく、砂のように自分の手の中からこぼれ落ちて、また掴み握ろうとするけれども、手の中にはないの繰り返しだつた。

間違つている、そう思つても、なかなか引き返すこともできず、自分の中のたくさんの思いをゆつくりと想つこともせず、見ざる、聞かざる、言わざるのサルのように口、目を閉じ、耳をふさぎ、聞こえないように「わあわあ」言うか、岩のように固まつてゐる、そんな私でした。

何か特別な教団に入つたことはありません。ですが、幼稚園はキリスト系、寺の日曜学校にも行き、家には仏壇、稻荷（神主さん呼んでの祈祷）、地蔵、近くの神社にも行く、そして、奈良（吉野）にもいきました。

占いも好きで、自分の思い通りの結果が出るまでするような状態でした。あの土地に生まれたから悪いと思つていたし、あの環境が嫌いでした。

仕事においても、どうして、この仕事を選択してしまつたのか？

どうして、こんなに苦しんでいる人を見ないといけないのか？

もつと、別の仕事があつたのではないか？ここでやつていくのだろうか？



そんな思いがありました。

だけど、確かに自分で選んできたのです。

私は、肉を、肉こそすべてを実現したかった。不老不死、よみがえり、大切な人の肉を元に戻し、自分自身の肉をよい状態にするそんな思いがあった。肉こそすべての、たくさんの思いがありました。力及ばない時、念力、パワーで自分の望みをかなえる、きっとかなえる、かなえてみせるという思いです。

だから、フツと思う、思い出すだけでも、すぐに肉がすべての思いと直結している、そう思いました。

肉でどうにか。私の持てる力を使って「どうにか、どうにか」とあくせくしてあせつて、周りの人にも、「私はこんなに大変、こんなにしている、これ以上は無理」と言いながら、自分の正しさを叫んできました。

私は、こうして自分の苦しい思いを打ちながら、「どうして嬉しいの?」と思いました。

書きだすまでは、自分の思いを出していくまでは、憂鬱ゆううつで、暗く落ち込んでいたのに、逆に自分の思いを綴つていった今のほうが、なぜか嬉しい。肉では、何が起こっているのかわかりません。

愛の文字（文字入り）をお守りのように使うのではないか？「助けてください。救ってください」などと思つてしまふのではないか？

当初はそのように思つてきました。ですが、今は、自分の周りにある文字を見て、自分の心に思いを向けるためにあるのではないか？

まつすぐに文字を見て、自分の心に思いを向けていきたい、（同じように、機会があれば、まつすぐに肉の田池先生の目を見ていきたい）自分の思いと向き合っていきたいと思います。

自分の周りの文字を目にすると、「フツとした時に思いを向ける、そんな環境をつくってください、自分に思いを向けてください」と感じました。

ただ、自分のほうに思いを向けて、ぶつかったり、転んだり、泣いたり、わめいたりしながら、私自身とともに歩いていきたい、自分が死ぬ時、「怖い、怖い、助けて、助けてと誰かにすがり、この学びをしたかったのにどうして真剣にしなかつたのだろうか？」と後悔しながら往くのではなく、少しでも自分に「ありがとう、いい人生でした」と思いながら、自分の（予定してた）課題をできるだけしてから、この肉の私とさよならしたいです。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、私は自分のエネルギーをまだ出していません。まだまだ奥底に潜んでいる私の闇があります。ブラックです、私はその自分と真向いになつていくことが恐ろしい。まだ、そんな段階です。もつともつと自分を語つていきたい。自分のエネルギーを心で受け止めて行きたい。お母さんに思いを向けていきます。お母さんに言葉で言い表せないほどのエネルギーを使ってきました。ううー苦しかったです、苦しかったです。

中務さん、あなたはこの学びに集つて時間は長いです。しかし、心をしつかりと向けていません。もつともつと、この学びを信じてやつていて下さい。心を向けてやつていて下さい。あなたの中のエネルギーは待つています。もつともつと、その肉体を通してエネルギーを感じていて下さい。どうぞ自分を信じていて下さい。

田池先生から

この中務さんはね、私が初めて滋賀県の今は高島市になつてますがね、その中の安曇川というところ、安曇川という駅がある、そここの所で初めてお勉強会に行つたのね。この人、来てはりました。看護師かなんかしてましてね、長いんですね。長いんですけどね、今、最後に言いましたように、そういう勉強をしてほしいですね。長く来てるから良いという意味じゃなくて短いから駄目だということもないんです。如何に自分の思いをどんどん出していくかと……思いはみんなブラックです。そんなええのが出てね、なんか褒めてても

らおうとか、そんなん全くなない。ここから出でてくるのは、本当のことを言っている、というよりも本当の波動を流している。言葉で反応するんじゃない、波動で反応する、よろしいね。

と言つて他の方法もあります。何で波動を感じるかというと異語で語る方法もある。そうすると相手の人は異語は分かりませんよな。たとえばアメリカ人、あるいはどこかアフリカの人とか、日本語は分からぬしね、だから日本語で言つても良いんです。日本語で言わんでも波動でね、異語で言つたら、そしたら通じます。万国語じやないんですよ。エスペラント語というのがありますけど、そういうのじゃなくて、異語で語ると通じるんです。ただし勉強していない人には、ちょっと通じない。勉強している人には通じます。たとえ、それがどこの国人であつても、それから学歴とか社会的云々がなくとも、異語で通じる。さらに言うならば歌でも良いんです、歌を歌う。歌といつて、そんな流行歌とかね、そういうのではなくて、まあメロディでいうと「ふるさと」が分かりやすいですね。あるいは日本人は、題名が分からぬいですがね、先生に対する恩とかあるでしょ。ああいう歌をね、歌うんです。歌うというか、リズムがありますけど、そういうのではなくて波動ですよ。そうすると相手がビビッとくるんです。

……で、日本の歌手は「ふるさと」歌つてますね。ところが心がない。歌は上手です。歌は私と比べたら月とスッポンぐらい上手だけども、心がない。だから、あの歌手が心を学んだら、もつと良い「ふるさと」を歌うんです。どなたか、ああいう歌手、姉妹で歌つてますね、あの人にこの学びのことを伝えて「愛」に心を向けて歌つていけばね、あの「ふるさと」が爆発的に人気が出る。ところが悲しいかな、ただ歌が上手というかね歌唱力があるとうかね、それだけではいけません。ただ「ふるさと」という、自分達が描いている故郷があるわね、山とか川とかね。それでみんな感動するんだけど、「愛」で感動させなきや。歌も力あるんですよ、今のはチャネリングというか、日本語でしゃべってるんですけど、実は波動で伝えている。

この人（中務さん） 真面目ですね。二十年なりますが、ずっとと学んできただけどね、ただ真面目だけではいかんのね。そうしていつたら、今度この人の仕事の中でも、家庭の中も変わっていきます。

アマテラスについて

それではね、最後にアマテラスをちょっと学んでいきます。アマテラスというのいろいろあります。私も本当の所は、歴史的なことは知りません。小学校で習った程度でございますけどね、タカミムスビの神がどうだとか、イザナギ、イザナミの「一柱がどうだとか、その神様が淡路島で祀られていますとか、色々あります。ありますけど、ただ「アマテラス」といつて伝わつてくるものがあります。

これはね、しかし歴史的に書かれたものを読むとですね、昨日、一昨日も言いましたように日本の国ではアマテラスというのが宮崎で降臨してきました。降臨というと、ちょっとよく分かりませんが、まあ存在していたと、こうしましよう。そして自分も、子供たちも、この日本の国に暮らしていた。それから色々とね、ニニギノミコトとか、いろいろございます。神話ですね。神話ですけどね、要はアマテラスというのが存在したのは間違いない。そして、それは色々な形で皆さんに伝わつていつた。色々な形ですね。

伊勢神宮があります。あそこには鏡が祀つてあるわね。なぜ祀つてあるかというと、「この鏡を見ること我を見るようにせよ」と、だから我というのアマテラス。で、あそこに鏡が祀つてある。それを皆さんお参りにいつてるわけね。鏡というのは「三種の神器」と言いまして、「鏡」と「勾玉」とそれから「剣」とあるわけですが、「この三つが、自分たち（天皇家）が、自分たちの子孫が、この国を治める証です」となつてているんです。

事実は、私はどうでもいいですけどね。だから、そのアマテラスというのが伊勢神宮だと、あるいは天皇家には神道、天皇家というたら神道の頂点ですからね。神道というのは何かと言うと、まあアマテラスということでしようね。大雑把に言つてです。細かい歴史的なことはどうでもいいんですよ。

皆さんは、そのアマテラスというのを握つてしまつていて。例えば、生長の家はアマテラス。だから握つてしまつていて。ところが生長の家はアマテラス神道と言いながら、キリスト教でもある訳ね。後にそういう神社を作つ



て祀つている。だから色々ある訳です。あるいはその他、日本に仏教が伝わりまして、色々あつて仏教と神道は仲良くせよと言つようなことがあつたり……。日本人はすべて神道、氏子ですね。あるいは仮の子ということで、「猫（禰子＝神道の氏子）も杓子（糺子＝仏教の檀家）も」と言う。「猫も杓子も」と言うたら、日本人みんなということです。分かるね。猫も杓子は、猫がにゃーんという猫じやないんです。その次にキリスト教が伝わつたから、「猫も杓子も」が日本人全部という訳にはいかないけども、元々はそういう、まあ色々な神様が、神様というかアマテラスを皆さんは握りしめてきた。

もちろん祀つたり、拝んだり、祈つたり、助けを求めたり、許しを請うたり、色々してきたけども……握つてきた。大なり小なり握つていてます。お正月には神社へお参りする。結婚式には神前結婚する。まあ色々あります。だから皆さんには、大なり小なりあります。特に「生長の家」とか、「なんやら教」とかに入つた人は、ぐつと握つております。それをしつかりと見てね、それを出して、それは全てブラックですから、そのブラックを自分の温かい温もりで抱きしめて、一緒に愛に帰ろうと、本当の母なる宇宙に帰ろうと、そういうように呼び掛けていくことが、あなたの方の一つの大きな仕事なんです。それが仕事なんです、間違わないように。

だから私を幸せにして下さいというのは、それは仕事ではない。よろしいね。そこであと時間が五分足らずでございますが、いっぺん皆さんにこれから軽く目を閉じて頂きまして、よろしいか、そして自分の心をこれから見て頂きます。

「アマテラス」の方に心を向けてください。

平成二十五年一月のある寒い朝のことでした。私は起床して、すぐに一階の洗面所に向かいました。水道栓を回して、洗面器に湯を取り、顔を洗おうと上半身を前に屈めた瞬間、腰部に激痛が走り、そのまま、膝からその場に崩れおちました。立ち上ることはおろか、身動きも出来ない状態となりました。

洗面台の端にからうじてつかまりながら、必死になつて、一階に居る妻を呼び続けましたが、声が届かず、一種のパニック状態となりましたが、ズボンのポケットに携帯電話が入つていてことに気がつき、やつとのことで妻に「洗面所で動けない」ことを伝えることが出来ました。

身動きが取れない私を見て、妻は何事が起つたのか、最初は判らず、大層、驚きましたが、腰部の痛みを訴える私を見て、妻は直ぐに「愛」の草書体を持つて来てくれました。

私は「愛」のカードを腰部に当てながら、肉体細胞に思いを向けました。思いを向けた途端に、「申し訳ありません」「申し訳ありません」「申し訳ありません」が噴出してきました。続いて、「肉体細胞に暗い、厳しい、闇の思いをかけ続けてきた」ことが何度も、何度も出てきました。肉体細胞が悲鳴をあげているのだと気付かされました。

私は「愛」のカードを手にしながら、「田池留吉の磁場」に心を合わせて、「反転」を繰り返しました。私はいつの間にか涙ぐんでいました。動転状態から少し落ち着いてきたので、ふつと軽く深呼吸をした処、「ありがとうございました」「ありがとうございます」「ありがとうございます」の思いが溢れ出てきました。

私の驚きはここから始まりました。なんと腰部の痛みが少しずつ、和らいできたのです。更に身動きも出来なかつたのが嘘のように、ゆっくりながら、立ち上がり、そして歩くことが出来たのです。

隣の部屋に移動して、椅子に座ると胸が熱くなつて、また涙が出てきま

した。

自分の中にある、目には見えない「愛」のエネルギーの確かな強さと「反転力」を強めていくことの大切さを心に強く感じた、まさに衝撃的な今回の体験でした。

今回、私の身に起こった、身動きも出来ない、ぎっくり腰は私の中にある沢山のエネルギーに気付きなさい、と云う「促し」であり、本当の自分とは何かを知りなさいと云う、絶好の「気付きのチャンス」を頂いたと思っています。

無限の意識の自分を「心で感じる、心で知る」ことをしつかり学んでいこうと思います。



今後とも、「田池留吉の磁場の瞑想」「反転の実践」を日々重ねて参ります。

此の度、七月と八月のセミナーに参加の機会を得て、これ迄学んできた沢山のことを改めて再認識、再確認する、貴重な場を与えて頂いたことに心より感謝しています。今回、特に、心に強く響いた点を下記致します。

- (1) 自己確立
田池留吉＝愛＝自分を、ぶれずに強く信じて、一直線に信じ切ること。
- (2) 自分の死後の世界で田池留吉＝愛と交信出来る状態になること。
死ねば自分ひとりの世界になるが、死後、田池留吉と交信出来る様に、自分の中の田池留吉＝愛の存在を確信すること。

(3) 次元移行

確かにある意識の流れを心で知りながら、その流れに乗って、次元移行を経て、母なる宇宙へ帰る道を淡々と歩んで行きたいと思います。

勿論、これらを確立、確信するには母親のぬくもり、瞑想、大噴出、総崩壊、反転が大前提ですが、「愛」のカード、卵、ボールペン等々をフル活用しつつ、日々実践を重ねて、気持ちを新たにして、本当の自分とは「喜び」と「温もり」に溢れる存在だと心で知り、心で感じるようこの学びに取り組んでゆきます。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

苦しい心を抱えてきたけれど、今、私はこの場で自分のエネルギーを少し感じ始めてきました。ああ、お母さん申し訳ない。ようやく私はその心を少し、本当にほんの少しですけれども心に感じ始めてきました。これら私の中を見てまいります。私は心を見てきたつもりでした。しかし、何も見てこなかつた。己偉い私がありました。



「愛 あなたは愛です」セミナーに参加して

西田テル子

体験談を書く前に、まずは、セミナーを開催してくださったUTAブックの皆様、田池先生、塩川香世さんに、感謝します。この素晴らしい機会を設けていただき、本当に心からありがとうございました。

このセミナーを体験して、「まったく何も分かつていなかった」ということに突き当たりました。愛も意識も言葉だけ、まったく分からなかった、何を学んできたのか、何を信じてきたのか、身も心もズタズタ、満身創痍、ほうほうのいで逃げ帰ってきた、しかし、何かほつとをしている、そんな感じです。

今までなら何を間違ってきたのかと、パキッと言葉で表現し、何々に気付きましたよと、気付いたことに満足してきました。だけど、どんな言葉

も虚しい実態に唖然としました。セミナーに参加したということが、自分にとつての認識不足の確認になつたということです。誤魔化すことも見逃すこともできない実態を、肉でも確認して、もつともつと深く深く自分の中の愚かさに出会つていこうと、それが成果です。

「愛」などと口が腐つても言えない実態に、草書体の愛のエネルギーを感じます。何かを治す、何かを癒す、何かを感じる、そんな生易しいものではありませんでした。田池留吉の意識、母の温もりが心で分からなくては、我流の学びにしかすぎない、得たいものがある間は、自分で遮断していくんだと、他力の中に埋没している実態を垣間見て、意識、本当の自分というものをまったく蓑（わいが）ろにしてきた愚かさに、でもまだまだ心からは分かつていないと感じます。

だからこそ、今世、田池留吉の肉に出会い、意識の世界を伝えてもらい、このチャンスを生かしていくしか私の生きる道はない、計画倒れには絶対してはならないとの決意は、以前にも増して、強くなつてきました。真っ黒で凝り固まつた世界を作つてきた地獄の自分を、「自分の死後と語る」ということを通して、死後に思いを向けたときに、厭（う）というほど思い知らされる。

一年前にセミナーで出してもらつた私の意識、「田池留吉を越えてやる」「反転をすることによって大きなパワーを得られる」「欲でパワーを得たい」としてきた私の過去からのエネルギーです」が、やつと、心にストーンと入つてきます。でも、まだまだこれも表面的なものだとは思いますが、「愛 私は愛です」セミナーに参加させていたくことで、まったく何も分かつていなかつたことと、それでも、そこからしか始まらないのだということを、学びました。そして、それもまた表面にしかすぎないということも感じます。意識の世界の奥深さ、大きさ、優しさを感じていくことは、「一五〇〇年という年月を経ても、なお未知数の私を感じます。だからこそその「瞑想、大噴出、反転、総崩壊」指針に従つて、肅々とたゆみなく実践していく楽しみが待つてます。ありがとうございました。



己が偉いと気付くのに十年かかりました

ノダショウウジ

「愛 あなたは愛です」のセミナーに二回参加させていただきました。その後の自分がどのように変わったか感想文を送るようにとの連絡がありました。気が付いたままを書かせていただきました。

1. 己が偉いと気が付くのに十年かかりました

一九九四年、琵琶湖セミナーで田池先生に呼ばれて会場の中に出ました。その時、田池先生が言われたことは「私が今言っていることはすぐに理解できるようなものではありません。五年、十年かかつてやっとわかるようになる。そのような学びです」「この人はチャネラーですね。そして己を表してきた。そのことに少し気が付いた。そんな状態です。」

この時のCDがあり、それこそ何十回いや百回以上でしょう。数年かけて聞いていました。先生は、何を私に言っているのか……わかりませんでした。いくら聞いてもわからない状態でした。己があまりにも高くそびえ

たつて いるため、己が偉いため、いくら聞いても理解できなかつた、今振り返ると そう思います。

それから時が流れ、数年前にも田池先生からCDと手紙をいただきまし た。内容は一九九四年の時と同じ内容でした。

その文章を読んでも、CDを聞いてもあまり心に響いてこなかつたです。 今年春の琵琶湖のセミナーでも前に出た時、十年前と同じ内容のことを言 われました。

そして今回の二回目のセミナーでも、前に出た時、チャネラーとして己 を表してきたとの指摘が塙川さんからありました。

今度ばかりは反応がありました。先生が自分の前に来たその瞬間、自分 の心からものすごい懺悔の思いが絶叫となつて出てきました。自分はこの 十年間、何度も先生から指摘されたことをわからずいたが、やつと今回 気がつくことができた。総噴出、総破壊をセミナーで何回もしているうち に自分が、いかに己が偉かつたか気づかせていただきました。

2. 二十四時間、四十八時間 田池留吉を思うことは自然なことだと思います

最初四十八時間思うのは無理だろうと思いました。そんなことできるはずがない……今は、それが可能だと思えるようになりました。うちの三人 の子供は、赤ちゃんの時は皆二十四時間、四十八時間と絶え間なく「お母 さんありがとう、産んでくれてありがとう」という思いを出していました。 それが自然だつたのでしよう。同じように田池留吉をいつも思うことが本 来のあるべき自然な心の状態だと思います。

3. 自分自身が本当の自分の世界に戻りたいと願つていました

二回のセミナーに参加したことで、本当に自分は「次元移行」というか「母 の元に帰りたい」という切実な思いを持つて生まれてきたと、確信を深め ることができました。以前、自分の闇がお母さんの元に帰りたいという叫 び声を聴いたのですが、そうではなく、自分自身が本当の自分に帰りたい と願う叫び声が幾度となく出てきました。

やつと肉の自分が、そのことに納得できました。

愛の体験

畠 美了

「愛 私は愛です」出版に向けての樋原セミナーは、私には無くてはならないセミナーでした。肉を持つて、自分が肉を持った意味、そして目的、肉を離すまでのこれから生き方、そして、その後、を心にはつきりと確認する機会となりました。

その二回に渡つて行われたセミナーと、その期間の普段の生活で体験したことを、書きたいと思います。



「愛 私は愛です」の出版の為の原稿応募に、私は心に感じた体験をいくつか書かせて頂きました。それは、ただ出したかった。簡単な意思だけど、この学びへの自分の真剣な姿勢を、自分で確認したかったから、文章にし、応募しました。そして、厳選の有無に関わらず、権原セミナーの開かれるその日は、自分も思いを向けていこうと思い、カレンダーにチェックをしました。そして、そのセミナーに、私も参加できると知らせが入った時、本当に嬉しくて涙が出ました。「自分を真実に繋いでいく」、そう響いてきました。しかし、一方で、「己」一番がより際立つて見れる機会となりました。その心を真剣に見て行つて下さい」とメッセージが届きました。

第一回権原セミナー二日目、その「己」一番の思いはピーチになりました。

「我を見よ。我を認めよ。我が神なり。私が一番だ。田池留吉、くそつたれ。くそくそくそくそー。お前を殺して、私が一番になつてやる」、小さな小さな自分です。だけど、素晴らしいと誇ってきた。「今更、そんなのを変える訳には行かない。戦つてやる。戦つてやる。私が一番になるまで、戦つてやる」、その心で、自分の外に外に、自分という存在をアピールしながら、自分の思いを吐き出していました。

嫌だった。この場に来てまで、争っている自分が嫌で、「私はそんな風には思っていない」と、頭で心に感じた思いをねじ伏せようと、隠そうとしました。でも、残念ながらと言うか、幸せなことに、本当に幸せなことに、チャネリングをして頂く機会があり、心でも、頭でも、隠し通すことが出来なくなりました。全て見透かされていたことに、クソ、クソクソーと思ひながら、幸せで、笑いがこみ上げてきます。

田池先生が言つていた、「頭隠して尻隠さず」状態でした。でも、凄いことなんですね。私はずつとこの凄まじい思いを見ずに、どの時代も生きてきました。それが、肉基準の愚かな生き方だということもわからず、心の敏感さを、己を表す為に使つてきました。

心に感じたものを、自分の中に返していくばよかつたのに、それをせず、誤魔化し、ねじ伏せ、我一番の思いを外にばら撒きました。「私は感じるものがある。私は悟つた。出来た」と思い、その奥の奥の、奥底のもがい

ている自分には気づかず、人々に感じたものを伝え、自分も人も惑わせていました。それが、どれほど愚かなことか。そんなことに気づかず、今世も同じ過ちを繰り返しそうになる所でした。

「今世はもうそんなことを繰り返さないで欲しい」、だから、チャネリンがあつたと感じています。今まで、真実をひた隠しにして、葬った、自分の心の声を聞く機会を頂き、本当にありがとうございました。

もう一步進んだら、どんどん見えてくる世界がある。それが意識の転回に進む道。真実に繋がるたつた一つの道だと思いました。

そして、第一回樋原セミナー終了後、上記の自分を教訓に、自宅に帰り、『意識の転回』と『意識の流れ』の本を読み返し、日々の瞑想に取り組みました。それと同時に、実験も行いました。それは、講話中にあつた「私は結果を大事にします」と言つた先生の言葉が印象に残つたからです。

その実験とは、セミナーに参加出来るとわかつた時から強く出てきた、子供の体中に出来た湿疹に、「反転。愛」を思いながら、触れていくというものでした。

セミナー前にも、反転、愛を思いながら、薬を塗つたり、体を搔いてあげたりしましたが、出てくる思いは「早く治れ」というものでした。そして、その思いは、子供の体全体に広がり、ステロイドという薬を使うほど、悪化させてしましました。ステロイドは、副作用が出る薬の為、使用できない期間があり、その間に、せっかく治まつた湿疹が、使用前以上にぶり返すという繰り返しで、その現象が私には恐怖でした。

しかし、セミナー後から、子供の湿疹に対する思いが変わつていきました。あれ程恐怖で、憎かつた湿疹が、その現象を通して、子供の皮膚に触れるたび、愛を思えるという喜びに変わつていったのです。子供の湿疹から流れれる思いも、愛でした。すると、症状が落ち着き、完治までとはいかないまでも、ステロイドは使用しなくても良い状態になりました。

そして、二回目の樋原セミナーの日が近づいてきた頃、長男が熱を出しました。その後、長女も発熱し、こんな状況下では、子供と離れて参加す

るセミナーは、行きづらくなるという思いが出ましたが、何でも心を見るきっかけだと思える今に、不安はありませんでした。おかげと、すぐに解熱し、子供達も自分の体調もセミナーに向けて、備えているような、本当にいい環境の中、セミナーを迎えることが出来ました。全ては予定通り。そんな強い思いを感じました。

一回目のセミナーは、己を表す場所にしてしまいましたが、それを教訓に、迎えた二回目のセミナーは、外に向く思いを、中に中に返すことに集中しました。すると、大噴出をしている時、固まりながら、叫ぼうにも叫べない。這い上がろうとするけど、凄い重圧で押さえつけられる。今までにない苦しさを感じました。これが、他力を掴んだ私なんだと思いました。そして、田池留吉、反転と思つた時、一気に体が楽になり、息が出来るようになります。苦しみを確認してからの反転は、とても嬉しかつたです。肉がないと出来ない作業でした。私はそこで、やつと、私は私に伝えたいと思いました。もがき苦しむ私を放つて、己を表している暇はない。全精力をかけて、自分の心に向き合う。そして、田池留吉に心の針を向け、愛に帰る作業をしていこうと思いました。今世、肉を持つて、初めて真実の道が心に見えて来ました。それは、凄い手ごたえです。

セミナーの最後、「もし自分が過去世と同じ過ちを犯しそうになつたら、この田池留吉の指示示す方向以外に傾き始めたら、どうすればいいか」と自分に問うてみました。答えはすぐに返つてきました。

「全精力をかけて、あなたに現象を通して、自分は間違つていますとメッセージを送ります」と。それは、「もう過去と同じ過ちは繰り返さないで下さい」という、最高の愛のメッセージです。

「必ず、真実の道を歩んで欲しい。自分が愛だということに目覚めて欲しい。そして、今世の肉はその真実を、死後の自分、来世の自分と繋ぎ、次元移行を果たして欲しい。それが、私の生まれてきた目的でした」と伝わつてきました。だから、今世の肉は、目的を達成し、肉の時間を終えていきたい。ただただ素直に、田池留吉を呼んでいきたいんです。

いつの時代も呼べなかつた。肉が本物とする土台では、他力の思いがべつ

たりで、呼べませんでした。それを今世、少しづつ、そして一気に外していくというか、お母さんの温もりに帰していかないといけません。見ないといけない思いは山積みですが、必ず今世の目標はクリアして、来世の自分へと繋いで行きます。

本当に無くてはならないセミナーでした。こういう機会を与えて下さり、田池先生、塩川さん、UTAブック・スタッフのみなさん、本当にありがとうございました。そして、セミナー参加のために、子守を快く引き受けてくれた家族や、子供達にも感謝でいっぱいです。

ありがとうございました。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、あなたは確かに自分のエネルギーを感じ、それを自分で包んでいこうとしていくこの学びの道筋に沿っていると思います。しかしあなたの中には沢山の沢山の神を求めてきた思いがあります。はいそうです、あなたの中に己偉い思いがあります。私はこんなに感じている、出来ている、私はわかつてきている。ああ、それはあなたを狂わせていくものです。もつともつと自分をしっかりと見つめていくください。心の中の闇はすごいです。すごいです。ほんのちよつぴり見た、感じただけで、あなたが出来ているというのは違っているんです。今ここで申し上げます。あなたの進んでいく道は、そう、その通りだと思います。だから、だからこそ言います。もう少し、もう少し謙虚に自分を見つめてください。出来ている、感じている、わかつてきているではあなたの歩みは進みません。

愛に目覚めるために

なぜ生まれてきたか。それは愛に目覚めるため。宗教家、聖人君子、宗教団体の指導者、みんな、それを知らない。誰一人として知らない。例えば、イエスもブツタも知らない。日本で言うと、親鸞、法然、道元、池田大作、みんな知らない。これが現実。

知らない人が、一応はそういうことを目処に生まれてきたけれど、生まれてきたら、その人の心癖で宗教指導者になつたり、学者になつたり、色々して結局は元の状態に帰る。そういう輪廻を繰り返してきた。イエスも、釈迦も地獄の底に固まつてしまつていてる。

死んだら暫くの間は肉の思いがあるから、会話は出来るけれど、だんだん死んだということが分かつてくる。例えば、自分の子供や夫を呼んでも、返事がない。自分が信じた神や仏、宗教指導者の名前を呼んでも誰も助けて来ない。そうすると、結局、自分が一人だということが分かつてくる。死んでしまつて自分は一人きり。

そうすると、自分が使つた心が圧しかかつてくる。人を呪つたり、恨んだり、威張つたり、見下げたりした思いが重しになつて、息をするのも辛い。そういう状態になる。それが人間の死んだ後の実体。

みんな知らないから、世界の平和、人々の幸せのためとかやつていてるけど、現実はそういうもの。もつと簡単に言えば、この地球上において戦争はなくならない。みんな一生懸命に平和を求めてやつてているけれど、やつぱり戦争をする。特に中東というところは戦争が常に巻き起こるところ。私は三十年前に中東に平和は来ないと言つてきた。それは、皆さんのが神様を持つている。これが火種。

神も仏もいない。いないものを、あるもののように言つて、色々な教えを伝えて、平和や人を助けようと言つてはいる。ひとつ例を取り上げると、この前の勉強の時、親鸞聖人を口に出したら、色々な人が親鸞の意識を寄せてきた。色々あるけれど、一番正しいチャネリングの受け方は、親鸞と

いうのは、わかりやすく言うと、日本でいうと東京大学の法学部を優秀な成績で出た人。当時は比叡山延暦寺で、日本国中から優秀なお坊さんが来て修行をする。昔のお坊さんは学徒、学僧だった。今は職業的にやつているが、そこで親鸞は法然聖人から阿弥陀の教えを受け、阿弥陀仏という実際いないものを学び伝え、たくさんのかかしんでいる人や戦争で悩んでいる人を助けようとした。



それだけ聞くといい人。今で言う、東大法学部を出たような人が、一生懸命勉強し、貧しい人、困っている人、苦しんでいる人を助けようとやつた。これだけ見ると立派な人のように見えるけれど、これが間違つてゐる。

親鸞聖人は死んだら、地獄の底の底のずっと底でうずくまつてゐる。「困っている人を助ける」とか、「平和のために」とやつてゐる人が、たくさんいるけれど、ほとんど間違つてゐる。間違いだから、良いことをしてゐる筈なのに、そこにまた戦争が起つてくる。それが現実。小さく言えば家庭内、大きければ国と国。あるいは、同じ宗教でも宗派と宗派で争つてゐる。

とにかく人間は戦い、競う。競いの中には人種差別、生まれ育ちが良いとか悪いとか。男と女、色が白いか、黒いか、黄色いか……全部間違つてゐる。この勉強をすれば、そういうことがわかつてくる。そういうことはどうでもいいこと。かといって、それは無視できない。肉の世界のしきたり、風習、慣習、法律、ある程度はこれに制約される。中には道徳、倫理、修行と自分を律している人がいる。宗教は特に人を律する。これも間違い。間違つたことをやつていて幸せになりたい、豊かな生活をしたいとやつてゐるけれど、根本が間違つてゐる。

もつと言うと、自分自身を知らない。自分自身とは何かといふと、自分自身は「愛」。生まれてきて、自分は「愛」だということに目覚めるために、お母さんから肉体をいただいた。だから、お母さんから肉体をいただくということは、それは大変なこと。

ところが現実は、自分のお母さんを見下げたり、馬鹿にしたり、いろいろしてゐる。これも間違つてゐる。そんな人は幸せになるはずがない。といって、親孝行しなさいと言つてゐるのではない。親孝行しているからといって、では、お母さんに本当にありがとう、お母さんに優しい思いで接しているかといふと、違う。

道徳、倫理、慣習、伝統、法律を無視はできない。法律からはみ出たら、法によつて罰せられる。それは仕方がない。程々にすればいい。何が大事かといふと、「愛」に目覚めるといふことが大事。では「愛」とは何かといふことは、日本の辞典には正しい解答が載つてない。なぜ載つてないかといふと、誰も「愛」ということを知らないから。哲学的、宗教的、ある

いは、男と女、親子、国を愛する、人類愛とかは説明してあるけれど、そんなものではない。それは本当の愛なのかと問いたい。

本当の「愛」とは何かというと、自分の中にある。外にあるものは全部間違いと思つたらいい。神様を外に求めたら、外に神様はいない。イエスもエホバという神を外に求め、信じた。聖書にはたくさんの中矛盾したことが書いてある。それは外に求めたから。だからイエスのしていることは矛盾だらけ。最後に十字架に架けられて殺されてしまった。それを「みんなの罪を背負つて」とうまいこと書いてあるけれど、これも違う。

どうして、それがわかるのかというと、イエスに訊けばわかる。本を読んで調べても、本当のことは書いていない。イエスの意識に訊く。肉のことはあまり分からぬ。今の状態についてどう思つてているかと訊くと、答えてくる。

普通が良くて、普通の人と違うのが悪いのではない。普通のほうが間違つていて、それからちょっと外れているほうが正しい。昔、話したように、人間は肉だと思っている。形あるものが実在していると思つていて。それは影。人間の本当の姿は消えてなくならない。なくなるものと、なくならないものがある。なくなるものは目で見え、鼻で匂えて、口で味わえて、耳で聞こえ、触つたら感触がある。それらはやがて消えていく。やがて消えてなくなるものと、なくならないものとがある。私は、なくならないものを大事にしていき、それを信じていく。

どつちが正しいかと言ふと、なくならないもの、意識を信じていく。人間の基本は「愛」。「愛」はひとつ。「愛」が十個あるわけではない。

「私は愛、あなたも愛、私はあなた、あなたは私、一つ。」

この世には「愛」しか存在しない。ただそれを信じられない人、それを捨てた人は別個に存在するように見える。しかし、それもやがて「愛」に帰りたいという一つの輪廻の中にある。その人は肉を自分だと思つていてから、なかなか「愛」に歸つてこない、「愛」を理解しようとしない、「愛」がわからない。そこに病気や苦しみ戦争が起つてくる。だから「愛」に帰りましょと言つてはいる。

勉強し、自分が「愛」だと信じられるようになつてくると色々なことが

変わつてくる。「愛」は最高のエネルギー、パワー。普通の人は宇宙のパワー や、バシャールや宗教を求めるが、それらはブラック。ブラックを求めていたら、自分もブラックだから当然地獄に墮ちていく。それを肉を持つている間に、自分でわからなければいけない。

そこで今日の勉強は、自分で「愛」だとわかる勉強。ここで、超能力、霊能力を身に付けるなどは小さいこと。肉でいうと東大に行くことは小さいこと。小さなことを大きく捉えることが小さい。イエスでもお釈迦様でも、本当の自分を知らないから、小さくなってしまっている。皆、それらを信じているから小さくなっている。小さい者の集まりが宗教。

人間は本来、無限大に大きい存在。私は肉の私を私と思つていなし。もし、肉の私が私だと思っていると、小さくなってしまう。その人のところに集まつて、勉強していると、みんな小さくなつて、みんな地獄にいく。勉強するときは注意しなければいけない。その先生や、宗教指導者がどこへ心を向けているか。みんな、愛でなく、ブラックに向いている人に心を向けている。言つてることは立派なことを言つているが。

だから、この勉強の内容をストレートに勉強していない人に言つと、「あんたのしていることはおかしい」と言われる。それは昔は、地球の周りを太陽が回つていると考えられていて、今は太陽の周りを地球が回つている。地球の周りを太陽が回つているというのは、地球というものを、そこに住んでいる自分が中心となつていてる考え方。その上にたつて、神様とか仏様とか人類愛とか、愛とかを作り出しているから全部間違つていて。

そういう人達のところで、地球の周りを太陽が回つているのではなくて、太陽の周りを地球が回つていると言うと、その人はおかしい、狂つていると言われる。この学びも同じ。肉が中心、肉を基盤として考えている世の中において、いや「意識が中心だ」と言つと、おかしいと言われる。だから私は世間に向かつて言わない。

かえつて混乱する。それよりか自分が変わつて、愛に目覚めていけば、自分のしゃべること、することが少しづつ変わつてきて相手に波動として伝わつていく。そうしたら、「この頃、あの人優しくなつたなあ」とか、不思議な目で見るようになる。「何か勉強してるの、何かやつてているの」と訊

かれたら、「こんなことやつてます」とそれでいい。「どんなこと」とくると、この程度と、だんだんと話しするくらいでなかつたらいけない。

今日ここですることは愛に目覚める。愛に目覚めないようにしているものがある。邪魔をしている壁がある。それが自分が作ったマイナスの思い。だから、その壁を崩していかなければいけない。壁を崩していつたらもともとあるんだから、簡単にわかる。わからないようにしているのは自分。世間で「良い人や」と言われるような人は、みんな壁を作っている。だから信じられない。私の言うことが信じられない。その壁で、みんな良いとか悪いとか言つて、有名になつたり、表彰されたり、歴史に名を残したりしている。まず自分が、どんな壁を作つているかを知らなければいけない。その壁を打ち破るには何が大事かというと、お母さんの温もりが大事。温もりのわからない人はその壁を打ち破ることが出来ない。

と言うことは、本当の自分は「愛」だということに目覚めない。本当の姿、実相がわからない。何にもわからんと自分で賢いとか、立派とか勝手に言つてているだけであつて、死んだら答えが出る。全部、地獄の底へ堕ちていく。これは間違いない。

自分で勉強したら分かりますよ。そういうことがみんなわからない。「天国がありますよ」とかデタラメですよ。

そこで話をもとに戻しましょう。母親の温もりを知る必要がある。どうしたらいいか。まずはお母さんにしてもらわなかつたことを思いだして、ノートに書く。それから、お母さんにしてもらわなかつたこと、お母さんにしてあげたこと、この三つをどんどん書く。そうすると、だんだん思いだしてくる。こんなことお母さんにしてもらつた。例えば、私の母親だつたら、私が風邪をひくと、素うどんを食べさせてくれて、三角形の紙に入つた頓服薬とんぶくやくを飲ませてくれた。そして、いっぱい着せられて寝ると汗が沢山出て、翌朝、元気になつて学校に行く。私は学校を中学・高校一日休んだだけ。小学一年の時、母親の生まれの里に行くといつうので一緒に連れて行つた。あとは全然休まない。何度もその間、風邪ひいても、頓服と素うどんで治してきた。それを書くと、母親は、こんな時にこんなことしてくれたなと思ひだす。これ大事ですね。

そうしたら、今度は自分が母親に對して何をしてあげたか。「学校の成績が良かつたから親孝行」とかは、それは押し付けですね。お母さんの肩をトントン叩いただろうかとか、お母さんが腰が痛い時、腰を揉んだだろうかとか、あるいは、お母さんのお使いに自分が代わりに行つただろうかとか、そんなことを思いだしてきます。あるいは、しなかつたこと、してくれなかつたことを思いだしていきます。それらを全部書く。

その次に、ゼロ歳の瞑想。人間は沢山の間違いを過去世でしてきました。それでもお母さんのお腹の中に十月十日^{とつきとおか}いて、生まれてしばらくの間は、ゼロ歳でも始めの頃、お母さんの温もりを覚えている。だんだん大きくなつたら忘れていく。ほとんど皆さんは自分一人で偉くなつた、何だこのお母さん、教養も知性もないな。このお母さんブスやなとか。平気なことをやつている。お父さんよりも、お母さんのことばろかすに言う。

こんな人はダメ。人間失格。ゼロ歳の瞑想をすると、だんだんと色々なことを思いだすというか、お母さんの温もりがフウーッと伝わつてくる。これから、その人の人生が始まる。それまでは全部偽物の人生。

ゼロ歳の瞑想、無心でお母さんに全てを任せて、信じて、お母さんのおっぱいをのんで幸せだった時期がある。必ずある。それをまず思い出す。その次は、「愛」に心を向ける。「愛」が書いてある冊子とか色々あります。その「愛」を見る。見ると「愛」を思う。これは単なる「愛」ではない。それか、もう一つは「田池留吉」を思う。肉の田池留吉ではなく、皆さんの中にある「田池留吉」を思う。あなたの中にある「愛」を思うかどちらか。それは温もり。お母さんの温もりがわかつていれば、あなたの中から闇の叫び声が聞こえてくる。「田池、くそつたれ、死ね、殺してやる」とか、何か恐ろしいのが出てくるけれども、その言葉はそうだけども、本当は、その闇は自分の存在を知つて欲しい。その闇を認めないんではなくて、どんな闇でもいい、受け入れてあげる。お母さんの温もりがわかつてくれば、出来ます。田池留吉に心を向けていたら出来ます。他の神様仏様に向いているうちはできません。良いものしか抱きません。悪いのは排除し、押し込めます。良いのも悪いのも包み込んでいくと、喜びに変わっていく。闇は苦しみ悲しみですよ。それが喜びに変わる。

それを言葉で言うと「反転」。そうするとコロツと変わる。その体験をして欲しい。この体験を一つ一つ積んでいけばいい。最初は小さな闇を包んであげていると、だんだん出てくる闇が大きくなつていく。お相撲さんでいうと、ふんどし担ぎから、前頭、十五枚目、十枚目、一枚目、小結、関脇、大関、横綱、大横綱と、どんどんどんどん出てくる。そうすると、自分の心がどんどんどんどん広くなつていく。そうなると、「これが愛だな」と本当に自分で信じられるようになる。広くて、大きくて、そうすることが楽しくなつてくる。後は自分でやつていけばわかる。

イエスがどんな存在か、呼べばいい。イエスは正直に語つてくる。聖書に書いてあることが嘘だともわかる。自分で体験すること。実験し、体験し、実証する。自分で証明する。そうしたら自分で信じられる。ただし、これは人にしやべつても、にわかには理解してもらえない。それをしやべつてしまふと「おかしい」とか言われる。それが今の世の中。

それを知つた上で、今の世の中で、みんなと調和しながら楽しくしていけばいい。しかし、この一線だけは通さなければいけない。心棒、これは持たなければいけない。僕はありますよ。それは自分の息子であろうと誰であろうと譲りません。これが真実だから。

瞑想に入る。

お母さんに抱かれておっぱいを吸つてる自分を思いだす瞑想。

ゼロ歳の瞑想。しばらくしたら、「お母さん」と三回ほど声を出してもいいし、心の中でもいいから呼ぶ瞑想。

ゼロ歳の瞑想。おっぱいを吸つて入つて、「お母さん」と三回ほど呼びますが、そのお母さんというのは、自分を、今のあなたを産んでくれたお母さんを呼ぶのと同時に、前の前の前の過去世で産んでくれたお母さんに向けて、「お母さん」と呼ぶような気持ちで呼んでみる。ここまでが第一段階。

第二段階。

大噴出、富士山がありまして、下から真上に向かつて噴火します。どん

どんどん噴火する。噴火というのは自分が作った壁が噴き出してくる。どんどん自分の心に響いてくる。それは苦しい、頭がおかしくなるのではないか、狂うのではないか、色々な思いが出てきます。絶対に狂いません。ここでは狂いません。どんどん出していく。人のことを気にせず、どんどん出して、「いこらで」というタイミングがあります。その時に「田池留吉」の方に心を向けて、あるいは「愛」の方に心を向けて「反転」とやってください。そして、どういう風になるかという体験をしてください。

これが第二段階の勉強。

最初は田池留吉、あなたの中にいる田池留吉です。まだしつかりわかつてないかもしませんが、田池留吉、または愛に心を向けていくと噴出が始まりますから、ある段階が来て、「ここだな」と思つたらもう一度、「田池留吉」か「愛」の方に心を向けて、「反転」とやってください。どういう風に自分の心の中で変化があるか、体験してください。そこで信じていくものは信じていく。

先程の繰り返しになりますが、初めはゼロ歳の瞑想。私の言葉に捉われないで、ゼロ歳の瞑想を始めてください。次はお母さんの瞑想。今世産んでくれたお母さんだけでなく、過去世のときのお母さんも含めて、三回「お母さん」と呼んでください。お母さんを呼ぶ。これだけはしっかりとやってください。

次は今世のお母さん、あるいは過去世のお母さんを含めて、今度は声を出して「お母さん」と二回呼んでください。

ゼロ歳の瞑想を始めてください。

それでは次は大噴出。大噴出というのは自分の作つてきたマイナスの思い、エネルギーが噴き出す。そして、どんどん噴き出していきます。次にある段階までくれば、これは銘々によつて違いますが、「反転」と発します。反転というのは愛のエネルギー、プラスのエネルギー。マイナスをプラスに変えていきます。マイナスをプラスに変えるということは崩壊ということ。総崩壊。マイナスが崩壊していく。そして、大噴出、総崩壊となる。

「田池留吉」に心を向ける。そして大噴出をやります。次は「田池留吉」に向けて反転とやります。その反転を二回やります。「田池留吉」に向けると噴出が始まります。そして反転とやります。そうするとマイナスがプラスに変わって少し静かになります。そして、また「田池留吉」に心を向けると、また噴出が始まります。またある段階がきたら、また「田池留吉」に心を向けて「反転」と二回やります。これはあまり長くやると疲れますので、あまりいっぺんに沢山することはないと思いますから、一回につき、二回または三回でやめたらいいと思います。そして休憩するなり、日を改めてまたやるなどしていただいたらいいと思います。

反転ということについて、夕食の時も「反転」として食べるなどして試してみてください。そうすると何か感じると思います。だんだんと反転が楽しくなる。反転すると燃費も良くなります。そういうことを色々自分でやつて、反転、反転の毎日を過ごしていただいたら良いと思います。

反転の前に必ず「田池留吉」を思つて「反転」とするように。皆さん、反転やつている人は、ブラックの反転をやつている。反転は、プラスといふのは、「田池留吉」に心を向けて「反転」とやるとプラスです。マイナスをプラスに変える。あるいは、噴出したものが崩壊していく。必ず「田池留吉」を思うとか、「田池留吉」に心を向けて反転。「田池留吉」に向けて瞑想。こう風にやつていくと、だんだん凄いなという意味が分かつてきます。

そういう凄さということを体験することは良いことですね。広い、無限大に大きいとか、優しさとか、温もりなどが、とてつもなく大きいということを自分で感じていかれたら、ああ、私自身がそうなんだ。そんな自分が、なぜ、こんなちっぽけな神様、仏様とか、あの人、この人と崇拜したり、拝んだりしてきたのかということにも気づいていきます。

そうしたら、そこで反省を重ねていくとか、「反転」「反転」していつて、どんどん、そこから「心」を本来の「愛」に戻していくということをされたら、毎日が楽しいんじゃないかと思います。

私は本当は愛なんですか？

林真由美

私は本当は愛なんですか？
本当に愛なんですか？

自分に自問自答してみても まだ答えは返ってきません。

お母さんの温もりも まだわからない私です。

ただ、私の今世はこの学びに 出会うために 生まれてきたことは確か
なようです。

それだけは自分の中に確信のようなものがあります。

学びに繋がるまでには 数々の不思議な流れがありました。

学ぶために今の環境と今の肉の母がいることも そうだと思います。

学びに集うことと、母との同居は同時進行でスタートしました。

同居直後から 母に出る思いは 今までにないどうしようもなく暗く凄
まじいものでした。それは無条件に出てくるものだと 最近では感じます。
思わず母を避けてしまくらいです。反転しても次から次へとでてきます。
だからポイントは「母」にあると思つてきました。

「母の反省」をしなさい。「母の温もり」が自分を救うのですよと自分が
自分に繰り返し伝えてくれてきました。今はこの思いに答えるしかない、
答えていきたい、と思つてます。

肉の幸せを追い求めてきたけれど、それも いつもどこかに恐怖が付き
まとつっていました。

恨み、辛み、嫉妬、妬みはもちろんの事、肉の小さな幸せを感じた時でさえ、
すぐ後ろに苦しみが控えているような感覚が常にありました。

肉の幸せを維持するためには……もつと幸せになるためには……もがき
続けなければなりません。いつまでこんな繰り返しが続くのか。肉の幸せ
を追い求めるたびに 苦しさが付きまとつていたことに気が付きました。
そのために あらゆる他力に心が向きました。とにかく救いのみを求め、
手探りで手当たり次第に 何かを探し求めてきました。意識の奥深いところ



まではわかりませんが、ただ、どの宗教も 教えや説いていること、内容には 興味はなく、とにかく自分を守ってくれる「何か」を探し続けてきよう思います。でも「何かがおかしい」という思いも どこか心の隅の方にあつたような気もしています。

ただ「幸せになりたい」この思いが 欲の思いで自分を苦しめている冷たい思いだつたなんて、知る由もありませんでした。

意識の土台から見ると、今までのすべての出来事の辻褷が合ってきました。今までの疑問が次々と解けて、納得です。

そして今、形の世界で行われていること、すべての辻褷が合っていないことに気づきます。肉の基準で素晴らしく見えれば見えるほど 「欲」と「我一番」の偽善の世界が見えてきます。

そう分かっていても やはり今、目の前に見える肉の方に心が向きがちになります。

「自己選択、自己責任。どちらを選ぶかは自分だけれど 田池留吉を信じておればいいんです」の言葉が、心に響きます。

「自分を救うのは 自分です。」今は、少しならわかるような気がします。他力の思いであらゆるものをつけみ、あらゆる人を掴んできました。この学びにおいてもそうでした。

「自分一人の学びです。」結局はそうなのかもしません。

学びに出会ったとき、「すべてが間違っています。」の言葉に「間違いでよかつた。」という妙な安堵感を感じたのを覚えています。

権原でのセミナーに参加させていただくことで、今まで封印していた思いの一部に気づかせていただきました。

自分を信じて、「焦らず 弛まず 真摯な思いで」やつてきましたつもりでした。大噴出、総崩壊の今、自分自身を崩したいと思う反面、崩すことにも恐怖している自分がいることに気が付きました。

恐怖。恐怖。恐怖。すべてが恐怖でした。

「自分を信じる」の意味が違っていました。

温もりの中にある自分を信じて 自分を崩していきます。そのため 「母の温もり」が感じられる自分になります。

田池留吉を信じていきます。

このような機会を与えていただき田池先生はじめ塩川さん、スタッフの皆様に感謝しかありません。

本当にありがとうございました。

そして自分自身にも ありがとう。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

お母さん苦しかった。うわ、苦しかった。母親の反省が進みません。母親の温もりを感じていかなければ私は狂つてしまふと私は私に言つてきたのに、ああお母さんを受け入れられない。お母さん、私はお母さん大つ嫌いです。あんな母親大つ嫌い。あんな母親大つ嫌い。大つ嫌い。ああ、母を呼べない。ああ、私は母を呼べない。ああ、苦しい苦しい苦しいです。はいこの心、他力の神に向いています。しかし私の中に、お母さんを呼んでごらんというやさしい思いも感じます。この思いを信じてまいります。

愛を思う、田池留吉を思う

本田せつ子

草書体の愛をいただいてから、私の中で、大きな変化がありました。大きな闇がとどめもなく噴出してくる、草書体の愛を見つめる度に、どんどん凄まじい闇が飛び出してくる。「田池死ね、消え失せろ、お前に用はない、邪魔だ」。そんな闇と向かい合いながら、何故、どうして、この思いはいつまでも消えないのだろうと、もんもんとしていました。

今思えばその闇を嫌っていたのです、早く消えてなくなれ、そうでなければ私はやり直していけない、新しく生きていくことはできない、だから闇そのものが私にとつては邪魔で消えて欲しい存在でした。

長い長い心の歴史の中で、培ってきた田池留吉への反逆の思い、全勢力を傾けて田池打倒を打ち立ててきた私が、おいそれとそれを愛に変えていくのは至難の業で、躊躇度に、「田池、憎し」の思いは大きくなつていきました。草書体の愛は、私の思いとは裏腹に、どんどん闇を引き出してくれました。

いやというほど、汚い腐りきつた心も浮き彫りにしてくれました。草書体の愛を見る、噴出する闇、その繰り返しの中で、いつたい、いつまで続くのだろうと暗澹たる思いにもなりました。



でもそれが一番自分に冷たい心だと気づかせていただきました。

他力の延長で学ぶ心があるから、自分の闇と向き合う中でも、あんなつて欲しい、こうなつて欲しいと欲いっぱいでした。闇も出しつぱなし、欲の思いで反転はできません。反転が愛の反転ではなく、切り捨てる思いで反転の号令をかけている自分に気づき、どこまでも冷たい自分だと思いました。

一回目の愛のセミナーから二回目のセミナーまでの期間、卑弥呼やS、L、などに思いを向ける時間をもちました。宗教を説き、広め、人の上に立ち導いたとされる人々の現状を心で体験し、その世界を感じる度に、自分の心の見かたが甘いことに気づかされました。自分の死後の世界もあまりに安易に簡単に上つ面をさつとなぞつただけなのだと思い知らされました。それはあまりにも自分を知らない、その一言につきると感じました。

私は何のために学んでいるのだろう、本当に自分の為に学んできたのか、見せかけの学び、自分を評価してもらうための学び、己を表すための学び、それは自分を変えていくどころか、さらにブラックの世界を広げ、自分を地獄の底に突き落とすものでした。時代は変わつても、使つている心は一緒、心癖は少しも変わらない、それで本当にいいのだろうか。今こそ自分を変えていくラストチャンスなのだと、その思いが湧きあがつてきました。

自分の為に学ぶ、それこそが、田池留吉に心を向けさせての大噴出、総崩壊、磁場反転、でした。愛に目覚める。自分は愛であつたと、自分の中の愛に気付く、その学びでした。

闇の噴出、磁場、反転を繰り返しながら、肉の思いを超えたところで働くエネルギーを少しずつ感じ始めました。優しい温もり、包み込む思い、それが少しずつ芽生えてくるのを感じる時、ただただ嬉しいと思いました。肉の思いですべてを遮断していた自分を感じました。

私は愛ですと自分に語りかけても、散々反逆し続けた私の心は「何が愛だ、血迷うな、お前が愛などと自分でも信じられないだろう、」と反発してきました。

「田池留吉が、心に存在する、思いを内に向けるだと何をほざくか」と桐喝どうかつしてきました。自分の思いを見つめれば、確かに私が愛だとはなかなか思えない、こんな私が愛とはとても信じられないと絶望もしました。

それでもこれが現実の私だと思うと、何かほつとして、この闇達とことことつきあって共に歩んでいこう、真実の道を見極めていこうと思えました。

愛、本当に長い年月、愛を間違つて捉えてきました。偽ものの愛を愛と錯覚し、宗教の世界にも、日常の生活にも、偽物の愛をはびこらせてきました。私の思つていた愛は真実の愛とは程遠いものでした。

偽善の愛、見せかけの愛、自分を表すための愛、それがいかに苦しいか、そして凄まじいブラックの波動を流すのか、はつきりと伝わってきました。「田池留吉を思う、ひたすら思う、本当に心から呼べたらそれで十分なんです、でも呼べないあなたがいるはずです。他力で凝り固まつた己偉い自分をしつかりと見つめていきましょう」、心からそう呼びかけがあります。

「はい、素直に無心に田池留吉を呼び、思える自分を育てていきます。」今、はつきりと自分の中の思いを感じ、嬉しいです。

草書体の愛は、戸惑いうろうろしている状態の私に、一本の道筋を示してくれました。手取り足取り懇切丁寧に進むべき道を示してくれました。

ただひたすら田池留吉を思う、思う、思えることがどんなに幸せなのか、そして愛に目覚めることが、今世生まれてきた目的であることに気づかせてくれました。

草書体の愛は田池留吉の愛そのもの、思うだけで幸せです。

ありがとうございます。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、私はチャネラーとして活躍してきたつもりです。田池留吉の意識も、アルバートに向ける意識も、波動も、それなりに感じてきました。もちろん、今も感じていると私は思っています。私のこの口から出す言葉、私のこの心から流れる波動、その波動を、あなたは真っ向から反対するんですね。私は真っ黒だと、私は真っ黒だと、何に私が気付いていけばいいのか、私は前に出させていただきました。

そうです、私はやはり田池留吉、お前を殺してやる。この心はとても強いです。あー、申し訳ございません。この学びをしながら、私は、田池留吉に逆らつてきました。逆らつて逆らつて、第一の危機とやらを引き起こ

しました。私は、その心をまだ引きずっとあります。この根っこは、とても深いです。自分なりに反省もしてきました。心も見てきました。その心が、まだまだしつかりと根付いています。この現実を、私は今回のセミナーで受け止めさせていただきました。

しかし、私はやるしかないんです。今世生まれて、この学びに集い、田池留吉に出会い、私にはこの道しか残されていない。それが私にたつた一つのこれからこれから生きる道だと、私を導いていくものだと、はい、その思いでいっぱいです。

間違つてきたけれど、はい、やり直せることを信じて信じて信じてやってまいります。

田池先生から

今、本田さんのね、チャネリングをして頂きましたが、まあご存知ですね、古い方はね。懐かしい言葉ですね、第一の危機とかね。その時の使った思ひは、まだ厳然として残つておりますね。確かに反省はなさつた。しかし、その根っこにあるものが、まだありますからね。それをしつかりと確認して、それを包み込んで、それを反転、「愛」に帰す。この作業が残つております。とにかくこれを乗り越えん限りは前に進めない。山は登つていけないと、まだ低いところで頑張つていると、そういうだけであります。

ちょっと現象をやつてみましょう。本田さん、軽く目を閉じて下さい。その第一の危機の時使つた心を今見て下さい、どうぞ。

塩川香世さんから

今、本田せつ子さんという一人の女性の名前を通して「第一の危機」のエネルギーを感じていただきました。実はこの中には、本田せつ子さん以外にも、たくさんたくさん、その危機に関わってきた人達がいるはずです。しつかりと心を見て反省、自分の軌道修正をして下さい。それでないと田池留吉と共に歩んでいくことは不可能なんです。私はそのことを感じます。しっかりと、その時に携わってきた人達、自分の心を見ていて下さい。本田せつ子さん一人ではないはずです。

愛のセミナーに参加して

水島美恵子

本当の「愛」を何一つ知ることがなかつた何億年という時を経て、今世この学びに繋がつて「愛」を教えていただきました。とはいへ、知識で知つただけで、本当のところは誰も分かつていないと講話の中につつて、確かにこれまでの私の「愛」は他力のべつたりとした真っ黒なエネルギー、それをきれいに繕つて「私は愛です」としてきたことが、「愛」に向けての瞑想で「愛はどこにあるんじやー！」愛なんてどこにもないじやないかー！愛をよこせー！この連呼の後に、「くそー愛が何じやー！」くそつたれー!!」という噴出で納得しました。



愛の草書を毎日見て触れて小冊子の愛に手を置いて母へ産んでいただいたことの感謝、肉体細胞の支えがあつての今を感謝するところからお勉強の始まりとしていても、「愛」を心で知ることは難行、これから転生でわかるのだろうか、そう思いながらセミナーは進行していきました。いくつもの班に分かれて噴出を繰り返しましたが座席に戻るや否やまた噴出です。そのとき今まで以上に愛のセミナーというこの場に肉持つて、噴出を盛大にさせていただいているこの時間と空間、他でもない千載一隅のチャンス、このことが急にクローズアップしました。

自分の班になつて、闇が噴出する中、「千載一遇のチャンスなんだよ、今しかないんだよ、もう二度とこんな機会はないんだよ、安らぎの中に帰ろう、母なる宇宙に帰ろう、みんな一緒に帰りたい、帰ろう」と思つていると、この思いが一瞬自分でも驚くほどの雄たけびとなり、何度も何度も噴出が続きました。そして田池留吉を思つて反転を繰り返していると、心からお母さん間違つていました。ごめんなさいの思いがこれまでと違つて奥深い底から突き上げてきました。席に戻つてもその思いが続く中、なんとも言えないので安らぎを感じて、「愛」の優しさをほんの少し実感させていただいた思いがしました。

「愛」は喜び、温もり、すべてを生かすエネルギー、パワーと文言はあるけど、大噴出、総崩壊という実践を経る以外、出会える術はないと確認しました。母に抱かれていたあの何とも言えない温もりの中には「自分」という思いは何ひとつなかつた。「私は愛、あなたも愛、ひとつ」は究極の優しさ、いつか必ず出会うための今だと思いました。



自分を救えるのは優しさだけ

安田浩子

私の今世の肉は愛である自分に気付き、愛に目覚める為に自分で自分の書いたシナリオを演じてきました。しかし肉持った私は肉どっぷりの中に入り悪戦苦闘戦い続けてきました。すべてを肉で捉え我一番の世界で戦いのエネルギーを使い続け垂れ流してきたのです。私は意識、エネルギーです……そのあなたに目覚めて下さいと田池留吉が肉を持ち、私達の前に真実に帰る道を伝えてくれました。

学んでも学んでも肉が基盤であれば、すべてがマイナスでした。肉の思いは凄まじいエネルギーでした。己が肉の思いはそびえ立っていました。心を見れば、見るほど自分のまつ黒が迫ってきます。自分の中が崩れました。認めれば認める程に心の中がボロボロになつてきました。隠せない、誤魔化せない、そんな自分をどうしていいのか分からず、ただ、苦しいと叫び続けてきました。

自分を救えるのは優しさだけ……肉の私は優しさを探し、見つめてきま

した。自分を救うのは自分しかない、誰も救えない……私は優しさを心の中に伝えたかった。優しさは、私のそばに一杯ありました、自然があり動物がいました。その世界が私にとつて嬉しくて幸せでした、私は母にこんな幸せな世界を教えてもらつたんだ……心の地獄を救うために、やさしい自分に出会いなさいと沢山の動物を傍に置いて貰いました。

人間の皮をかぶつた化け物……その地獄を生きてきた私が、愛に帰る道を歩いていたのです。優しい母の思いの中で私は自分の心の世界を演じて來た、見てきた……やつと私が分つてきました。やつてもやつても分からなかつたはずです。自分の心からの凄まじいエネルギー出して出しまくつて気づいていく道しかなかつた。肉体はボロボロになつても、私は崩れてゆく……それが優しい私に戻ることでした。

自分の凄まじい己偉いエネルギーが、私を変えて行ける……やれる、私……偉いと思いました。肉であつた私をよくやつてきましたねと……私は優しいです。最初はただ苦しいだけだつたけれど自分のエネルギーを出せば出すほど楽になり自分が分つてきます。狂つたエネルギーを叫べば体の骨が砕けるような激痛です。それでもやります、やるしかない……やつてゆける、この力強い思いは母の心でした。

幸せです、本当にありがとうございます。大噴出、総崩壊、本当に幸せなお勉強をさせて頂き感謝です。ありがとうございました。

田池留吉しかありませんでした

柳澤清香

今回は、「愛、あなたは愛です」出版記念セミナーへ参加させていただき、本当にありがとうございました。二泊三日、二回にわたるセミナーは、自分の中の闇の大噴出・総崩壊のための瞑想につぐ瞑想を愛のエネルギーの中で行えるという、なんとも贅沢な時間でした。

一回目のセミナーの際、田池先生が「この部屋は愛です。隣の人とオーリングテストをしてごらん」と言われておこなったオーリングテストは、今までやつたどのときよりも比べ物にならないほど硬くて、ただ、この部屋にいるだけでこれほどなのか、と驚きでした。

草書体の愛を特別使わなくとも、愛の部屋の中で田池留吉へ心を向けると、最初のほうこそ中々出てきませんでしたが、奥のほうからつきあげてくる闇を何度も何度も確認することができました。瞑想の途中で「わたしは意識だ」と思うと、またすごいエネルギーがでて、また、それを包むよう、「反転」と思うと少しおさまり、また、闇があふれてきて、の繰り返しでした。出てくるたびにいつも同じではなく、祈る心・呪う心、過去に



つかつてきたさまざま其他力のエネルギーを感じました。それでも、まだ奥底に隠れている闇があることもまた感じました。

一回目のセミナーの瞑想のある回で、ふと職場のどうしても気に入らない同僚が浮かんできました。そちらへ心を向けると「うわあつ」と闇が出て、その相手へ出している思いは、気に入らないなんでものではない、斬つて斬つて斬りまくつて、自分の思い通りにならないものは消してやると、ものすごいエネルギーでした。その相手が瞑想中に出てきたのは一度だけでしたが、セミナーから帰つて、職場でその相手とあつたとき、今までとはまったく違ひ、心がものすごく軽くなつていて、今まであんなに嫌だったのはなんだつたのか、というほどでした。意識の世界はすごいです。大噴出の瞑想の中で、反転としていつたときこうも変わるんだと実感した出来事でした。

個人的には、メッセージや肉どつぶりな質問にこたえていただきました。頭では聞くべきではなかつたか、とか、あんな質問をしてしまつて……と思う心も出ましたが、それもすべて肉、そして「が偉いことのあらわれでした。よく先生はセミナーで「田池留吉をえらぶか、夫を（妻を）選ぶか」というお話をされて、今までわたしは当然田池留吉を選んでいる、と信じていました。いや、そう思ひたかったのだと思ひます。だから、その心を確認するところ、当然そんな気持ちで瞑想をしても瞑想できるわけもなく、その結果、さらに瞑想ができる状況を自分でつくりだしていただけでした。

今ある環境は、すべて自分がつくってきたもの、選んできたものでした。形を整えたい思ひがとても強いです。何年も前からそのようなメッセージをずっといただいていました。それでもなお、この肉の生活を守る思いいっぱいでした。田池留吉を選んでなどいなかつたこと、今回、はつきりとわからせていただきました。ああ、本当に馬鹿でした。恵まれた環境にありながら、それを自分の心を見ることに使つてこなかつた。自分に本当に申し訳なかつたです。

セミナーから帰つて、できるだけゆつたりと瞑想する時間を作るようにしています。そのときに感じた思ひは、「全部自分だった」というものでし

た。簡単なことでした。やれないと思つていたことも、そうではありますでした。全部、頭で勝手に決めつけていました。瞑想したら、一番邪魔していたのは自分の肉の思いだつたことを感じさせていただきました。こんなにシンプルなことだつたのに、瞑想することはこんなに嬉しいことだつたのに、それをないがしろにしていたのは仕事でも夫でも、子どもたちでもない、自分自身でした。そうでした、田池留吉しかありませんでした。ちっぽけなちっぽけなものを、ずっとぎゅっと握つていました。

お母さん、ごめんなさい、お母さん、ごめんなさい。ありがとうございます。ごめんなさい。間違つてきました。間違つてきました。今、とても心が軽いです。あんなに悩んで悩んで、自分を小さくしていました。自分の心を見ていく大きな大きなチャンスをいただけたこと、本当に感謝です。

田池留吉。愛、わたしは愛。あなたも愛、ひとつ。そちらのほうに心をむけ、瞑想を重ねていきます。何もわかつていらないわたしです。まだまだ隠していく大きな大きな闇があることを感じています。それでも、二回のセミナーをとおし、やはり愛はプラスのエネルギーである、そのものすごさを何度も感じさせていただきました。なんというか、もうありがとうしかありません。

最後に、田池先生、塩川香世さん、UTAブックさん、重ねてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

時間がない時間がないと、私は私に言い訳ばかりをしてきました。みんなそれぞれの環境があるのに、私一人だけがなんだかそんなそんな立場にあるような、そんな私を感じてきました。しかしそれが私の己偉いところでした。私が望んできたこの環境をもつともつとしつかりと自分に生かしていきたいと思います。かわいい子供がいます。そのエネルギーを感じています。私のエネルギーも感じます。お母さんのエネルギーも感じます。こんな素晴らしい環境の中にあつた私、私はそれを喜べなかつた。心の底から喜べなかつた。そのところから見てまいります。



海外からの参加者

アメリカ、あるいはイギリスその他から来られた人達へ、最初にメッセージをこの人を通してお伝えしますから。まず、軽く目を閉じて聞いてください。どうぞ。

塩川香世さん

はい、海外から来られた人、この機会を本当に大切にしていてください。あなたの中のエネルギーは凄まじいです。なぜ、なぜ、あなた方はこの日本を捨てて、海外へ行つたのでしょうか。なぜ、なぜなんでしょうか。あなた方は日本人。日本に生まれてきました。なぜ、なぜ、この日本を捨てて、アメリカあるいはその他に行つたのでしょうか。色々な事情があると思います。しかし、その心は凄まじいです。日本を捨てていったこと。その心はとても凄まじいです。そのところからまず始めてください。あなたの方の心の中のエネルギー。他力、他力、神に使つてきた心をまずまず見てください。宜しくお願ひします。

田池先生

はい、ありがとうございました。もういつしん、元の位置に座つてください。それでは、大変厳しい事を言いましたが、そのところをしつかりとね、自分の心を見ていくことです。見ていくことであつてね、そう言われたことじやなくて、それを聞いて、自分の心を見ていつたらきつと見えてきます。その心を、いずれ明日ですか、反転してね、それを温もりに変えていかないかん。何も形をどうこう言つてゐるんじやないで、お間違いないようにね。まあ、それはそれで、それでは、そういうことを踏まえてですね、もう一回、田池留吉に心を合わせる瞑想をしてください。どうぞ始めてください。

はい、ありがとうございました。いいですか。昨日ですか、ホームペー
ジに書いておきましたが、皆さんは田池留吉を知らない。全く知ら



ない。皆知つたと思つてゐる、ほんの小さな、小さなものしか知らない。知つていかれたら、まあ、後は自分で感じるしかないね。田池留吉を小さく考えている人は、自分も小さく考へてゐる。田池留吉がどんどんどんどんどんどん大きくなれば、あなたもどんどんどんどん大きくなる。そう思つてください。宜しいか。この私の肉をみて判断するんじやないんですよ。だから、自分がさつきの瞑想をするなり、色々しながら、田池留吉と言つうです。簡単に愛が分かるもんじやないんですよ。そんな生易しいものじゃないということ。もし、簡単なものであればとつくに人類でね、分かつた人がたくさん出でるはずですよ。私は日本に生まれました。私は大阪に生まれました。大阪で死にます。皆さんは色々お考えあつて、色々な場所へ行かれた。「至るところに青山あり」という諺がござりますが、やはり皆

さんには、ふるさと故郷があります。その故郷とは何か。これを大事にしていただきたいと。私は、私なりの考えがあつて、あと残された人生を生き抜いていくつもりです。はい。だから私は田池留吉を知つて欲しいんですよ。この肉の田池留吉じゃないですよ。田池留吉を知つて欲しいんですよ。恐らく、一年、二年、五年、十年、百年では分かりません。はつきり言います。分かつたと言う人は、それは小さい田池留吉。そんな代物じゃありません。

と言ふことは、あなた自身も、そんな小さなものでないということ。だから、どんどんどんどん大きなものを、本当に自分の心で感じて、信じていただきたいと。分かりますね。そのためには、やっぱり總崩壊というのが大事ですね。何かを握つていてはダメです。神様であろうと、お金であろうと、地位名譽であろうと、人と比較しておつては、とても、とても分かるような存在ではないです。だからといって、何も慌あわてることはございません。そして、自分が本当に大きい、大きい存在だということ。そのためには、まず田池留吉を大きい、大きい存在だということを自分で感じて、そしてそれを信じていけるということが大事ですね。はい、そこをお間違えのないように。そういう勉強をしていていただけたら、きっとですね、今日ここで集まつたことが凄いことだということが、お分かりいただけると思います。

これからもセミナーで、どんどんこの話をしていくつもりですが、ご理解いただけないで、反発して去つていく人もあると思います。私、去つていつてもいいと思うんです。そしていつの日にか、UTAの輪を、もう形は出来ておりますが、この三次元に降りてくるのはもう後、一年半、二年くらい経つた頃ですね。そして、皆さんがそのUTAの輪の中で、本当の自分と出会つていつていただきたい。本当の自分というのは、そんなちっぽけなものじゃないんですよ。はい。それを知つて欲しいんです。それが、まあ、本当の人生だと、私は皆さんにお伝えしたいと思いますね。そうした時に皆さんには、お分かり頂けます。もう、そんな苦労することはありません。ただ、楽しんで、喜んで生きていけばいいんです。

昨日の敵は今日の友。敵は存在しません。嫌いな人はおりません。争つたり、相手を蹴落としたり、あるいは、責めたり、裁いたりする存在もありません。まあ、肉はね、相変わらずそういうことを言うでしようけども、

そういうことは、単なる、どう言つたらいいかね、ちょっと私も表現がありませんが、本来はそういうものはありません。私も昔は敵を作つてきました。敵だと思う人が沢山おりましたが、ある時から本当に瞬時に敵はなくなつた。この瞬時にしてなくなるのがいいんです。だらだらだらだらとなくなりません。ある瞬間でパッと、例えば、お酒をパッと止めるところだめですよ。タバコも一緒です。止めようと思つた瞬間、パッと止める。この訓練をしてください。この訓練をしない限りは、またこの勉強も出来ない。このピシッと止めるところが大事ですね。何でもいいですよ。自分がこれを変えようと思つたら、ピシッと変える。そういう思いになつてくれれば、簡単に変わるんです。私も凄いことが簡単に変わつていつた。僕の肉の人生ですよ。だから、皆さんもねピシッと変えていく、そういう勉強をね、経験をね、なさつたらいいんじやないかと思います。

はい。何があります。一つ、二つあると思いますからね。頑張つてください。時間もそろそろ来ましたので、一応これで終わりますが、今日の勉強をね、もう一回、今度は塩川さんのほうからね、皆さん全体に向けてこの勉強、今日、今やつた勉強、それから明日、明後日する勉強等について、私からメッセージを送らせていただきますから聞いてください。

どうぞ、ご自分のエネルギーを、本当に自分で知つていくこと、それが愛です。まず、その一步から始めてください。そのためには、あなたの心をしつかりと田池留吉の方に向ける。そう田池留吉を素直に呼べる。呼べば呼ぶ程、あなたの中に作つてきた他力のエネルギーが噴き出してくれます。そのエネルギーを喜んで、喜んで、受け取つてください。喜びで受け取つていくんです。苦しみではありません。全ては喜びです。全ては愛に帰る、私達は愛に帰る存在なんです。それをしつかりと信じていつてください。

宇宙には愛しか存在しない

大槻明子

「人生の目的はただ一つ、自分が愛だということに目覚めること」

この学びに出会っていなければ、この文言など一笑に付していたことで
しょう。

でも今は違います。ああそりだつたのか、そのためにあれもあってこれ
もあって、こんなこともあんなこともみんなわたしには必要だつたのかと、
しみじみ思えるわたしがあります。

今世母に産んでいただき、やつと学びに出会い、日々反省と瞑想を重ね
ても、肉が自分という思いは本当に強く、行きつ戻りつの年月を重ねて來
ました。今、あなたは愛ですとまつすぐに伝えてくれる自分を感じるとき、
かたくなに愛を拒んできた哀れでみすぼらしい自分が、少しづつ浮かび上
がつて來ます。



「愛」わたしはこの言葉が嫌いでした。そんなものあるわけはない、愛を拒み続けてきました。しかし今、愛を思うとき、中から込み上げてくるものがあります。

「宇宙には愛しか存在しない」ああその真実を知らなかつたがために、これまでどれほど苦しみ続けてきたことでしょう。自分の選んだことに何一つ責任を取ることなく、地獄の奥底で自分の出してきたエネルギーの中でじつと固まっているしかありませんでした。

愛を蹴散らし、逆らつて歯向かつてひたすら肉の幸せと喜びだけを追い求めてきました。その結果、残つたものは恨みと呪い。その思いをひた隠して、良い人間を演じてきました。苦しみを決して人に気付かれまいと、バリアを張り巡らせていました。

ああ苦しかつた。立派な自分なんてどこにもなかつた。今お母さんに思いを向けると、寂しさと悲しさで泣き叫んでいる一人ぼっちのわたしがどんどん出て来ます。そんな時、「もう苦しまなくいいんです、もう苦しんでいくのは止めましょう」そんな優しい思いを感じます。「ああ苦しかつたお母さん、わたしはお母さんの所に帰つていきたい、帰つていきます。」そう初めて言える自分がります。わたしは本当にこのことが言いたかつた。言えない自分が苦しかつた。やつと言えた、やつとやつと今お母さんに言うことが出来ます。お母さんありがとうございます。

「あなたは愛、わたしも愛、一つ」そう思いを向けると、そんなことあるものか、そんなこと絶対に認められないとする自分がまだまだあります。しかし一方で、そうだったのか、肉を本物とする思いがみんな間違つていたのか、ということは、何もかもが間違つていたのか、だからこんなに苦しかつたのかという、霧が少しづつ晴れていくような安堵感もあります。

これまでの人生、どうしても納得出来ないことがたくさんありました。

でもそれらの一つ一つに辻棟^{つじつむ}が合つて来るのを感じるたびに「宇宙には愛しか存在しない」という言葉が思い出されます。

人生全^てが自作自演でした。恨むことも責めることもなかつたのです。自分を自分で地獄に突き落としてきただけでした。そんなわたしなのに、今世本当のことに出会えたことが不思議というか、本当に驚きます。死ぬまで反転反転の毎日。そして死んでからも田池留吉を呼べるか、それがわたしの人生に残された唯一の課題です。

人生そのものが学び、そして学びは命懸け、この言葉を本当に理解するのにどれだけの時間が掛つたことでしょう。この学びに出会えて本当に良かった、生まれて来れて本当に良かった、お母さんありがとうございます。そう思いながら生きていくことが、どれほどうれしくて幸せなことなのかを実感する毎日です。

すべて答えは自分の中に

大槻洋三

本当に素晴らしいきっかけを頂いたセミナーでした。自分の心の状態が今までにないほど鮮明に写し出されました。まさに愛のエネルギーが働いたからこそだと感じます。その中でも特に二回目のセミナーでの大きなテーマは、「パワー」。自分の中の凄まじいパワーを求めてきたエネルギーを何度も体感し、それが自分の中の「愛」を感じることに繋がりました。この体験を中心に感じた思いをまとめます。

D氏に向けての思い

パワー、パワー、パワー。パワーをください。私はパワーをもつています。全人類を手玉にとれるほどのパワーをもつています。人の心を読み、手玉にとれる、そんなパワーを兼ね備えている。馬鹿な人々に光、道筋をしめしていくのが私の仕事です。それで人類を救うことができる。馬鹿な人類を目覚めさせることに私は全力を尽くしています。間違ったことではないでしょう？ いえ、私は本当に素晴らしいことをやつてのけているのです。



今までどんな人も成しえなかつたことを私はやろうとしています。本当に素晴らしいでしよう？私のこのエネルギー、パワーを見てください。もつともつと見てください。本当に素晴らしい、パワーを見てください。

D氏に心を向けていた自分を思います。

このパワーを凄いものと捉え、追い求めてきました。このパワーがもたらす力を取得し、人の上に立ちたかつた。今もしつかり求めています。田池留吉に心をあわせながら、裏ではパワーを求めてています。ああ、この思ひ本当に根強いです。今まで大したことないと思つていたことは、自分の心にがつちりこびりついていました。それを離そうとしなかつた。見てこなかつた。その愚かさを今感じます。愛、反転、田池留吉に思いを合わせる。言葉では正しく発してはいたけど、全ては間違つた基盤から求めていたものでした。これをも自分の手玉に取つて自由に操る為の物。自分のパワーを世界に知らしめる為の手段でしかなかつた。間違つた思いで田池留吉に心を向けてきました。

大噴出を通して自分の中のパワーの思いを体感していくにつれ、母親の温もりを思う瞑想が今までとはまた違う質に変化していきました。母親の温もりと大噴出、総崩壊が両輪として必要なのだと改めて感じました。

お母さん、お母さん。ゼロ歳の時を思い出します。なにも求めることはなかつた。なにも要求することはなかつた。ただ「全託」。その言葉が一番ふさわしい。言葉ではいいあわらせられないほどの思い。お母さん、私はこの思いを忘れ去つていきました。この思いを捨て去り、自分の欲、パワーばかりを満たす生活を選びました。だけども、こんな思いの中にいたのですね。こんな思いが私の中に存在したのですね。懐かしい、懐かしい思いです。自分の中に常にあつた思いが思い起こされます。

私はずっとずっとお母さんを呼びたかつた、呼びたかつたけど呼べなかつた意識です。ただ今、お母さんと呼んでくださいと愛のエネルギーが私の中に語りかけます。お母さん、思えば思うほど自分が反応していきます。こんな意識の状態が私の中にあつたのですね。長い間忘れ去つていきました。

今ようやく感じることができます。本当に奇跡のような感覚です。私はこの思いに帰る為に肉をお母さんから授かりました。その目的、母なる宇宙に戻る為に軌道修正をしていきたい。その思いが今私の中に突き上がっています。お母さん、ありがとうございます。こりかたまつっていた物がだんだんほぐれているような感覚です。身動きがまつたくそれなかつたものが少し反応しています。長い間私は同じ状態、地獄の底の底にいる状態でした。それをなにかのエネルギーが触れかけています。この瞬間を待ち望んでいました。

本当に自分自身に冷たかつたです。自分自身を見捨てていた。外に、外にパワーを求めてきました。人を支配する、人の上にたつ。自分以外の物はちつぽけ、馬鹿、とるに足らないもの、まさに選民意識をもつて周りの人と接してきました。外に思いを向けることによつて自分の地位を確立しようとしてきた。本当のことをしりたい、本当の自分に帰りたい、だれか教えてください、だれか救つてください、助けてください。救いの叫びをあげながら気の遠くなるような年月さまよい続けていました。

すべて答えは自分の中ありました。外に求めて全く意味がない。全て自分の中にすでにあるものでした。本当の優しさ、お母さんの温もり、無限大の愛のパワー、もう全て自分の中にありました。あなたは愛、私は愛、一つ、その思いに心を合わせると響いてきます。なんとも言えないエネルギーです。懐かしいような、自分の中に突き上がるエネルギーがあります。このエネルギーは既に自分の中にあつたのですね。

本当の自分、愛にありがとうございます。待ち続けてくれて、受け入れてくれて、自分の中にこのエネルギーがいつも存在していたのですね。本当に愚かでした。外にパワーを求めてきて、人を支配しようとして、己一番のエネルギーを垂れ流してきた。全く本当の自分を理解していませんでした。向き合つていきます。自分の中の愛と向き合つていきます。

田池留吉を思い、母親の温もり、大噴出、総崩壊を通して、あなたは愛、私は愛、一つ、その言葉が心に響いています。ようやく本当の自分＝愛を垣間みられたセミナー、きつかけを頂きました。ありがとうございます。

コーレス律子さんへ

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、長い長い間、学びを離れていました。心の中は昔のままでした。驚きました、今回セミナーに参加させていただき驚きました。しかし、私の肉体は反応しました。私は愚かな肉を持つて驚いています。私の中はこれだけの凄まじいエネルギーがあつたんですね。いえいえ、まだまだもつともつともつと出していきたい、そんな思いに駆られています。母に使ってきた心を見つめていきます。母の反省は、私の中でおざなりでした。母に使つてきました心を見つめていきます。

田池先生から

今ありましたようにね、始めは熱心に来ておられました。いつの日にかイギリスへ行かれまして、長くなりました。こちらに来るのは遠いですね、いろいろありますので、だんだん遠のいていった。まあ、いろいろと話は聞いている……で、分かっているけれど、現実はものすごい差があるんですね。今度来ていただいて、私は大変喜んでいます。その今までの差はね、そんなに難しいことではありません。一瞬にして埋めることができますからね、まあ、とにかくこれを機会に頑張つて下さい。



澤田敏夫さんへ

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、ああ私も苦しいエネルギーをしつかりと見て来なかつた。こんなこと当たり前、人間として生きていればこんなこと当たり前。そうやつて私はずーっとずつと自分の心を見るチャンスを逸してきました。自分で自分を見逃してきました。愚かなことをやつてきました。母が私に伝えてくれたことが沢山沢山ありました。本当に愚かなことをやつてきました。この、今、ここに集えてよかったです。私は一つも自分の心を見て来なかつた。私のエネルギーを見て来なかつたです。





菅三輪子さんへ

塩川香世さんを通して語られるアドバイス

はい、私は立派なんです。偉いんです。素晴らしいです。私のこの肉を崩せるものなら崩してみろ。私は素晴らしい。私はこの肉を榮え私は今ここに座っている。私のエネルギーは素晴らしい。田池留吉お前のもとにひざまづくものか。私のもとにひざまづけ。田池留吉、我のもとにひざまづけ。我に従え。我の言うことを聞け。我の言うことを聞け。私は素晴らしい。私は素晴らしい。





塩川香世さんを通して

名簿を見て名前を呼びますから……。特別どうということはない、ただ私は、数字遊びをしながら名前を呼びますから、当たった人は「ノー」の場合に出なくて結構ですから、「イエス」であれば出てください。

ジェニー・ライさん、カオリ・ゼムラックさん、牧村愛香、渡辺秀雄さん、阿部奈月さん、栗生啓子さん、以上、前に出てください。

（以下の人たちに、塩川香世さんを通して、田池留吉からのアドバイスが語られる。）

今度は簡単にいきますからね。あまり詳しくやりませんので……。

ジェニー・ライさんへ

私の中には、ああああ、まだまだ他力のエネルギーがしつかりしつかり詰まっています。田池留吉、ああこの心、苦しいです。このエネルギー苦しいです。ああ、ここに来て、ようやくその自分が苦しかったことが、少し感じ始めました。ああ苦しかった苦しかった。お母さん、苦しかった。

牧村愛香さんへ

他力のエネルギーをしつかり掴んでいると言われました。ああ、私なりに反省をしました。しかし、もう一つもう一つ心の中にいろいろ感じるんです。だけど、私は、心の底の底にある自分の汚いエネルギー、愛から外れたエネルギーにまだ到達しておりません。ああ、身体がこんなに動くのに、まだまだ凄まじいエネルギーを隠し持っています。

カオリ・ゼムラックさんへ

ああ私は素晴らしい。ああ私は崩したくない。こんなに素晴らしい私。ああああ嫌だ嫌だ、崩したくない。ああああ嫌だ嫌だ、私は肉にしがみついています。



田井先生／かおりさん、崩したら、もつと素晴らしいものが出でてくる。
偽物を掴まないようにな。

栗生智子さんへ

ああああああああ、もう凄いエネルギーを隠し持つっていました。ああ、何
が素晴らしい、ああ、そんなことない、ああ私は素晴らしい、素晴らしい
あらねばならなかつた。しかし、私の中から出てくるエネルギーは、凄い
凄いエネルギー。ああ黒煙どころではありません、ああ凄い、ああ、こん
なエネルギーをみんなに使つてきました。

阿部奈月さんへ

ああ、お母さん、ああああ苦しい、ああ苦しい、あんな母親。ああ私は、
ああ母親の温もりをまだ感じていない。ああ、ごめんなさい、ああ、お母
さんごめんなさい。ああ私の、私の中に温もりがあつたなんて、まだまだ
信じられません。

田池先生／どうですか？ 頑張りや。これ大事やよ。これ大事ですよ。



渡辺秀雄さんへ

はい、はい、はい。パワーを求めてきました。ああ、パワーを求めてきた。パワーをください、パワーをください。パワーこそ私、私が幸せになる一番の道。パワーをください。この心が、まだまだしつかりと心に残っています。

田池先生／どうですか渡辺さん。これは間違いでしょ。絶対幸せにななりません、パワーを求めたら。ただし「愛」のパワーは別ですよ。「愛」はパワーですよ。それ以外のパワーを求めたら絶対なりません。最後は落ちます。分かった?

渡辺秀雄さん／すべてが間違つて……。すべてが間違つて……。

田池先生／すべてが間違つて……、ほんまか? ほんま? すべてが間違つていたと、今言いました。

塩川香世さんから

はい、グゥワ～、そんなことはない。私の求めてきたパワーは素晴らしい。田池留吉、認めろ。私を認めろ。私は素晴らしいんだ。素晴らしいパワーを求めてきた、この私を認めろ。認めろ。だからこうして日本にやつてきたんじゃないか。お前、私を認めろ認めろ認めろ認めろ認めろ。

田池先生／渡辺さん、あんなこと言うてるよ。どうですか? 正直に……違う? そう? 素直に正直に言うのがいいんですよ。全部ばれていますから。

塩川香世さんから

私は田池留吉の世界を信じていない。田池留吉の世界が、そんなに素晴らしい愛の世界なのか。私は信じられない。私は愛を説いてきました。過去に於いて愛を説いてきた。そんな私の世界を、お前は否定するのか。信じられない。お前は私を否定するのか。殺してやる。私のエネルギーです。

渡辺秀雄さん／その通りです。



田池先生／その通り、ね。その通りと認めたら、しつかりと自分をリアしていくんですよ。そうしないと最後は駄目ですよ。分かった？
ありがとう。

朝日めぐみさん、ワンさん、緒方さん、林さん、野田さん、本田さん、畠さん、定免さん、金枠かおりさん……以上、出てください。





朝日めぐみさんへ

はい、心を見るのがまだまだ恐怖です。私は自分の中を感じるのが恐怖です。凄まじいエネルギーを心は感じているけれど、まだまだこの肉体をどうして……まだまだ恐怖です。狂つしていくのではないかと恐怖です。

田池先生／恐怖？

朝日めぐみさん／恐怖と思つていると思つてなかつたです。

田池先生／思つてなかつた？ 今どうですか？ こんなことやつてたら狂うの違うか？と。

朝日めぐみさん／分からないです。

田池先生／分からないです？

塩川香世さんから

はい、もつと凄まじいエネルギーを出したいという思いがあります。それは欲に繋がつていると私は知つています。だから私は、ああ、母の温もりを知らないから、狂つていく。ああ私はそのように自分を思つてしまふんです。お母さんの温もりを、まだまだ感じております。

田池先生／温もりを知らんの？ だから、どんどん温もりを知つて、どんどん出したらええの。絶対に狂わない。狂たら治すから。ただお母さんの温もりをやらないかんで。な、分かつた？ 一生懸命やらないかん。

キム・ワンさんへ

他力のエネルギーが、ああ苦しい、苦しい、苦しい。私は自分を解き放すどころか、まだまだしつかりと握つています。ああ、どんなにこの中から出たかったか。しかし私は、はい私も怖いです。怖いです、怖いです。

田池先生／ワンさん、怖い？　怖い？　出したらええねん、怖くないよ。治したるつて。な。心配せんでええねん。ただし私の言うた通りせないかんで。な、心配せんでええ。

金枠かおりさんへ

ああ、私はパワーを求めてきた。その自覚が私の中にはない。パワーが大好きでした。パワーが大好きでした。パワー、パワーを求めてまいりました。

緒方和子さんへ

どんなにどんなに反省しても私の反省はまだまだ喜びに繋がっていない。ああ私は己が偉いからです。私の反省は上から物申しています。私は喜びに繋がっていないことを感じています。

田池先生／どうですか？

塩川香世さんから

物凄く己が偉いということを今回物凄く出てきました。はい。物凄く己が偉いということを出てきました。

田池先生／そういう職業に入つた頃、己偉い心がグウツと出てくるんです。学校の先生したらみんな己偉いんです。私も教師やつたんです。分かるんです。いくら教育は愛だと言つてもね。だから、それをしつかり見つめて、それをクリアせないかんな。

林真由美さんへ

私は心が敏感なんです。いろいろ掘んでいるんです。だけど私も母の温もりが今ひとつ自分の中にしつかりとしないから、私はそちらの方にしつかりと心を向けられない。私は、私も狂つていくのが嫌。ああ、私は身を守つてしまします。

田池先生／田池留吉を信じていけば。愛を信じていけば怖くないね。
頑張つて。

定免裕子さんへ

どれだけ己が高く聳えたつてはいるのかと思うほど、凄い、凄いエネルギーを蓄えてきました。ああ今回本当に感じました。ああ凄いですよ、私は凄い。ああ、もう、苦しい苦しいだけです。

定免さん／……反転をしているんですけど。前回、お母さんが抱きしめてあげるみたいな反転をしてあげなさいって教えていただいて、やつてているんですけど。

田池先生／これを機会に頑張つて。偉いのが悪いのと違うのよ。偉いということに気が付いたらしいんです。何を間違つてはいるか、なぜ間違つたのかということを、しつかり確認したらえんです。それをしてしないで、「私はいいよ、いいよ」してたら駄目だと言つているんです。よろしいか。そんな立派な人間おらないの一人も……。そこを間違つたらいいかんよ。立派と思つたらもう落ちてます。絶対に幸せになれませんの。皆さん自分の過去世を知らないからですよ。凄いですよ。そんな十年二十年やつたつて、なるもんじやないですよ。ましてや大学出て勉強できたとか、そんなんで分かるわけがない。もし思うんやつたら大馬鹿者ですよ。だから学者先生とか科学者とかいろいろおるでしょ？　出来るて、偉い、素晴らしい、いうて、みな大馬鹿ですよ。そんなことする暇があるんやつたら、自分の心をしつかりと見なさい、ということやな。そのほうが人生、最後は生喜びで終わるの。

畠美アさんへ

ああ、他力のエネルギー。ああ、ごめんなさい、ごめんなさい。私は他力のエネルギーの中で、ごめんなさいを発しています。お母さんの温もり、

お母さんのぬくもりですね。はい、お母さんの温もりに帰つてまいります。

本田節子さんへ

はい、はい、何度も何度も反省を重ねています。はい、私の今の現状を、はい、しつかりと心に感じています。これからやつていただきたいと、何度も何度も思い返してきたことか。その度に私は自分の己偉い思いを感じてきました。ああ、間違つてきた。お母さん、お母さんごめんなさい。お母さん、お母さん。この原点に戻つてまいります。お母さんごめんなさい。足蹴にしてきました。踏みつけにしてきました。

ノダショウジさんへ

ああ、私は、そう、忘れられないんです。やはり私はああ、ああ、やはり私はチャネラ～。この思いをまだしつかりと抱えています。「どこが立派なチャネラ～なんですか？」と田池留吉からいつも言わっていました。ああ、その度に私の心は搔きむしられます。ああ、私は立派なチャネラ～、その思いがまだまだしつかりと残つています。

ノダさん／間違つてました～。ああ、ごめんなさい。間違つてました～。
ごめんなさい。

はい、ありがとうございました。席へ戻つてください。

中務敬子さん。小濱章夫さん。西川さん。小笠原さん。津野さん。中島一二さん。ほかに、どうしてもここへ出たい人。一人か二人出てください。(大槻明子さんが出る)

大槻明子さんへ

私はパワーを求めてきました。パワーを求めてきた心を、まだしつかりと見つめていません。パワーは素晴らしいという思い、その思いに中に、

私は素晴らしい、この私を認めなさいという思い、その思いがしつかりと残っている。それを私は心でまだまだ感じておりません。

田池先生／どうですか？ 愛はそんなもの認めません。私も認めません。よろしいか。認めるのは悪魔。悪魔しか認めない、こういう風に思つてください。よろしいか？ それでよけりや、「認めよ～、認めよ～」そうやつたら悪魔が認めてきます。狂つてきます。間違いなく狂います。よろしいな。（大概洋三さんに向かって）聞いときや。もしも母さんに……お互いにな。間違いなく狂つてきます。もうはつきり言いますからね。

中務敬子さんへ

田池先生／どうですか？ 以前の方に向いてるよ。もう三十年近く勉強してるなあ。安曇川では一番最初に出会つた人ですね。だから田池留吉にしつかり向けないかん。この肉の田池留吉を言つてるんじゃないですよ。中に居る田池留吉、それ以外のものは駄目なんですね。いや、駄目でないと思う人、前へ出てください。証明しますから。

田池留吉より立派なの居る、いう人は前へ出てください。即座に証明します。場合によつたら、どうなるか知りませんよ。だからそれ程、私も真剣にやつてるんだからな、皆さんも真剣にやりなさいよ。……で、狂つてからね、「先生、狂いました。」言つたつて、もう相手しません、自業自得ですから。よろしいか、こういうチャンスにどんどん挑戦しなさいよ。私はいい加減なことやつてるのと違う。分かりますか？だからね、やめなさいと言つことはやめてください。それも自由ですよ。その代わり結果は、あなたのものですから、

そうなつた時に、「先生狂いました。なんとか……」は、知りませんよ、ということや。お間違えのないようにな。そんな面倒を見る、そんなことはしません。「愛」はそんなことしません。それは人間の欲ですよ、そういうこと言うのはね。……で、そういう、やつてくれる人は優しい人、慈悲のある人、それを拝んだらいいねん、仏さん拝んだらいいのや、なんばでも。狂うだけですよ。仏は狂つてるやないですか。お寺行つて仏を見なさい、みんな狂つてますよ。何やつたら帰りに、滋賀県、ここは奈良でしょ、沢山ありますから行つてみなさい。

そういうことはやめなさい。いや、やめなくてもいいんですよ。その代わり結果はあなたのものだから、狂つたら「この学びをしたから狂つた」んではないですよ。学びをしなかつたから、反抗したから狂つたんですよ。そこを間違えないようにしてください。そこさえはつきりしてください。この私に逆らつたから狂つたんですよ。この肉の私じゃないですよ、あなたの中に居る田池留吉に逆らつたから狂つたんですよ。お間違いのないよう。そこだけはつきりしてください。そうしないとね、「この学びで狂つた」と言われるとね、私は構わないけどね、他の人が氣の毒ですからね。そういう可能性のある人は、この中におりますよ。それは一々暴いたりしません。自分から言えば「そうです!」と言つてあげますけどね。認めない人に「認めろ!」と、そんなことはしません。

小笠原超さんへ

はい、以前に申しました、パワーを求める心がとても強い、と。あなたは今までその反省をなさつてきましたか。やはり、やはり前の、前のどこか心を向けているのではないですか。パワーを求めてきた心はどんな心なのか、お母さんの反省の中で自分の心をしつかり見てきましたか。

田池先生／どうですか、小笠原超さん。パワーは駄目ですよ。絶対駄目ですよ。分かるな。良かつたら「良かつた」って言つてください

よ。かまへんよ。ここでやつてもうて、もうそんなんやつたら帰れ！そんなん言いません。分かりましたか。だから勉強ですかね。やつぱり勉強は先生に質問せないかんし、時には反抗もせないかん。それで間違つたと気が付いたらサッと変わる。これが勉強するこつですよ。分かつたな。遠くから来たんでしょ、頑張りや。

西川和一さんへ

苦しいけど、ああ私の苦しみはこれ程でも、これ程でもない。もつともつと凄いんだ。ああ、私の中から突き上がるエネルギーがあります。それを止めているのは私自身です。やはり私は立派なんです。立派なんです。そのエネルギーを、ああ、押し込め閉じ込めています。もつともつともつともつと自分を解き放していきたい、今そんな思いです。

田池先生／欲しい気持ちは分かるけど、どうですか？ 立派。その通り。ええか、それが学習の目的として。立派じやないんですよ。そういうものを立派と言わない。立派というのは、愛に目覚めたとき立派と言う。分かりますか？ 分かりますね。それをしつかりやつてください。分かりますね。

津野裕子さんへ

お母さん、お母さん。お母さんと呼んで瞑想しても、まだ私の中は広がる思いがない。ああ、この心が、私の己偉い心なんですね。お母さんと素直に呼んでいるつもりが呼べない私がある。私はその自分をまだまじつかりと感じておりません。

田池先生／呼べないの？ 呼んでご覧。はい、目を閉じて呼んでみ。お母さんつて。はい、呼んでみて。お母さん。そうそう。はい、呼んでみてどうですか？ あの人を通して語つてください。

塩川香世さんを通して

はい、私がお母さんに抱いていたイメージとは全然違います。私の、あ
私の思っていた母は、小さな小さな世界の母でした。「あんな母親、なん
で呼ばなければならないんだ！」私はそのように思ってきました。これが
己偉い私でした。今、お母さんと呼んだとき、私の中に温かい温かいもの
が流れてきました。これが私だつたんですね。

田池先生／そうか。良かったね。良かった。

中島一郎さんへ

ああ、自分の世界、ああ己が一番一番一番一番、ああ苦しい、苦しい。
こんなエネルギーを抱えながら、私はこの世を生きてきました。何が素晴らしい人生だったのか、今、私の中でぐらつき始めています。私は素晴らしい人生を描いてきたつもりでした。しかし私の足下は崩れ始めています。

田池先生／中島さん、はい目を閉じて。私の手を見てください。はい、私は愛、あなたも愛、ひとつ、と言つてください。

田池留吉を呼んでください。田池留吉を呼んでください。

はい、中島さん、語つてください。

塩川香世さんを通して

田池留吉の世界。田池留吉を小さく小さく捉えてきました。ああ、私の方
が大きい、と。どれだけ田池留吉に歯向かってきたか、ああ今田池留吉
の世界をほんの少しだけ感じさせていただきました。申し訳ございません、
申し訳ございません。

一井初子さんへ

はい、他力をしてると、こんなに苦しいエネルギーの中にあつたのか。
私はそのことを、始めて体験しました。苦しかつたです。本当に苦しかつ
たです。私は本当に苦しかつた。ああ、ああ自分に冷たかつた。お母さん、
お母さん、私は自分に冷たかつたことを知りました。

田池先生／私の顔を見んでもよろしい。他力を止めないかんよ。他力を。子供がおかしくなつたでしょ。前に、他力でしょ。あの時ピシャツとやめないかん。元気になつたな。子供、良かつたな。今度は、あんたがせんといかん。分かつた？

はい、この指を見て、軽く目を閉じて、はい、田池留吉」と呼んでください。

一井さん／苦しかつて、温もりとか気が付いたら、温もりがなくなつて……。

田池先生／温もりがなくなつた？ 初めからなかつた。初めから別のものを感じてた……。それをやめなさいと言つてはいるんです。そしたら本物を感じる。そしたら本物の温もりが分かつてくる。その温もりはなくなつたりしない、本物の温もりは、だんだん大きくなるねん。消えたり点いたり、消えたり点いたり、そういう安物の電灯みたいにはならない。なるのはそれは本物ではない。それは多分に肉の喜び、肉の幸せ。分かりますか。お母さんの反省をやつて、そういう方向へいづてはいるんです。分かつた？

はい、一井さん、この人を通して語つてください。

塩川香世さんを通して

はい、私は愛、あなたも愛、ひとつ。私は私なりに何度もこの言葉を自分に言いました。しかし、私は他力の思いで言つてきました。欲で言つてきました。苦しい私を助けてください。救つてください。私は愛、あなたは愛、ひとつ、これでも私の中は樂になりませんでした。今違いました。ただただただ私は愛、あなたも愛、ひとつ、波動が違つっていた。そのことを学ばせていただきました。

田池先生／はい、ありがとうございました。

小瀬章夫さんへ

心で感じるものがあります。しかし私はまだまだ不発、不発、不発。すつきりしない。はつきりしない。もう一つもう一つ自分の中がはつきりしないです。

田池先生／こう言っていますが……。

小瀬／はい、その通りです。

田池先生／はつきりしてるね。あんた、お医者さん、まだ医者やつてるんやろ。いや辞めんでもいいけど、商売の医者は辞めても、ほんまの医者やつたらええね。な、分かった？ そういう風にやつてください。「愛」の医者になつてください。な、分かった？ 折角ここに来たんだからな、こういう医者がほんまの医者になつたらいいんですよ。地域の世話をしているようですね。してない？ これをやつて自分がまず自分の世話をして、そして沢山の困つた人にね、医療を通して愛を伝える、分かりましたね。

今の私の言葉を聞いてどうでしようか。

塩川香世さんを通して

はい、お母さんの反省をやつていきます。お母さんに抱かれていたゼロ歳の頃を私は思い出します。お母さんの温もりで、私にかかわつてくる人達を、はい、心を何か何か伝えたい、私は今そんな思いでいます。優しいお母さんの温もりを私が伝えれば、その人達の肉体細胞に何か伝わっていくような、そんな気がします。

田池先生／そういうことですね。はい、目を閉じて、目を閉じて。まづ、田池留吉を思つてください。はい、お母さんと呼んでください。お母さん。はい、声を出してください。

小瀬さん／お母さん（絶叫）

塩川香世さんを通して

ああお母さん。お母さん、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。私はお

母さんから産まれて良かった。ありがとう、ありがとう。この思いを伝え
ていきます。伝えていきます。

田池先生／頑張ってくださいな。はい、愛を伝える医者になつてくだ
さいね。





体験文集 あなたは愛です

初版発行 2013年9月29日

セミナー指導 田池留吉 塩川香世
発行行 UTAブック
制作・編集 桐生敏明
表紙・装丁 金子瓦
音声・録音 中村康一
スチール撮影 朝日めぐみ
編集補助 阿部奈月 栗生啓子
佐藤延生 清水貞博
野崎浩司 檀原ロイヤルホテル
会場協力 モリモト印刷株式会社
印刷・製本

© 2013 UTA-BOOK Printed by Japan